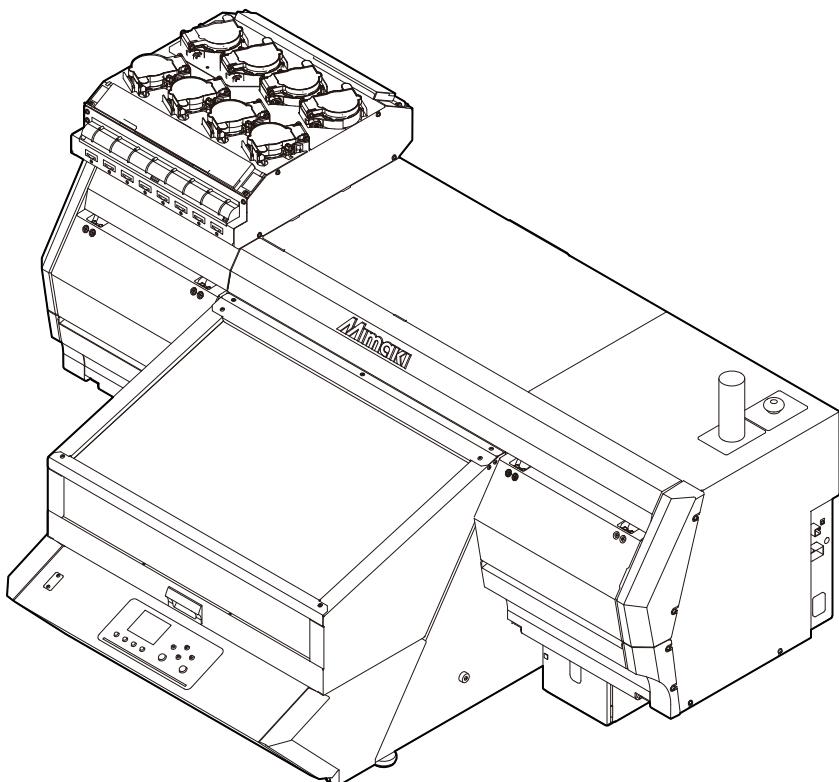


OPERATION MANUAL

UV INKJET PRINTER

UJF-3042 MkII
UJF-6042 MkII
UJF-3042 MkIIe
UJF-6042 MkIIe

取扱説明書



目次

ご注意	v
ご注意	v
おねがい	v
電波障害自主規制	v
テレビ / ラジオの受信障害について	v
使用上の制限について	v
はじめに	vi
取扱説明書について	vi
安全にお使いいただくために	vi
マーク表示について	vi
安全インターロックについて	xi
警告ラベルについて	xii

第1章 ご使用の前に

本機を設置する	1-2
設置場所について	1-2
本機の移動	1-2
各部の名称とはたらきについて	1-3
装置前面	1-3
装置背面	1-4
キャリッジ	1-4
非常停止スイッチ	1-4
表示灯ユニット	1-5
操作パネル	1-6
テーブルについて	1-9
タップ位置について	1-9
テーブルに関するご注意	1-11
ケーブルを接続する	1-11
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する	1-11
LAN ケーブルを接続する	1-12
電源ケーブル接続について	1-12
インクボトルについて	1-13
使用可能なインクの種類	1-13
インクボトル取り扱い上のご注意	1-13
インクボトルをセットする	1-15
メディアについて	1-20
使用可能メディアサイズ	1-20
メディア取り扱い上の注意	1-20
治具の運用について	1-20
治具使用時の利点	1-20
治具製作の流れ	1-21
治具製作時の注意点	1-21
メニュー モードについて	1-23

第2章 基本的な使い方

作業の流れ	2-2
電源を入れる / 切る	2-3

電源を入れる	2-3
電源を切る	2-3
メディアをセットする	2-4
別の方法でメディアをセットする	2-6
テストプリントをする	2-6
ホワイト確認用のテストパターンでテストプリントを行う	2-7
ヘッドクリーニング	2-8
ヘッドクリーニングについて	2-8
テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う	2-8
データをプリントする	2-8
プリントを開始する	2-8
プリントを中止する	2-9
プリントデータ受信中または受信済みの確認	2-9
“! ワーク 高い”を表示したら	2-9
プリント中にカバーを開けてしまった場合	2-9

第3章 セットアップ

8 ヘッドの高さメニューについて	3-2
ヘッド高さメニュー一覧表	3-2
メディアの厚みを設定する	3-3
ヘッドギャップを設定する	3-3
ギャップチェック	3-3
テープルスペーサー	3-4
原点設定メニューについて	3-5
原点設定メニュー一覧表	3-5
X オフセット (REM) の設定	3-6
Y オフセット (REM) の設定	3-6
X オフセット (LOC) の設定	3-6
Y オフセット (LOC) の設定	3-6
Z 原点の設定	3-7
ジョグキーを使って原点を変更する場合	3-7
設定メニューについて	3-8
設定メニュー一覧表	3-9
フィード補正の設定	3-10
ロジカルシークの設定	3-10
重ね塗りの設定	3-11
リフレッシュレベルの設定	3-11
UV モードの設定	3-11
UV 光量調整の設定	3-12
ワークチェンジの設定	3-12
ファンモードの設定	3-12
オートクリーニングの設定	3-12
作図前フラッシングレベルの設定	3-13
MAPS4 の設定	3-13
版ずれ調整の設定	3-14
LT モードの設定	3-15
吸引ワイパーの設定	3-15
スキャン速度の設定	3-15
マシン設定メニューについて	3-16
マシン設定メニュー一覧表	3-17
オートパワーオフの設定	3-18

時刻の設定	3-18
単位(長さ)の設定	3-19
キーブザーの設定	3-19
ネットワークの設定	3-19
イベントメール機能の設定	3-20
リモートコントロールの設定	3-24
言語の設定	3-24
イオナイザーの設定(オプション)	3-24
接続オプションの認識を行う	3-25
受入/回収位置の設定(MDLコマンド)	3-25
設定した内容を初期状態に戻す	3-25
ヘッド温度スタンバイ時間の設定	3-26
ノズルチェックメニューについて	3-27
ノズルチェックメニュー一覧表	3-27
印刷中ノズルチェックの流れ	3-28
「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時のプリント動作	3-28
印刷中ノズルチェックの設定	3-29
自動ノズルリカバリーの設定	3-29
判定条件の設定	3-29
情報メニューについて	3-30
情報メニュー一覧表	3-30
情報を表示させる	3-31

第4章 お手入れ

日常のお手入れ	4-2
長期間使用しない場合は	4-2
お手入れ上のご注意	4-2
外装のお手入れ	4-2
テーブルの清掃	4-2
メンテナンスメニューについて	4-4
メンテナンスマニュ一覧表	4-5
キャッピングステーションのメンテナンス	4-6
ワイパーとキャップの清掃	4-6
ミストフィルターの清掃	4-7
ノズル洗浄	4-8
ノズル洗浄(PR-200 インク使用時)	4-9
インク排出路の洗浄	4-11
長期間使用しない場合	4-11
サブタンクメンテナンス	4-13
ホワイトメンテナンス	4-13
ヘッド周辺の清掃	4-13
ヘッドノズル面のメンテナンス液11を使用した清掃	4-14
LEDランプ底面とミストフィルター底面の清掃	4-15
ノズルリカバリー機能	4-16
設定値をリセットする	4-17
UVランプの使用状況を確認する	4-17
インクオーバーフローを解消する	4-17
オートメンテナンス機能	4-18
リフレッシュ間隔を設定する	4-18
クリーニング間隔とタイプを設定する	4-18
消耗品の交換	4-19

(ゴムワイパー使用時) ワイパー / ワイパー吸収材を交換する	4-19
(吸引ワイパー使用時) ノズルキャップを交換する	4-19
吸引かきとりワイパー用ノズルキャップを交換する	4-20
ミストフィルターを交換する	4-21
ミストフィルター BOX を交換する	4-22
LED ガラスを交換する	4-22
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら	4-23
廃インクタンク確認メッセージが表示される前に廃インクタンクを交換する場合	4-24
吸引ワイパーの廃インクタンク確認ワーニングが表示されたら (UJF-3042MkII/6042MkII のみ)	4-24
吸引ワイパーの廃インクタンク確認ワーニングが表示される前に廃インクタンクを交換する場合	4-25
インクボトルキャップの交換	4-25
不凍液混合水を補充する	4-26
不凍液混合水を補充する	4-27

第 5 章 困ったときは

故障かなと思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
画質不良が発生したときは	5-2
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
インクボトルに異常が発生したら	5-3
インク漏れが発生したら	5-3
吐出不良が復旧しないとき	5-3
メッセージを表示するトラブル	5-5
ワーニングメッセージ	5-5
エラーメッセージ	5-8

第 6 章 付録

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
インクボトルのセット順	6-4
お問い合わせシート	6-5
LICENSE Library	6-6

ご注意

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本機の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本機を使用したメディアなどの損失や、作成された物によって生じた間接的な損害などの責任負担もしないものとします。

本機を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
- この取扱説明書は、改良のため予告無く変更する場合があります。

電波障害自主規制

本機は、クラス A 情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ / ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。従って特殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。

本機がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われましたら、本機の電源を切り、確認してください。電源を切り受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- 本機から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- 本機とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

使用上の制限について

UJF-3042MkII e、及び、UJF-6042MkII e 専用のオプション Kebab HS システムは IEC62471/IECTR62471-2 に従った Risk Groupe3 に分類されます。

そのため UJF-3042MkII e、及び、UJF-6042MkII e は”使用上の制限”を守ってご使用ください。

なお、UJF-3042MkII、及び、UJF-6042MkII はオプション Kebab HS システム未対応のため、使用上の制限はありません。

使用上の制限

UJF-3042MkII e、及び、UJF-6042MkII e の使用は、危険性を十分理解した使用者に限られます。



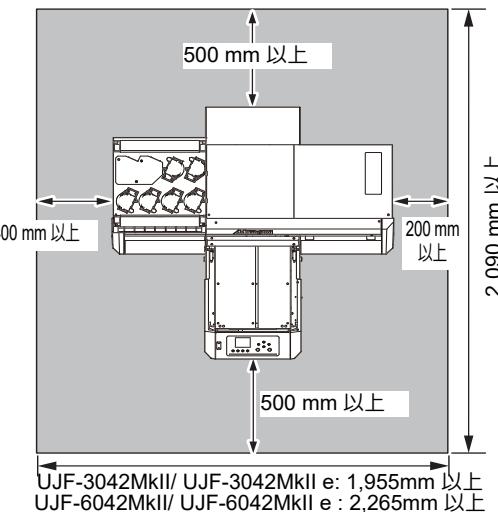
- UJF-3042MkII e、及び、UJF-6042MkII e を使用する際は、手袋、長袖の服を着用し、目は付属の遮光メガネで保護してください。

使用者の制限

UJF-3042MkII e、及び、UJF-6042MkII e の使用者は適切な訓練を受ける必要があります。適切な訓練を受けた使用者のみに制限してください。

エリア制限

UJF-3042MkII e、及び、UJF-6042MkII e は下記に示す範囲でエリア制限を設けてください。適切な訓練を受けた使用者以外の者は装置に近づけないでください。



はじめに

この度は、UV インクジェットプリンター UJF-3042MkII/UJF-6042MkII/UJF-3042MkII e/UJF-6042MkII e をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
「UV インクジェットプリンター UJF-3042MkII/UJF-6042MkII/UJF-3042MkII e/UJF-6042MkII e」は、紫外線硬化インク (UV インク) を使用しております。本書をよくお読みになり、お客様のニーズに合わせたプリントにお役立てください。

取扱説明書について

- 本書は、「UV インクジェットプリンター UJF-3042MkII/UJF-6042MkII/UJF-3042MkII e/UJF-6042MkII e」(以後本機と称します) の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- このマニュアルの説明には、UJF-3042MkII の図を使用しています。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本機をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
- 本書は、改良のため予告無く変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。
© 株式会社ミマキエンジニアリング

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味を理解し、本機を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

内 容	
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げたりするものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警 告



- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。

排気口施工について

本機の故障を防ぐため、下記の注意を必ずお守りください。

- 排気口の形状は、お客様の建物環境によりますが、開口部の面積はダクトの 50%以上を確保してください。
- 排気口に閉鎖弁などを設置する場合、本機使用時は必ず閉鎖弁を開けてください。


警 告

- ・同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- ・本機で使用するインクは、危険物第4類第3石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため本機を使用する場所は、火気厳禁としてください。



- ・ヘッドを清掃する際は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



- ・手袋は消耗品です。付属の手袋が無くなりましたら市販品をご使用ください。



- ・誤ってインク、メンテナンス液を飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲みませないでください。その後、(財)日本中毒情報センター中毒110番に連絡してください。
- ・蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。
- ・廃インクは、使用している地域の条例に従つて処分してください。



- ・同梱されている電源ケーブルセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源ケーブルセット以外の電源ケーブルセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- ・電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

- ・湿気の多い場所での使用は避けてください。また、本機に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。

- ・万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。

- ・本機やカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。

- ・メディア搬送面のヒーターにホコリやゴミなどが付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。

- ・延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- ・電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

- ・タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。


警 告

- ・電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られたりするときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

- ・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- ・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- ・表示された電源周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- ・危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。

- ・万一、金属、水、液体などの異物が本機内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

- ・インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

- ・本機に子供を近づけないでください。


絶対にしないでください

警 告
分解・改造はしない


- ・本機やインクボトルの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。

電源、電圧について


- ・表示された電源仕様で使用してください。また、電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理されたコンセントに差し込んでください。火災・感電の原因になります。



- ・点灯中のLED UV 装置は絶対に直接肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。必ず保護メガネを掛けてください。
- ・紫外線(UV)を皮膚に直接あてないでください。皮膚の炎症を起こす原因になります。



- ・メンテナンス時には感電を防ぐために、必ず主電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてください。また装置によっては、コンデンサーの電荷放電時間に1分間必要な場合があります。主電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いた後は、必ず3分後に作業するようにしてください。

- ・LED UV 装置がまれに破損することがあります。定格寿命もしくは、それ以前の LED UV 装置の交換をお勧めします。

警 告

- 本機の主電源スイッチの投入作業も、本機の操作方法を熟知した人以外は行わないでください。
- 点灯中や消灯直後は熱いので、LED UV 装置には手を触れないでください。ヤケドの原因となります。

- 本機はクラス 1 レーザー機器となります。レーザーセンサー自体はクラス 2 レーザーが使用されています。絶対にレーザー光を直接のぞき込まないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。



湿気の多い場所では使用しない

- 湿気の多い場所での使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。

異常事態の発生

- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

インクボトルの取り扱い

- 一部成分において（光重合開始剤）、水生生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。
- インクボトルや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

LED UV の取り扱い

- 一部成分において（光重合開始剤）、水生生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。
- インクボトルや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

不凍液の取り扱い

警 告

- 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。冷却装置が故障するおそれがあります。
- 不凍液は、直接肌に触れないようにしてください。

万一、皮膚や衣服に触れてしまった場合は、石けんを使って、すぐに流水で洗い落してください。

万一、不凍液が目に入った場合は、大量の流水で洗い、医師の診断を受けてください。

- 不凍液をご使用の前に、必ず安全データシート (SDS) をお読みください。

- 誤って不凍液を飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ、医師の診断を受けてください。

- 不用となった不凍液は以下の方法で処分してください。

おがくず、ウエスなどに吸着させて、焼却炉で焼却する

- 免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する

- 静電気・衝撃火花による着火源が生じないように注意してください。

- 不凍液を取り扱う場合は、必ず保護メガネおよび手袋を着用してください。



循環水について

- メンテナンス部に水漏れが発見された場合は、直ちに電源スイッチをオフにしてプラグをコンセントから抜いてください。

メンテナンス上の注意

- インクステーションやヘッドを清掃する際は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



- 手袋は消耗品です。付属の手袋が無くなりましたら市販品をご使用ください。

- インクは火気の無いところで換気しながらお使いください。

- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

- 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲みませないでください。その後、(財)日本中毒情報センター 中毒 110 番に連絡してください。

大阪 : 072-727-2499

つくば : 029-852-9999

- 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。

- インクが皮膚に付着した場合は、石鹼または皮膚用洗剤を使い大量の水で十分に洗い落してください。

使用上のご注意

！ 注意

警告ラベルについて



- 本機には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、または弊社営業所にて新しい警告ラベルをお買い求めください。

インクボトルについて



- ボトルを寒いところから暖かいところに移した場合は、使用する場所に3時間以上放置してから利用してください。
- ボトルは、取り付け直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常にプリントできない場合があります。
- ボトルは、冷暗所で保存してください。
- ボトルを開封後は、早めに使い切ってください。開封後、長時間経過した物は、プリント品質が低下します。



- 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。
- ボトル内のインクを詰め替えないでください。
- インクボトルを強くたたいたり、激しく振り回したりしないでください。ボトルからインクが漏れる場合があります。

ホコリから守る



- できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを2または3に設定してください。
- 夜帰宅する際は、正面カバーを開いたままにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。
- メディアはホコリがつかないように保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。

メンテナンス液について



- メンテナンス液は、冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。

不凍液について



- 不凍液は冷暗所で保存してください。
- 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。

高温について



- LED UV や温水装置は、高温になります。メンテナンスを行うときは、LED UV 装置消灯後十分温度が下がってから行ってください。

！ 注意

- 万一、高温部に触るときは、断熱性のある手袋などで手の皮膚を保護してください。

電源供給について



- ブレーカーは常時オンにしておいてください。
- 側面にある主電源スイッチはオフにしないでください。

紫外線について



- LED UV 装置周辺から多少の紫外線漏れがあります。紫外線を皮膚や目に浴びると、炎症や皮膚ガンを起こす可能性があります。弱い紫外線で炎症を起こさない場合でも、反復曝露により慢性障害に発展する場合があります。紫外線を皮膚や目に浴びないようにしてください。



- 紫外線の目への障害として、急性障害；異物など、とう痛および涙が流れるなどがあります。慢性障害；白内障などがあります。本機を使用する場合、手袋、長袖の服、顔面部は遮光面、目は付属の遮光メガネなどで保護してください。

LED UV 装置の注意



- LED UV 装置下面のガラスは、必ず付属の手袋をはめて取り扱い、素手で触れないでください。UV 硬化が著しく低下する原因になります。汚れがついた場合には、アルコールを湿らせた清潔なガーゼなどで拭いてください。(外側カバーは、アルコールで拭かないでください。塗装がはげます。)



- LED UV 装置の性能、寿命は UV 照射装置、UV 電源装置によって大きく左右されます。弊社推奨の LED UV 装置、UV 電源装置以外は絶対に使用しないでください。弊社推奨の UV 照射装置、UV 電源装置以外を使用して生じた不具合について、弊社は一切責任を負いかねます。

清掃について



- 長年の使用により装置導電部や絶縁部にゴミ、ホコリがたまり漏電する場合があります。定期的に清掃をしてください。
- 清掃は圧縮空気の吹き付けで行わないでください。ゴミ、ホコリが飛散するだけでなく、導電部に侵入して動作不良を起こします。必ず掃除機を使用して、ゴミ・ホコリを吸い取ってください。

- 水のかかる場所での使用は、漏電の可能性が非常に高くなります。水のかかる場所での使用は避けてください。

- 万一、漏電が発生すると、作業員の感電や火災に発展する場合があります。

- 事故防止のため、定期点検、定期交換部品の交換などは必ず行ってください。

定期交換部品があります



- 本機には、別に定める定期交換部品があります。保守契約をしていただくことをお勧めします。

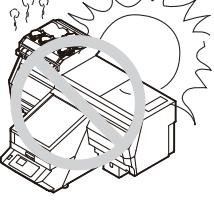
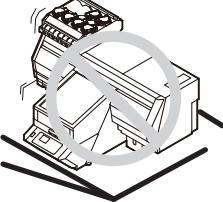
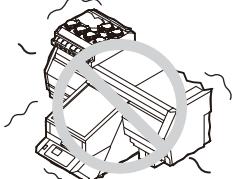
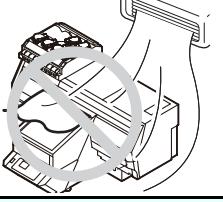
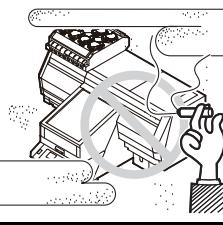
装置を水平に保つ



- 本機を水平に保つようにしてください。

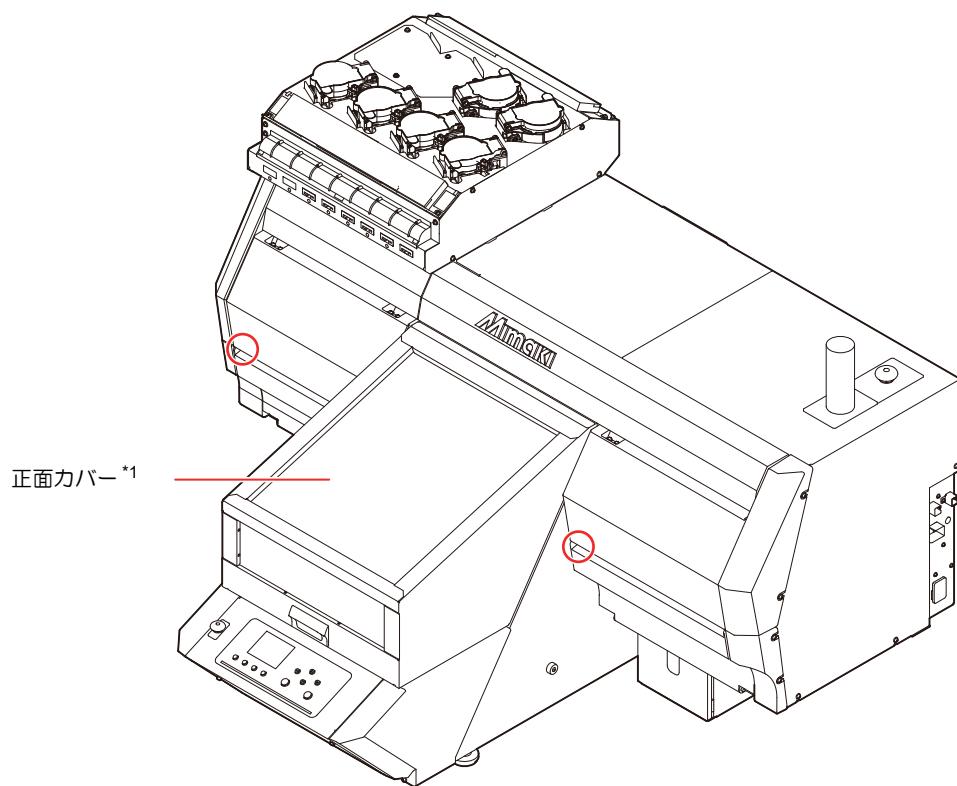
! 注意	
発火、発煙について	
	<ul style="list-style-type: none"> LED UV 装置などの高温部に可燃物が触れる と、発火、発煙の可能性があります。 また、LED UV 装置の下に数秒間、可燃物を放 置すると、発火、発煙の可能性があります。
	<ul style="list-style-type: none"> 長年の使用で、安定器やその他使用部品につ いてゴミやホコリによる漏電、絶縁劣化が原 因の発火、発煙の可能性があります。定期的 な清掃、絶縁抵抗測定による劣化部品の交換 をしてください。 長年の使用で、導電部のネジなどが緩むこと が原因で、発火、発煙の可能性があります。定 期的な増し締めを行ってください。 本機は防爆タイプではありません。危険物霧 囲気での使用は爆発などの危険があります。 危険物霧囲気での使用を禁止します。 異臭・発煙・スパーク跡など装置に異常が見 られた場合は直ちに電源をオフにして弊社ま で連絡してください。

設置上のご注意

! 注意	
直射日光が当たる場所	水平でない場所
	
振動が発生する場所	エアコンなどの 風が直接当たる場所
	
温度や湿度の変化が 激しい場所	火を使う場所
 <ul style="list-style-type: none"> 次の環境下でお 使いください。 使用環境： 20 ~ 30 °C (68 ~ 86 °F) 35 ~ 65 % (Rh) 	

安全インターロックについて

本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合に動作を中断させるためのインターロックがついています。
(下図の赤丸部分)

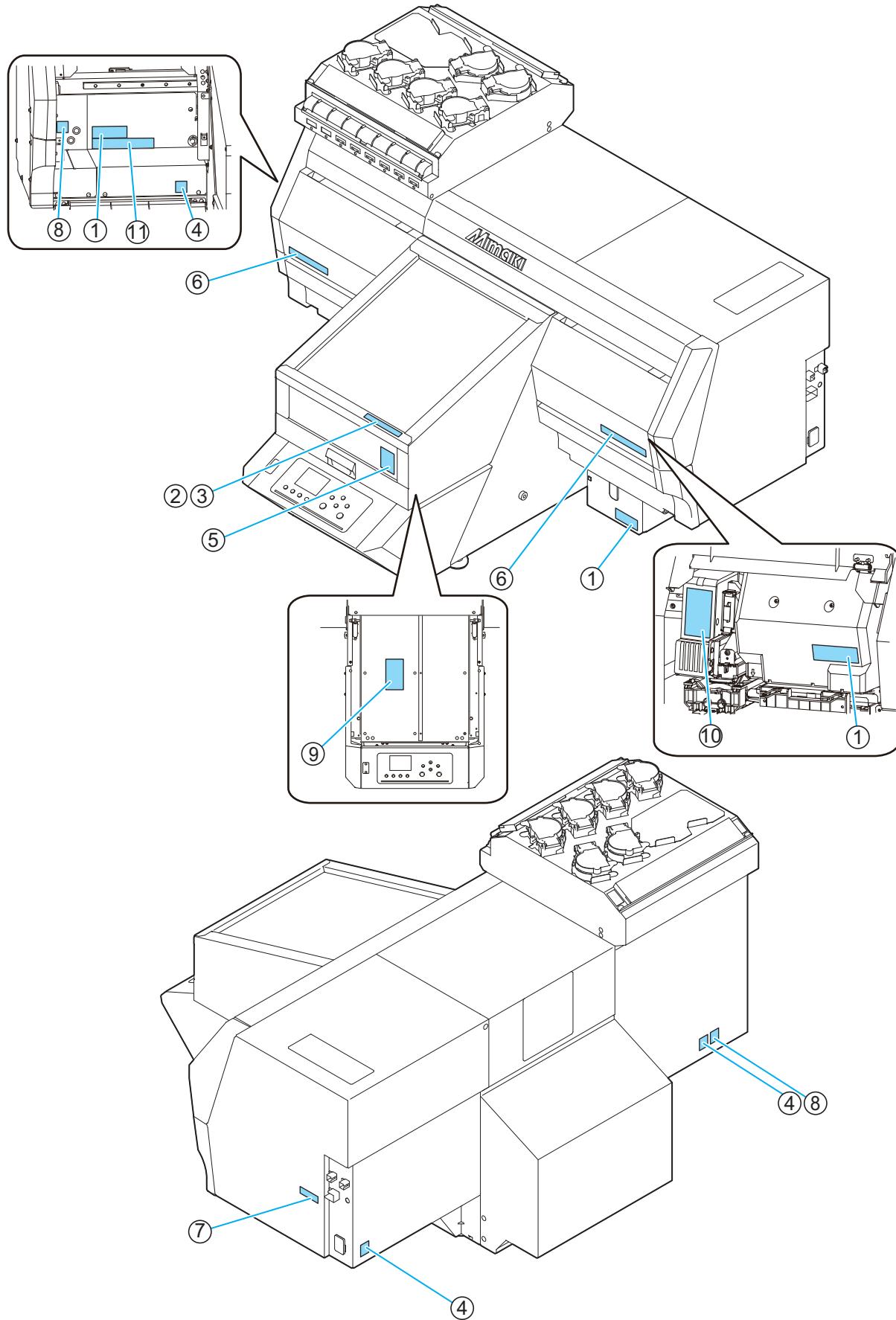


*1: 動作中に正面カバーを開くとキャリッジは停止しますが、インターロックではありません。

警告ラベルについて

本機には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。

なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。



注文番号	ラベル	注文番号	ラベル
(1)M903330		(6)M913425	
(2)M913563 (UJF-6042MkII/ UJF-6042MkII e)	テーブル上に8kg以上のものを 載せないで下さい。 DO NOT PUT MORE THAN 8KG THINGS ON THE TABLE	(7)M913706	Complies with FDA performance standards for laser products except for deviations pursuant to Laser Notice No. 50 dated June 24, 2007
(3)M913565 (UJF-3042MkII/ UJF-3042MkII e)	テーブル上に5kg以上のものを 載せないで下さい。 DO NOT PUT MORE THAN 5KG THINGS ON THE TABLE	(8)M903239	
(4)M907935		(9)M913610	
(5)M913423			
(10)M913419		(11)M915076	

第1章 ご使用の前に



この章では ...

本機の各部の名称や設置方法など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本機を設置する	1-2	電源ケーブル接続について	1-12
設置場所について	1-2	インクボトルについて	1-13
本機の移動	1-2	使用可能なインクの種類	1-13
各部の名称とはたらきについて	1-3	インクボトル取り扱い上のご注意	1-13
装置前面	1-3	インクボトルをセットする	1-14
装置背面	1-4	メディアについて	1-19
キャリッジ	1-4	使用可能メディアサイズ	1-19
非常停止スイッチ	1-4	メディア取り扱い上の注意	1-19
表示灯ユニット	1-5	治具の運用について	1-19
操作パネル	1-6	治具使用時の利点	1-19
テーブルについて	1-9	治具製作の流れ	1-20
タップ位置について	1-9	治具製作時の注意点	1-20
テーブルに関するご注意	1-11	メニュー モードについて	1-22
ケーブルを接続する	1-11		
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する	1-11		
LAN ケーブルを接続する	1-12		

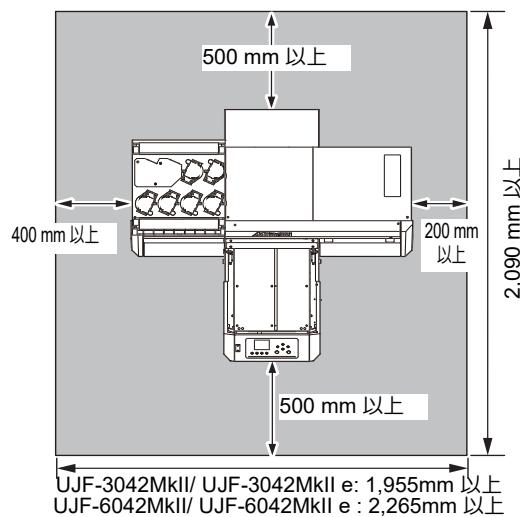
本機を設置する

設置場所について

本機を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。

本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

機種	UJF-3042MkII	UJF-6042MkII
	UJF-3042MkII e	UJF-6042MkII e
幅	1,355 mm	1,665 mm
奥行き	1,290 mm	
高さ (1L ボトル含む)	936 mm	
専用台使用時	1,567 mm	
全体重量	約 150 kg	約 165kg
専用台使用時	約 185 kg	約 200kg



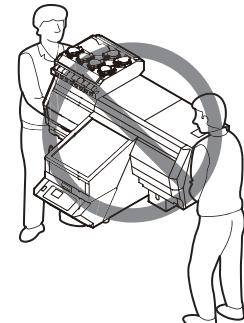
- お客様が通常、写真定着材を使用されている場合、写真定着材の蒸気が充満している部屋には本機を設置しないでください。写真定着材が充満した部屋に本機を設置すると、ヘッドに付着したインクが固まり、ヘッドクリーニングを何度も行つても改善しない画質不良や、ノズル詰まりの原因になります。
- 写真定着材の他にも、酸性蒸気（酢酸や塩酸等）の発生している環境下に本機を放置しても同様の現象が発生します。
- 金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類）を含むものが充満した環境では、マシンを使用しないでください。また、そのような環境からインク、メンテナンスキット類、マシンを隔離してください。ノズル詰まりの原因になります。

本機の移動

本機をやむを得ず、段差の無い同一フロア内で移動する場合は、次のように行ってください。

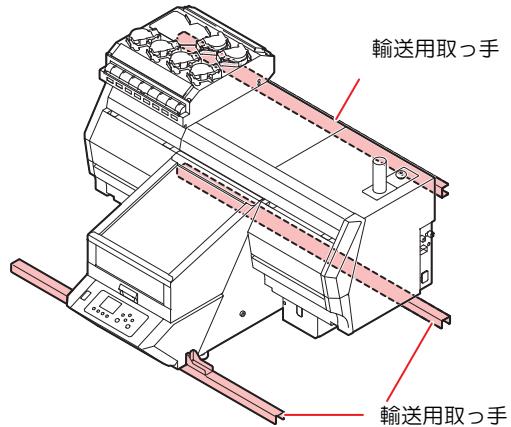


- 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
- なるべく水平を保つように移動してください。横倒し状態での運搬は、絶対に行わないでください。故障の原因になります。
- 本機の専用台には、装置を固定するためのレベルフットが付いています。本機の電源を投入する前に、必ず、本機がレベルフットで固定されていることを確認してください。もしレベルフットで固定されていない状態でプリントをすると、本機が動き出す場合があります。



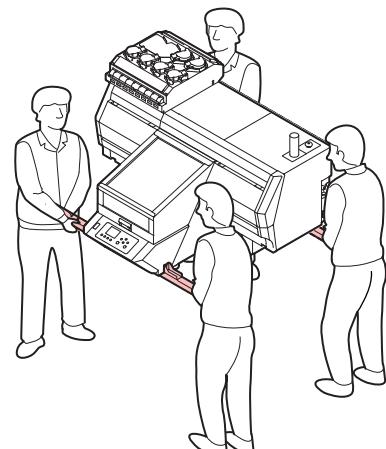
● 本機を移動するときは、輸送用取っ手 (2 力所) を取り付けてください。

取っ手を本機に差し込み、ネジを締めて固定します。



● 本機を移動するときは、必ず 4 人以上で行ってください。

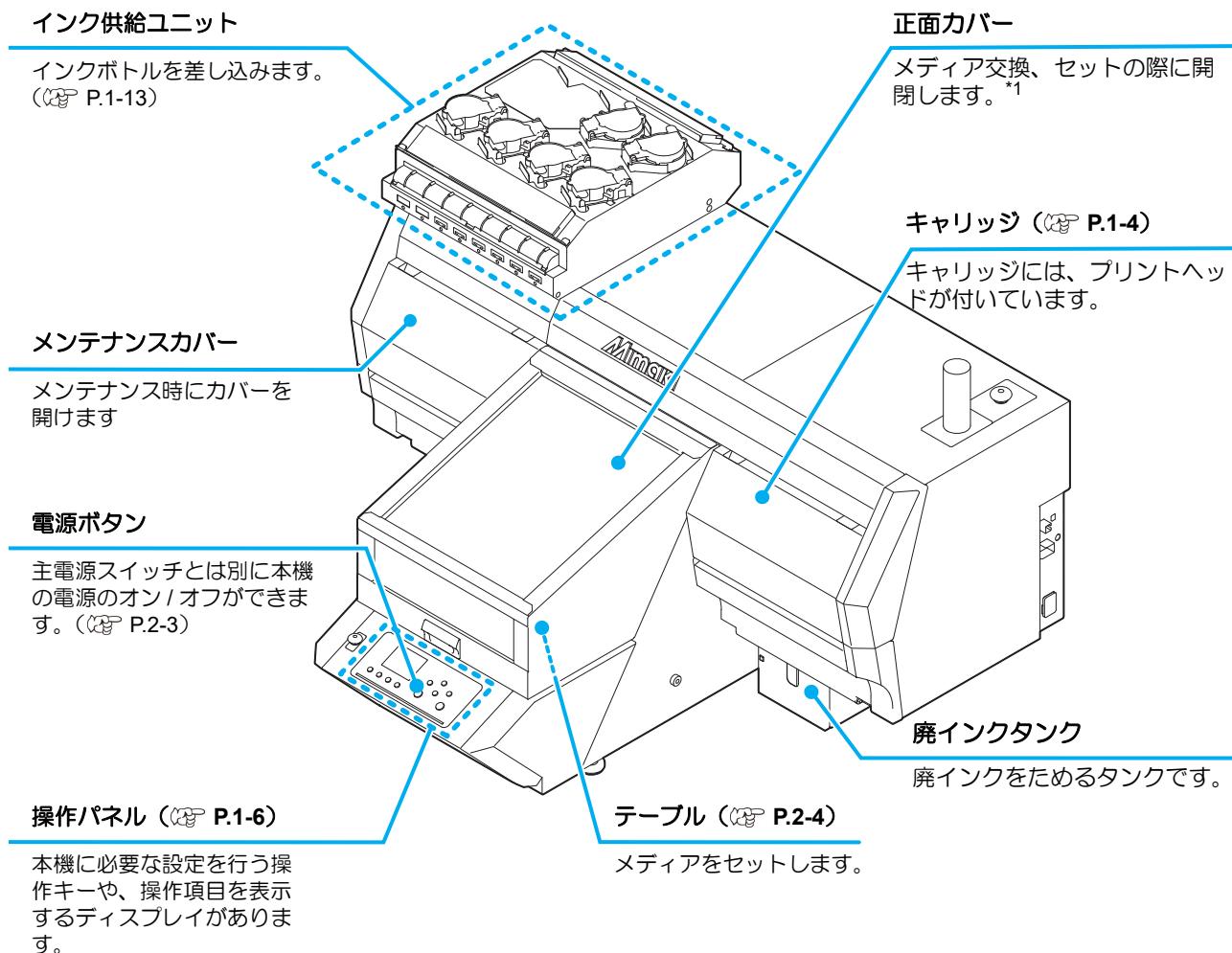
カバーを押して移動すると、カバーが変形する可能性があります。必ず輸送取っ手を持って移動してください。また、各国の規定に準じて移動してください。



各部の名称とたらきについて

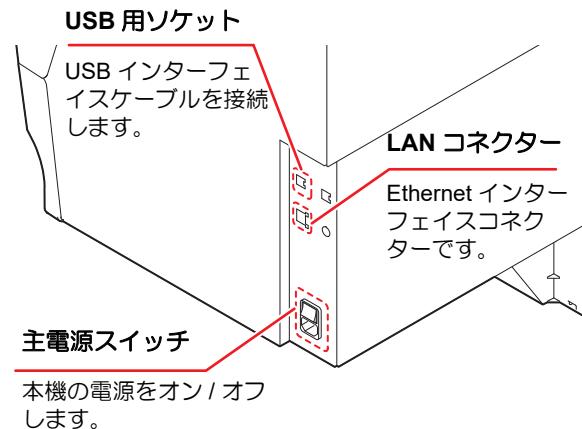
装置前面

以下、UJF-3042MkII の図を使用して説明します。



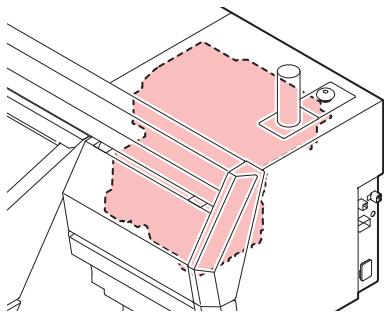
*1: 動作中に正面カバーを開くとキャリッジは停止しますが、インターロックではありません。

装置背面

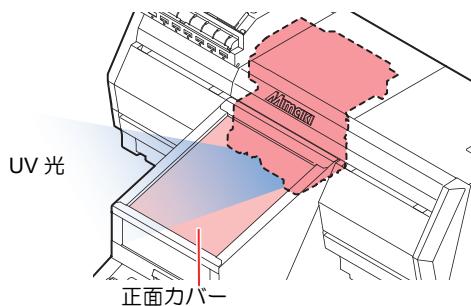


キャリッジ

キャリッジには、プリント用のプリントヘッド、LED UV 装置、プリントヘッドカバー内にライトポインターを搭載しています。

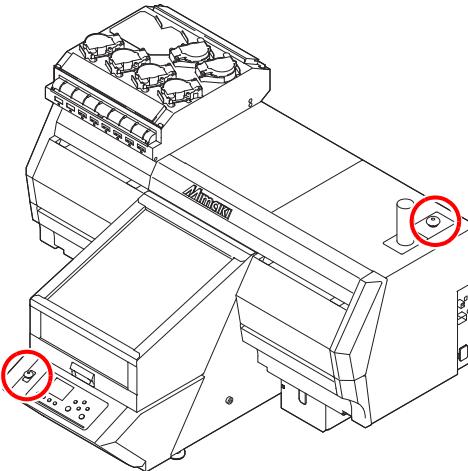


- 正面カバー越しであっても、LED UV から出る光を直接肉眼で見ないでください。プリント条件により、非常に明るい光が出ます。
- 付属の遮光メガネを着用してください。



非常停止スイッチ

安全上の理由で、本機を緊急停止したいときに押します。非常停止スイッチは、装置前面に 1箇所、カバー右後方に 1箇所あります。



- 非常停止スイッチは、UJF-3042MkII/UJF-3042MkII e ではオプション品となります。
- 本オプションをご使用いただくには、弊社サービスエンジニアによる取り付け作業が必要になります。お客様によるオプション品の本体への取り付けはできませんので、ご注意ください。

重要!

非常停止スイッチを押して緊急停止をした場合は、次のようにしてください。

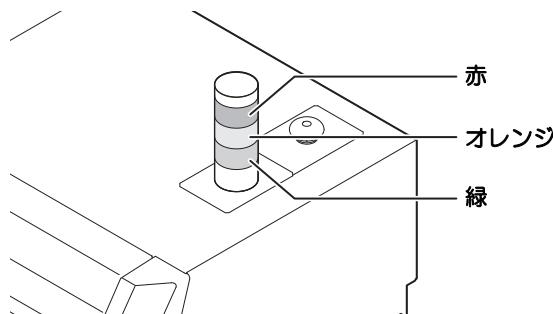
- コンセントを抜いてから、異常原因を取り除く
- 安全確認後、非常停止スイッチを引っ張り上げて(または回転させて)解除する
- コンセントを接続する

表示灯ユニット

表示灯ユニットは、本体の状態を3色のライトでお知らせします。



- 表示灯ユニットは、UJF-3042MkII/UJF-3042MkII eではオプション品となります。
- 本オプションをご使用いただくには、弊社サービスエンジニアによる取り付け作業が必要になります。お客様によるオプション品の本体への取り付けはできませんので、ご注意ください。



本体の状態	信号灯表示		
	緑	オレンジ	赤
ローカル	-	-	-
リモート (プリント中)	点滅	-	-
リモート (プリントをしていない状態)	点灯	-	-
特定のワーニング / エラー ^{*1} が発生し、かつローカルの状態	-	点滅	-
特定のワーニング / エラーが発生し、かつリモートでプリント中	点滅	点滅	-
特定のワーニング / エラーが発生し、かつリモートでプリントをしていない状態	点灯	点滅	-
システムダウンするエラーやカバーオープンなどのエラー発生中	-	-	点灯

*1. お客様による作業で解除できるワーニングやエラーです。(インクニアエンド・インクエンド・廃インクタンク FULL・ワイパー清掃・キャップ清掃・オーバーフローメンテなど)



- 本オプションやプリンター本体の分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。

SEL キー

ファンクションボタン ([FUNC1] ~ [FUNC3]) の機能を切り替えます。

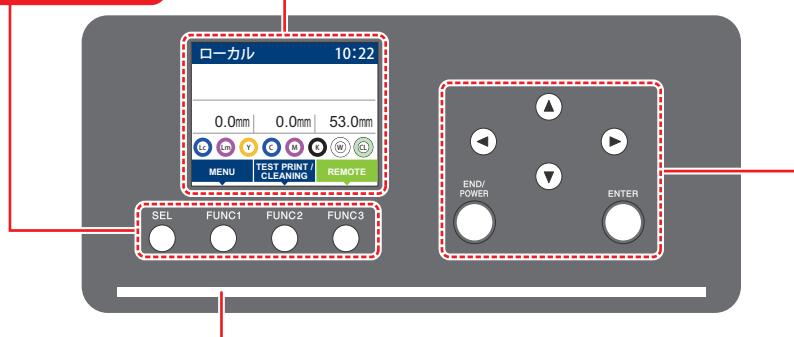
[FUNC1] / [FUNC2] / [FUNC3] キー

各種機能の設定やテストプリントをするときなどに押します。ファンクションボタンの機能は、[SEL] を押すたびに切り替わります。

ディスプレイ

次の各項目が表示されます。

- ・本機の状態
- ・インクの状態 ^{*1}
- ・[FUNC1] ~ [FUNC3] に割り当てられている機能 ^{*2}



状態表示ランプ

本機の状態 (プリント中、エラー発生中など) をランプでお知らせします。

ランプの点灯状態	装置の状態
消灯	プリントデータの受信やエラーなどが発生していない状態です。
水色点灯	リモートに切り替えた状態です。
水色点滅	プリント中の状態です。
	テストプリントなど、本機に内蔵しているパターン各種をプリントしている状態です。
青色点灯	プリントデータを受信した状態です。(ローカル)
赤色点滅	エラーが発生しています。
赤色点灯	エラー (SYSTEM HALT) が発生しています。
黄色点滅	UV モードを "印刷無し" にすると、黄色点滅となり、ローカルに "印刷無し" と表示されます。

ジョグキー ◀ ▶ ▲ ▼

ローカルでのヘッドやメディアの移動、各種設定の項目選択に使用します。

END/POWER キー

直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを 1 つ前の階層に戻す場合に使用します。また、電源のオン/オフをするときに押します。(電源を切るときは、長押ししてください。)

ENTER キー

1 段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。



- ・電源スイッチをオンにすると操作パネルの [ENTER] キーが青に点灯し、オフにすると消灯します。
- ・電源をオフにしても自動的にメンテナンス動作が入ります。(☞「オートメンテナンス機能」P.4-18)
- ・主電源スイッチ (☞ P.1-4) はオフにしないでください。
- ・Mimaki Remote Access 使用中はディスプレイに "During remote control. [ent]" と表示され、本機の操作パネルによるキー操作は無効になります。
- ・ディスプレイに "During remote control. [ent]" が表示されている時に [ENTER] キーを押すと、リモートコントロール状態が解除され、本機の操作パネルによるキー操作が有効になります。

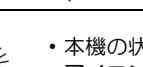
*1: インクの状態について

ディスプレイにインクタンクの状態(インク残量/エラーなど)をアイコンで表示しています。各々のアイコンについて説明します。

アイコン	内容								
	インクスロットにセットされている順番で、インク残量を9段階で表示します。右に行くに従って、インク残量が少なくなっています。								
	インクエンドまたはインクエラー状態で、インクが使用できることを表します。								
	インク期限切れ、期限切れ1ヶ月を示します。早めに使用してください。インク期限切れ2ヶ月を過ぎると使用できなくなります。								

***2 : [FUNC1] ~ [FUNC3] に割り当てられている機能**

[FUNC1] ~ [FUNC3] に割り当てられている機能の内容を説明します。

アイコン	内容
	各機能を設定する "MENU" が表示されますが表示されます。
	テストプリント・クリーニングなどのメンテナンス機能が表示されます。
	ローカルで、リモートに移行し、プリントを開始します。
	データクリアを実行します。
	リモートにてプリントを中断し、ローカルへ移行します。
	テーブルの高さを下げます。
	テーブルの高さを上げます。
	MENU 画面などで、複数の項目がある場合、次のページへ移動します。
	MENU 画面などで、複数の項目がある場合、前のページへ移動します。
	警告メッセージが表示された場合など、確認の完了を行う場合に使用します。
	機能を "OFF" や無効にする場合に使用します。
	何らかの設定や機能が割り当てられています。各機能の説明に従い、操作してください。
	クリーニングの対象ヘッド選択など、複数の項目を選択する場合に有効 / 無効を切り替えます。
	吸着ファンの ON/OFF を切り替えます。
	原点の設定を行います。



- ・本機の状態によって、アイコンの色は変化します。
- アイコンの色が緑色のとき: 本機がリモートの状態になっている
 アイコンの色が紺色のとき: 本機がローカルの状態になっているとき

テーブルについて

多様なメディアをセットしてプリントをするために、メディアの厚みに合わせて、テーブルの高さを調整する必要があります。

以下に各テーブルの仕様を記します。

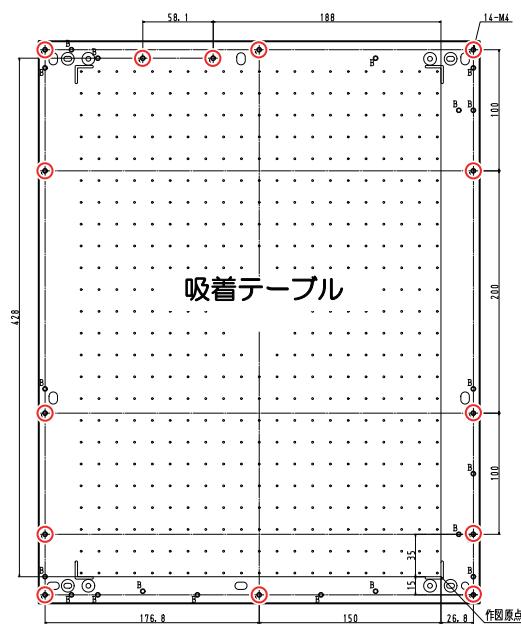
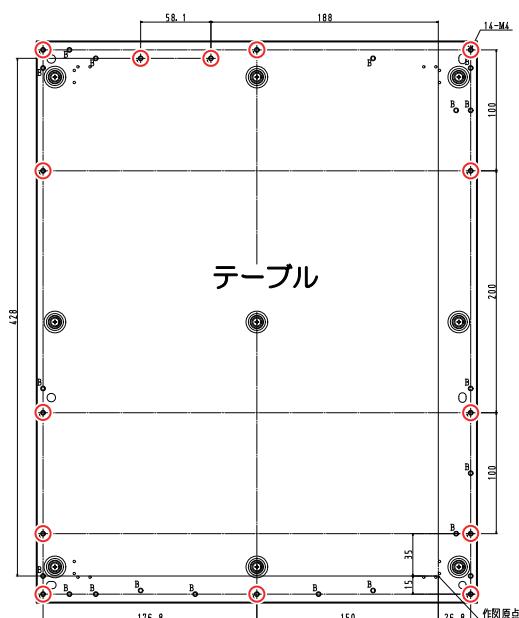
	テーブル	
	UJF-3042MkII/UJF-3042MkII e	UJF-6042MkII/UJF-6042MkII e
許容メディア重量 ^{*1}	5kg 以下	8kg 以下
バキューム機能	無し(オプション対応)	有り
テーブル可動域		0 ~ 53mm
メディア厚み	0 ~ 153mm (6inch) (1) 可動 53mm + (2)50mm スペーサー x2 段階 =100mm	

*1. 指定以上の重量物を載せると、テーブルが変形し画質低下します。

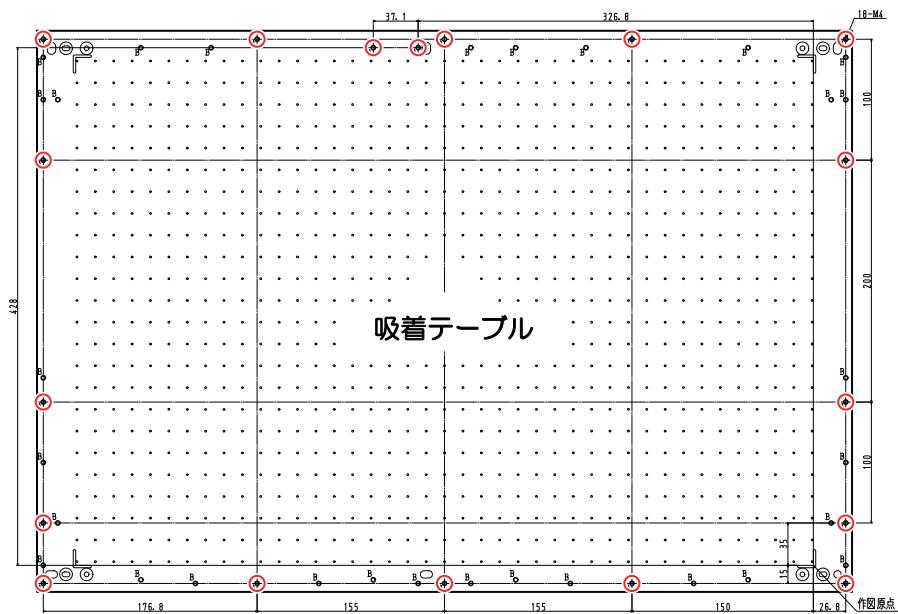
タップ位置について

メディアをセットするためのテーブルや吸着テーブルにはそれぞれ以下の寸法でM4タップ(UJF-3042MkII/UJF-3042MkII e:14箇所, UJF-6042MkII/UJF-6042MkII e:18箇所)が開いています。

• UJF-3042MkII / UJF-3042MkII e



• UJF-6042MkII/UJF-6042MkII e



〔重要!〕

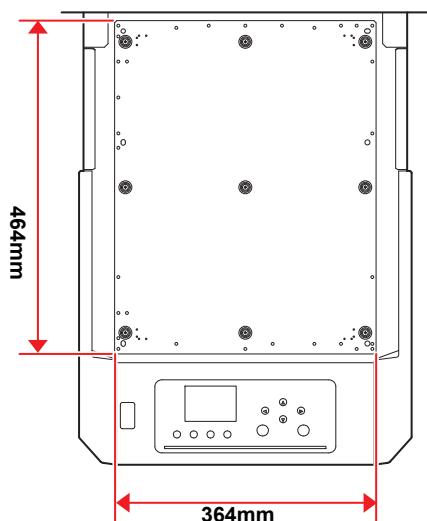
- タップ穴(○)は、治具にてご使用いただけます。
- それ以外の穴は、断り無く位置を変更する場合があります。
- 治具サイズは、テーブルよりはみ出さないようにしてください。

テーブルに関するご注意

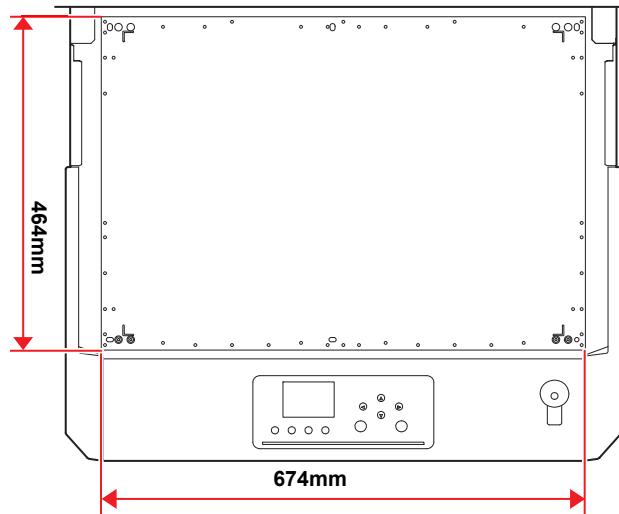
治具を使用するとき、サイズは幅 UJF-3042MkII/UJF-3042MkII e: 364mm (A3相当)/UJF-6042MkII/UJF-6042MkII e: 674mm(A2相当)、奥行き 464mm 以下にしてください。

上記のサイズ以上にすると、テーブルが可動できなくなります。

• UJF-3042MkII/UJF-3042MkII e



• UJF-6042MkII/UJF-6042MkII e



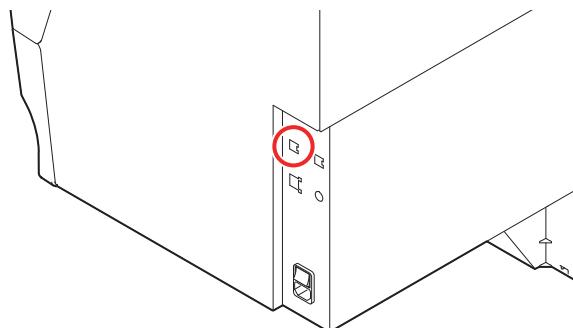
ケーブルを接続する

USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する

コンピューターと本機をUSB2.0インターフェイスケーブルで接続します。



- USB2.0インターフェイスケーブルをご用意ください。(本機の付属品として、USB2.0インターフェイスケーブルを添付しておりません。)
- ご使用のRIPがUSB2.0インターフェイスに対応している必要があります。
- USB2.0インターフェイスがコンピューターに付いていない場合は、お近くのRIPメーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。

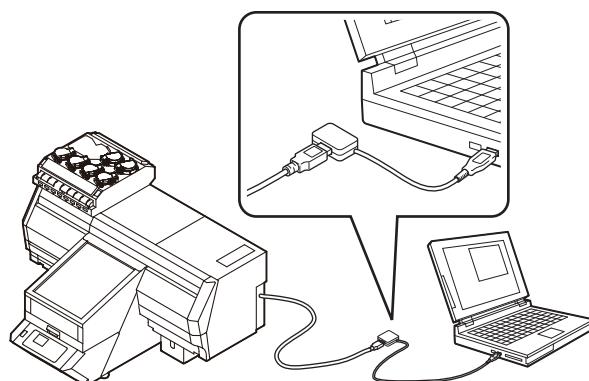


USB 2.0 インターフェイスについての注意事項

- 重要!** • ご使用のRIPが、USB 2.0に対応している必要があります。

● 1台のパソコンに複数の本機を接続する場合

1台のパソコンに本機を複数台接続する場合、本機を正常に認識できない場合があります。複数のUSBポートが付いているパソコンの場合は、他のUSBポートに接続して本機を認識できるか確認してください。USBポートを変えても本機を認識しない場合は、市販のUSB2.0リピーターケーブルを使用してください。

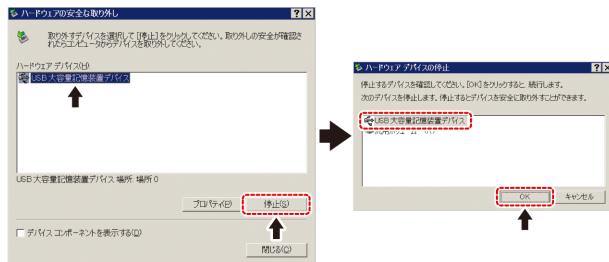


● USB ハイスピードモードの周辺機器について

本機と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリー、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに本機を接続した場合、本機へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、プリンタ中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

● USB メモリーの抜き方

本機 を接続してあるパソコンに USB メモリーを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。
[ERROR 10 コマンドエラー] 発生の原因になります。スプールデータをハードディスクにコピーした後、プリント出力してください。



LAN ケーブルを接続する

LAN ケーブルを接続するときは、以下の注意事項を厳守してください。

- （重要！）**
- ・カチッと音が出るまで確実に差し込んでください。
 - ・データ転送中は、ケーブルの抜き差しをしないでください。

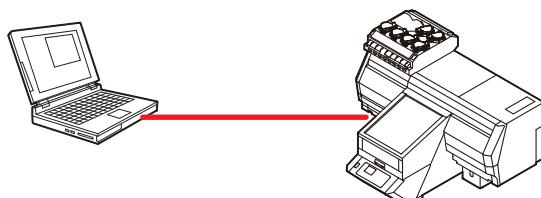
ネットワーク経由でプリントを行う場合

ネットワーク経由でプリントを行う場合、下記の環境でネットワークを構築する必要があります。

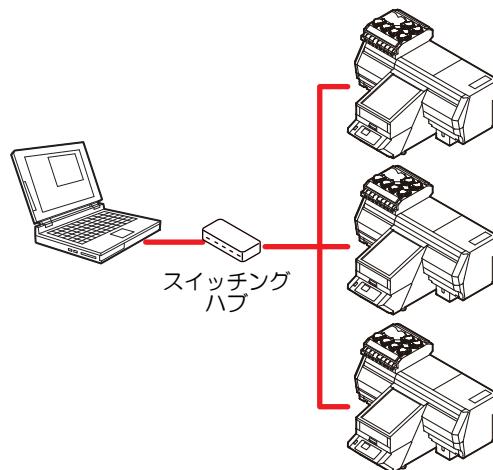
不適切な環境で構築を行うと、プリントが停止する原因となります。

- ・カテゴリー 6 または、カテゴリー 6A の LAN ケーブルを使用する。
 - ・1000BASE-T 対応の PC、スイッチングハブを使用する。
- （重要！）**
- ・プリントデータを送信する PC とプリンターは同じネットワークとなるようにしてください。
 - ・ルーターを経由した接続はできません。

● プリンターと直接接続する場合



● スイッチングハブを経由して接続する場合



プリンターに接続した PC、機器が 1000BASE-T 以外の場合、プリントできません。
接続後、以下を確認してください。

(1) プリンターの画面表示を確認する。

- ・ローカル画面、メディア検出画面から [ENTER] キーを数回押し、情報画面を表示する。

(2) LAN コネクターの緑ランプを確認する

- ・本体起動後、以下のように LAN コネクターのランプが点灯します。

色	点灯法	状態
緑	点灯	1000BASE-T で接続
	消灯	1000BASE-T 以外で接続
黄	点灯	リンクアップ
	点滅	データ受信中
	消灯	リンクダウン

（重要！）

- ・黄色のみが点灯もしくは点滅している場合、1000Mbps となっていません。PC、機器、ケーブルの仕様を確認してください。

電源ケーブル接続について

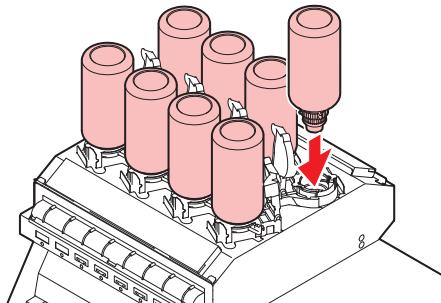


- ・付属品の電源ケーブルを使用してください。
- ・電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理したソケットに差し込んでください。火災、感電の原因になります。
- ・電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

インクボトルについて

インクボトルをインク供給ユニットに差し込んでお使いください。
インクボトルは、マシン左側に 8 ボトル (3042MkII/3042MkIIe は 6 ボトル) あります。

使用可能なインクの種類



インクの種類	色
UV インク	マゼンタ
	シアン
	イエロー
	ブラック
	ホワイト
	クリア
	プライマ
	ライトシアン (6042MkII のみ)
	ライトマゼンタ (6042MkII のみ)
メンテナンス液ボトル ¹	

¹1. ヘッド洗浄時に使用します。

ディスプレイには、次のように色が表示されます。

表示	色	表示	色	表示	色
M	マゼンタ	K	ブラック	P	プライマ
C	シアン	W	ホワイト	Lc	ライトシアン
Y	イエロー	CL	クリア	Lm	ライトマゼンタ

インクボトルセット時のご注意

インクボトルをセットするときは、次のことにご注意ください。

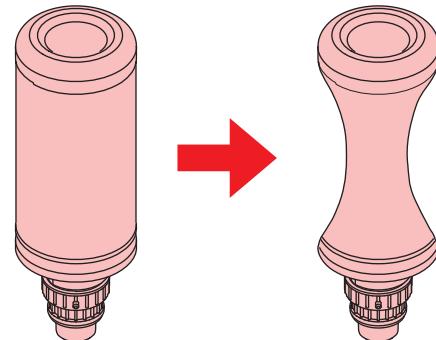


- インクスロット番号を確認し、正しい色のインクボトルを差し込んでください。
- インクボトルは、スロットの奥まで確実に差し込んでください。また、乱暴に抜き差ししないでください。
- IC チップはインク供給ユニットの差し込み口に差し込んでください。

インクボトル取り扱い上のご注意



- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 本機には専用のインクボトルをお使いください。本機は、専用のインクボトルを認識して動作します。インクボトルなどの改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- インクボトルは床下 1m 以下の場所で保管してください。1m 以上の高所で保管していると、インクボトルが落下した際にキャップが外れ、中のインクが飛散するおそれがあります。
- インクボトルを寒いところから暖かいところに移した場合は、3 時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- インクボトルは冷暗所で保管してください。
- インクボトルは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 一部成分において（光重合開始剤）、水生生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。
- インクボトルをご使用の前に、必ず安全データシート (SDS) をお読みください。
- 空になったインクボトルは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。
- インクボトルを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、ボトルからインクが漏れることがあります。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社は一切責任を負いかねます。
- IC チップの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。
- インクボトルを本機にセットしている状態でも、右図のようにボトルがへこむ場合がありますが、本機の使用については問題ありません。



250ml インクボトル使用時のご注意

1L インクボトルの使い切りが困難なお客様向けに、250ml のインクボトルがございます。250ml インクボトルを梱包箱から取り出し、インクタンクへセットする際は、以下の方法で作業してください。

- (1) 梱包箱上部のミシン目を開け、箱のフタを取り外す。



- ! • フタの内側に、インク IC チップが付いています。紛失しないように注意してください。



- (2) インク IC チップをフタから取り外して本機へ挿入する。(☞ P.1-17 「IC チップを差し込む」参照。)
 (3) インクボトルを 20 回以上ゆっくりと左右に振る。(☞ P.1-15 「インクボトルを取り出し、20 回以上ゆっくりと左右に振る」参照。)
 (4) 250ml ボトルが梱包箱に入った状態で、ボトルのフタを取り外す。

- インクタンクへセットする際は、箱からインクボトルを取り出さずに作業してください。

- ! • インクボトルは梱包箱に粘着テープで貼り付いています。この時点でインクボトルを箱から取り出さないでください。



- (5) 締め付け治具を使用してインクボトルに専用キャップを締める。
- 梱包箱のカラーラベル部（ボトルとラベルの接着部分）を指でしっかりと押さえて、治具を回してください。
 - 締め付け方法は。(☞ P.1-16 「締め付け治具を使って、専用キャップを締める」を参照。)



- (6) これ以降は、P.1-15 「インクボトルをセットする」の手順 5 以降と同様に、ボトルをタンクにセットする。

インクボトルをセットする

1

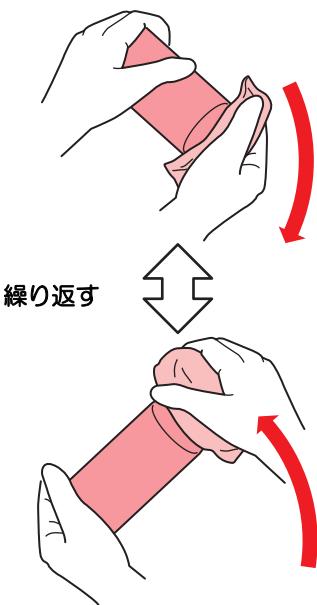
インクボトルを取り出し、20回以上ゆっくりと左右に振る

- 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、手袋を着用してペーパータオルなどでインクボトルのフタを閉めた状態で、ゆっくりとインクを流すように左右に20回以上振ります。



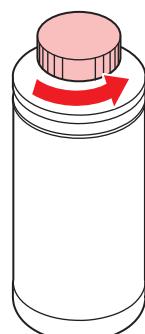
- フタがしっかりと閉まっていることを確認してから振ってください。
- 強く振りすぎるとインク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、インクボトルが縦になるまで傾けてください。

ペーパータオルでしっかりと押さえてゆっくり振る



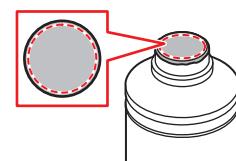
2

インクボトルのフタを外す



重要!

インクボトルの口元にシールが付いている場合
(1) カッターなどを使って、シールを丸く切り取ってください。切り残しがあると、インクが漏れる原因になります。



OK

No good



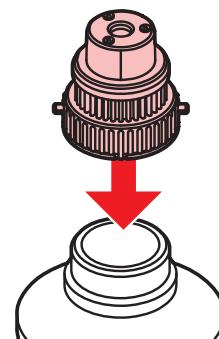
- (2) インクボトルの口元を傷付けないでください。傷が付いた部分から、インクが漏れるおそれがあります。
- (3) シールの破片をインクボトル内に落とさないように注意してください。シールの破片がボトル内に入ったまま使用すると、専用キャップに詰まってインクが供給できなくなるおそれがあります。

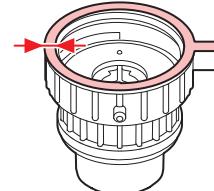
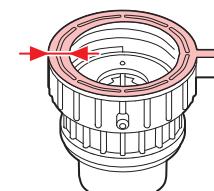
3

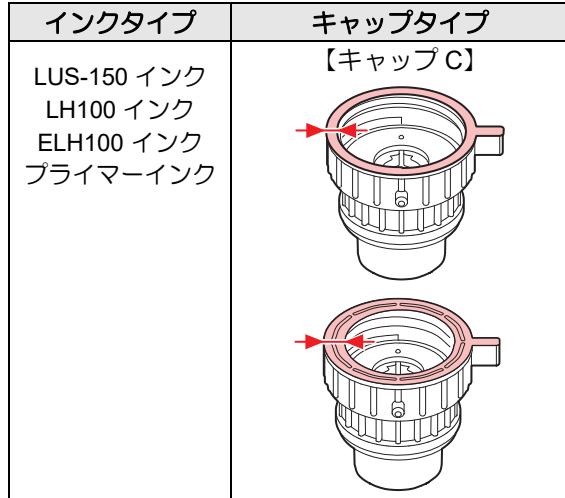
インクボトルに専用キャップを取り付ける

- セットするインクの種類によって、使用する専用キャップが異なります。

専用キャップ



インクタイプ	キャップタイプ 【キャップA】
LUS-150 インク	
LUS-200 インク プライマーインク LUS-120 インク ELS120 インク LH100 インク ELH100 インク <u>LUS210 インク (CLのみ)</u>	



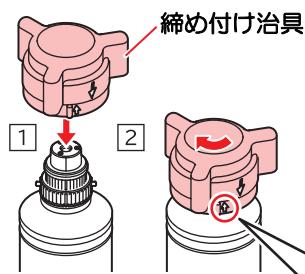
- ・インクボトルや専用キャップにインクやメンテナンス液が付着しているときは、インクを拭き取ってください。専用キャップが空回りしてインクが漏れる原因になります。



- ・専用キャップに紙タオルの欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まってインクが漏れる原因になります。

4

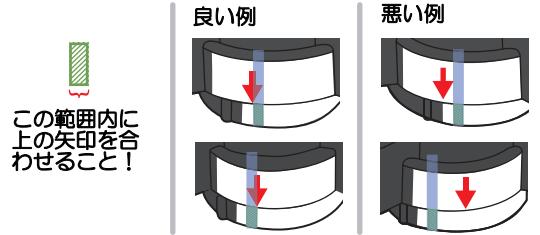
締め付け治具を使って、専用キャップを締める



SPA-0232 の場合



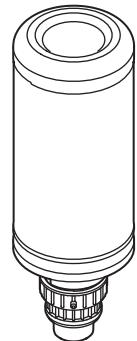
SPA-0328 の場合



- ・専用キャップを締めすぎないでください。破損したり、空回りしたり、インクが漏れたりするおそれがあります。上記の範囲を超えた場合は、一度専用キャップを緩めてから、やり直してください。
- ・専用キャップを取り付けたまま、インクボトルを長時間放置しないでください。インクが硬化してしまう原因になります。専用キャップは締めすぎないでください。破損の原因になります。

5

インクボトルを逆さにして、インクが漏れないかどうかを確認する



重要！

- ・インクボトルに専用キャップを取り付けたままで、光の当たる場所に長時間放置しないでください。ボトル内のインクが硬化する可能性があります。

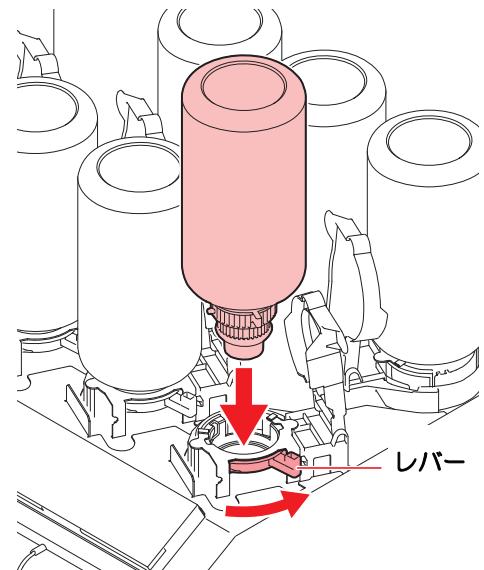
6

タンクにインクボトルをセットする

- ・タンク部のレバーを右端まで確実に回してから、インクボトルをセットしてください。

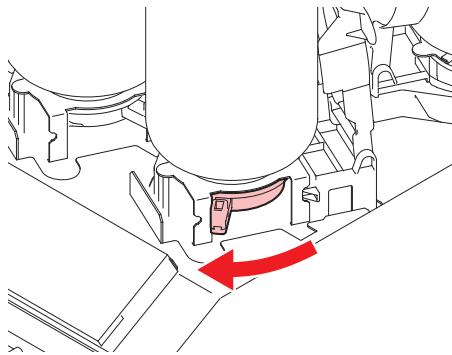


- ・インクボトルをタンクにセットしたら、絶対にインクボトルを回さないでください。インク漏れの原因になります。



7

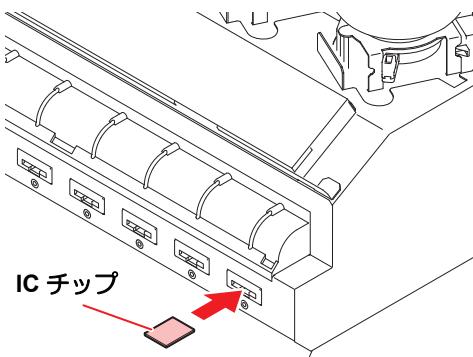
タンク部のレバーを右から左へ回す



8

ICチップを差し込む

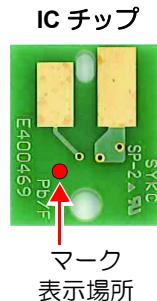
- ICチップは金属が付いている方を上にして差し込んでください。間違えて差し込むと、故障やICチップ破損の原因となります。
- ICチップの金属部分には触れないでください。静電気によるICチップ破損や、汚れ・傷によるIC読み取り不良の原因となります。
- インクボトルのセット順は P.6-4「インクボトルのセット順」を参照してください。



重要!

ICチップについて

- ICチップには、インクカラー やインク残量・使用期限などの情報が書き込まれています。インクボトルをセットするときは、インクボトルと一緒に梱包されているICチップをインクカバーに付いているICチップ挿入口に差し込んでください。
- インクボトルと対になっていないICチップをセットすると、画質不良などの原因となります。
- ICチップにはカラー情報を表すマークが貼られています。



インクカラーと表示マーク

インクカラー	表示マーク
ブラック	● (黒丸が1個)
シアン	● (青丸が1個)
マゼンタ	● (赤丸が1個)
イエロー	● (黄丸が1個)
ホワイト	○ (白丸が1個)
クリア	○○ (白丸が2個)
プライマー	○○○ (白丸が3個)
ライトシアン	●● (青丸が2個)
ライトマゼンタ	●● (赤丸が2個)

1

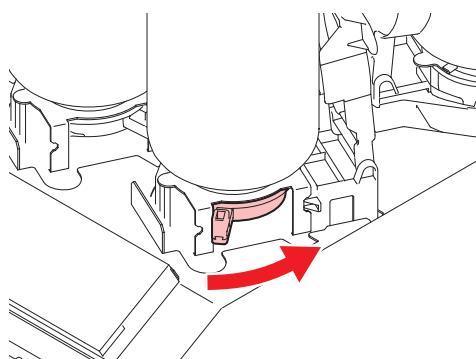
インクボトルを交換する

重要! • 必ず保護メガネを着用してください。
ディスプレイに[インクエンド]や[インクニアエンド]などが表示されたときは、次のようにしてください。

● [インクエンド]が表示されたとき

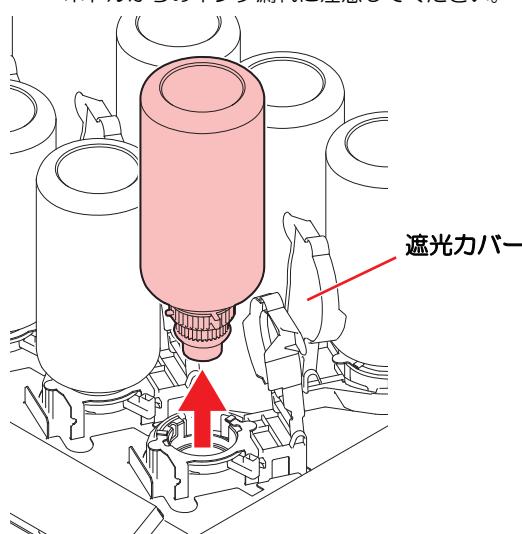
1 タンク部のレバーを左から右端まで回す

重要! • インクボトルは絶対に回さないでください。
インク漏れの原因になります。

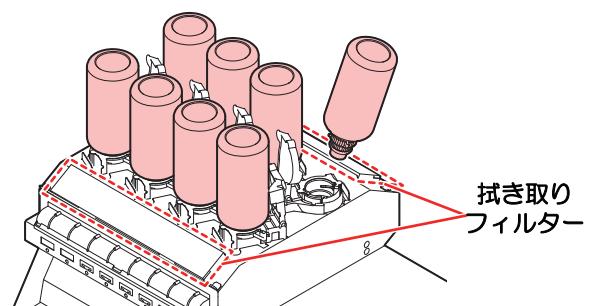


2 インクボトルを垂直に持ち上げる

重要! • インクボトルをタンクから外したとき、遮光バーが閉まっていることを確認してください。フタが閉まっていない場合は、手で閉めてください。遮光バーが開いていると、インクが硬化する原因になります。
• ボトルからのインク漏れに注意してください。



3 拭き取りフィルターでインクを拭き取る



4 キャップに付着したインクを拭き取る

(1) キャップを上にしてボトルを置き、キャップに付着したインクをペーパータオルなどで拭き取る



5 使用済みのインクボトルからキャップを取り外す

• キャップが外しづらい場合は、締め付け治具を使って取り外してください。

6 P.1-15「インクボトルをセットする」を参照して、新しいインクボトルをセットする

重要! • インクボトルに専用キャップを取り付けたままで、光の当たる場所に長時間放置しないでください。ボトル内のインクが硬化する可能性があります。

● [インクニアエンド]が表示されたとき

インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできますが、プリント中にインクが無くなるおそれがあります。早めにインクボトルの交換をすることをお勧めします。

ローカルで **ENTER** キーを押すと、交換対象ボトルをローカルガイダンスで確認できます。(☞ P.3-31)

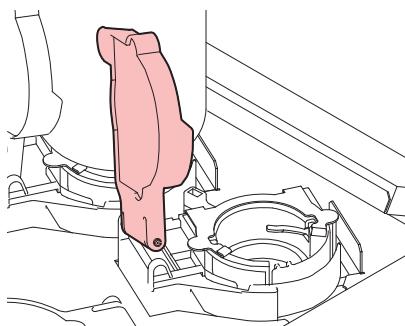


• ボトルをセットする前に、キャップ部に異物が付着していないか確認してください。紙片やホコリ等が付着していると、経路つまりの原因になる場合があります。

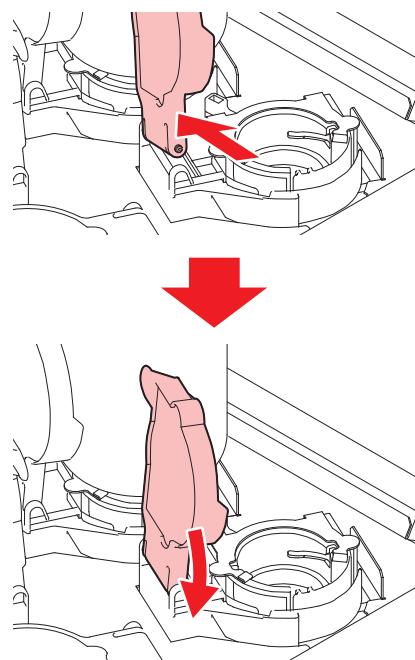
遮光カバーが外れてしまったときは

遮光カバーが外れると、タンク内部に光が当たり、インクが硬化する原因となります。遮光カバーが外れたときは、次の手順で取り付けてください。

1 遮光カバーの突起(片方)をタンクの穴に差し込む



2 手順1で差し込んだ穴の方に押しながら、もう一方の突起を差し込む



インク使用期限について

インクボトルにインクの使用期限が記載されています。インクの使用期限を超えると、インクの吐出不良や色みに変化を生じるおそれがあります。使用期限を超えてプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

例) 消費期限の記載が 2020 年 4 月の場合

5 月: 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。

6 月: (LED 黄点灯) 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。

7 月: (LED 赤点滅) プリントすることができません。

 • ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。

1

インクエンド、インクニアエンドについて

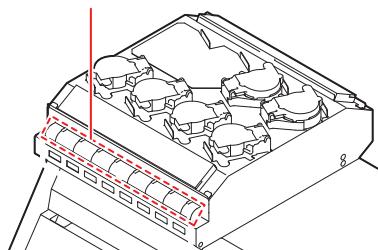
インクニアエンド(残量わずか)の場合、ワーニングを表示してお知らせします。早めの交換をおすすめします。

インクエンド(残量なし)の場合、ワーニングを表示してお知らせします。インクボトルを交換してください。

インクボトルランプについて

インクボトルの上にあるランプで、セット中のインクボトルの状態を確認することができます。

インクボトルランプ



ランプの状態	説明
青色に点灯	異常なし(インク供給中)
消灯	異常なし
黄色に点灯 または点滅	次のいずれかのエラーを発生しています。 • インクニアエンド • インク期限切れ(1ヶ月)
赤色に点滅	インク期限切れ(2ヶ月)
赤色に点灯	次のいずれかのエラーを発生しています。 • インクエンド • インク IC チップが挿入されていない • その他のインクエラー( P.5-5)

メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

	3042MkII/3042MkIIe	6042MkII/6042MkIIe
最大幅	300 mm	610 mm
最大長	420 mm	420 mm
最大プリント幅	300 mm	610 mm
最大プリント長	420 mm	420 mm
厚さ	(1)+(2)=153mm 以下 (6inch) (1) 可動 53mm (2)50mm スペーサー ×2 段階 =100mm	
重量	5 kg 以下	8 kg 以下

メディア取り扱い上の注意

装置破損や印刷物不良発生を防ぐため、次の点にご注意ください。



- メディアの伸縮**
包装を開けて間もないシート状のメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。開封後、30分以上、使用する場所の外気にさらす必要があります。
- メディアの反り**
板状メディアは、平らな物、プリント面を上にして下に反っている物（中央が浮いている物）をご使用ください。反りやすいメディアは、一回り小さな台やパレットの上に置くなど、下反りになるように保管してください。
- その他の注意点**
 - a コート紙の表面に物を置かないでください。
コート紙によっては変色する場合があります。
 - b 吸着しきれないカールしたメディアや、テープ移動時にずれてしまうメディアは使用できません。テープ貼付などでメディアを固定してからご使用ください。
 - c 反りや変形が生じるメディアは使用しないでください。

治具の運用について

治具とは、メディアを正しい位置に固定するための道具です。治具を使うと、誰でも簡単に正確な位置へ印刷することができます。



治具使用時の利点

治具を使用することで、以下のような利点があります。

● 安定した印刷品質の維持

- メディアを正しい位置に固定できるため、印刷位置ズレを防止します。
- 適切なギャップを保ちやすく、インクミストや迷光の発生を抑制できます。（☞ [用語の説明](#)）

● 作業の効率化

- メディアのセットが容易になり、複数枚の連続印刷をスムーズに行えます。
- 作業者によるばらつきが少なく、安定した作業時間で印刷できます。

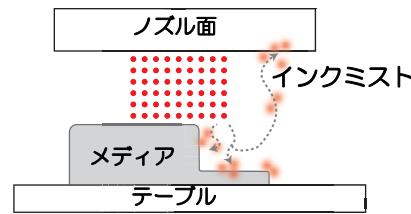
● トラブルの予防とメンテナンス負荷の低減

- ヘッド面へのインク付着や汚れの発生を抑え、ノズル詰まりを防止します。
- ノズル詰まり復旧のためのメンテナンスや清掃の頻度を低減し、機器の負担を軽減します。

用語の説明

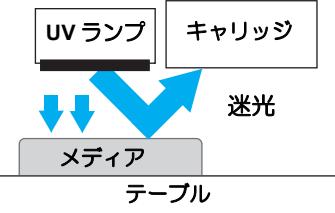
・インクミスト

印刷中にインクが霧状に広がる現象で、ヘッドとメディアの距離（ギャップ）が広がるほど、インクミストが空気中に舞いやすくなります。



・迷光

本来メディア上のインクに当たるUV光が、反射・拡散してヘッド面など余計な部分に当たってしまう現象のこと。



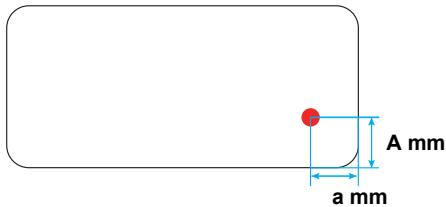
インクミストや迷光が発生すると、ノズル抜け等吐出不良の原因になります。

治具製作の流れ

1

印刷領域、治具のサイズを確認する

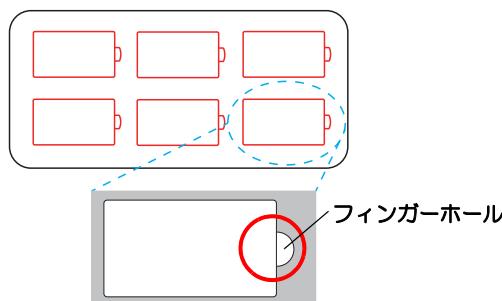
- ・製品の推奨治具サイズ (☞ P.1-22) を確認します。
- ・印刷開始位置 (作図原点) を決めます。



2

メディアの配置を決める(向き/挿入方向/余白)

- ・メディアの向き、挿入方向を決めます。
- ・メディア交換のしやすさを確認します。
- 必要に応じて、指掛け用の開口部(フィンガーホール)を設けてください。
- ・余白を決めます(端の余白、メディア間隔)。
- メディアの間隔が均等になるように配置します。



3

治具の素材を選ぶ

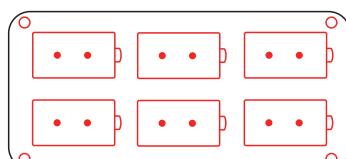
- ・反りにくい素材を使用してください。
- (アルミ、アルミ複合版、ABS樹脂など)
- ・UV光が反射しない色の素材を使用してください。
- 推奨：黒色、マット調

4

治具の設計をする(厚み/重量/吸着穴/治具の固定)

- ・治具+メディアの厚みが仕様範囲内 (☞ P.1-22) となるように設定します。
- ・治具+メディアの重量が仕様範囲内 (☞ P.1-22) か確認します。
- ・吸着穴を設けてください。
- ・テーブルタップ位置 (☞ P.1-9) を確認し、治具の固定方法を決めます。

レイアウト案
素材：アルミ複合版、
黒マット加工
厚み：10 mm
重量：推定1.5 kg

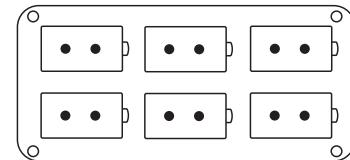


5

治具を製作する

- ・自作する場合：レイアウト案をもとに加工します。
- ・外部へ依頼する場合：レイアウト案をもとに依頼します。
- メディアの大きさ・形
- メディアの配置方法(向き、挿入方法、余白など)
- プリンタ機種名と仕様(テーブルタップ位置、許容メディア重量)
- 治具の詳細情報(素材・色・固定方法など)

レイアウト案
素材：アルミ複合版、
黒マット加工
厚み：10 mm
重量：推定1.5 kg



1

治具製作時の注意点

インクミストや迷光の発生を抑制するため、以下の点に注意して治具を製作してください。印刷品質の低下、インク硬化不良、動作不具合など、下記のような症状が発生するおそれがあります。

なお、メディアセット後の治具の重量・厚みは、使用するUVプリンタの仕様範囲内としてください。動作不具合やヘッド衝突によりマシン故障の原因となるおそれがあります。

● 作図範囲と配置

- ・プリンタの作図範囲に収まるようにレイアウトしてください。
- ・メディアの間隔を均一にしてください。

発生する症状
<ul style="list-style-type: none"> ・データの一部が欠ける ・データの配置が難しくなる ・色ムラや硬化ムラが発生する

● 治具の素材

- ・反りにくい素材を使用してください。アクリル板や木材等、反りやすい素材は使用しないでください。
- 推奨：アルミ、アルミ複合版、ABS樹脂など

発生する症状
<ul style="list-style-type: none"> ・印刷面に擦れが発生する ・印刷位置がずれる ・ヘッドと衝突する <p>[障害物センサーがある場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサー反応してテーブルが下がり、インクミストや迷光が発生する <p>[メディアジャムセンサーがある場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサーが反応し、印刷が停止する

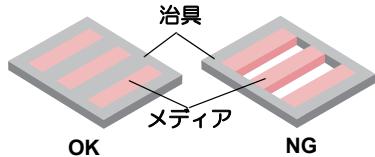
● 治具の色

- ・UV光が反射しない色を使用してください。白、銀、透明などUV光が反射しやすい色は使用しないでください。
- 推奨：黒色・マット調

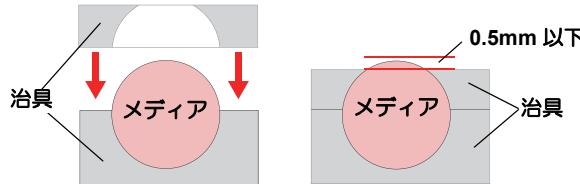
発生する症状
<ul style="list-style-type: none"> ・迷光や乱反射によりノズル面にUV光が当たり、ノズル不良が発生する

● 治具設計時

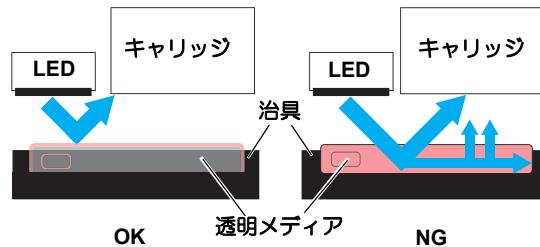
- メディアの余白は治具で埋めてください。



- メディアの凹凸が 0.5mm 以下になるように作成してください。



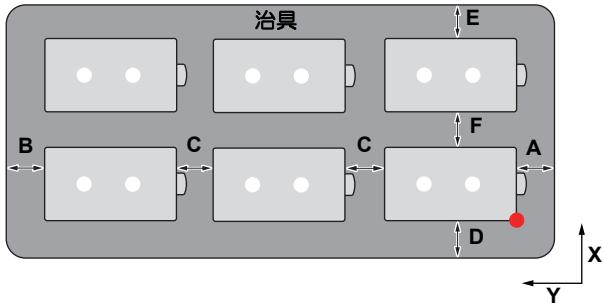
- 透明メディアに印刷する場合、治具とメディアの間に空洞（隙間）がないように製作してください。



発生する症状	
<ul style="list-style-type: none"> インクミストが発生する UV 光が透過し迷光や乱反射によりノズル面に UV 光が当たり、ノズル不良が発生する 	

推奨治具サイズ / 製品仕様 - 重量

上から見た図



推奨治具サイズ (フル幅印刷時 *1)

		JFX200series, JFX500-2131, JFX600-2513, UJF-7151Plus/PlusII/PlusIII, UJF-3042/6042MkII(e)	JFX600-2531
Y	A	60mm	50mm
	B	任意 *2	
X	C	120mm	
	D	任意 *2	

*1 下記表参照

*2 メディア間に隙間なく治具で埋めること

*1 フル幅印刷時のセット可能治具サイズ

	Y		X	
	A	B	D	E
JFX200series	40mm	40mm	120mm	120mm
JFX500-2131	7.5mm	7.5mm	47mm	47mm
UJF-7151Plus/PlusII	49mm	49mm	53mm	19mm
UJF-3042/6042MkII(e)	32mm	32mm	22mm	22mm
JFX600-2513	40mm	40mm	50mm	120mm
JFX600-2531	40mm	40mm	20mm	120mm

製品仕様 - 重量

	重量
JFX200series	50kg / m ² 以下 (集中荷重が無いこと)
JFX600	
UJF-7151Plus	10kg 以下
UJF-7151Plus(e)	30kg 以下
UJF-3042MkII(e)	5kg 以下
UJF-6042MkII(e)	8kg 以下

メニュー モードについて

本機には3つのモードがあります。各メニュー モードについて説明します。

● ローカル

ローカルは、プリント準備状態のモードです。
すべてのキーが有効です。
コンピューターから、データを受信できます。ただし、プリントは行いません。
ローカルでは以下の操作が可能です。

- (1) ジョグキーを押して、プリント原点やテーブル高さを設定します。
- (2) [FUNC2](TEST PRINT/CLEANING) キーを押して、「テストプリント」を行います。
- (3) [FUNC2](TEST PRINT /CLEANING) キーを押して「ヘッドクリーニング」を行います。
- (4) [FUNC1](MENU) キーを押して、各種機能を設定します。 (→メニュー モード)

● メニュー モード

ローカル時に、[FUNC1](MENU) キーを押すとメニュー モードになります。
各種設定やメンテナンス動作などを行います。

● リモート

受信したデータをプリントします。
プリント中に [FUNC3](REMOTE) キーを押すと、ローカルに戻りプリントが一時停止します。
ローカル時は、[FUNC3](REMOTE) を押すとリモートになります。

第2章

基本的な使い方



この章では ...

プリントするためのインク／メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

作業の流れ	2-2	テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う	2-8
電源を入れる／切る	2-3	データをプリントする	2-8
電源を入れる	2-3	プリントを開始する	2-8
電源を切る	2-3	プリントを中止する	2-9
メディアをセットする	2-4	プリントデータ受信中または受信済みの確認	2-9
別の方法でメディアをセットする	2-6	“!ワーク 高い”を表示したら	2-9
テストプリントをする	2-6	プリント中にカバーを開けてしまった場合	2-9
ホワイト確認用のテストパターンでテストプリントを行う	2-7		
ヘッドクリーニング	2-8		
ヘッドクリーニングについて	2-8		

作業の流れ

1 電源を入れる

「電源を入れる」(☞ P.2-3)を参照してください。

2 メディアをセットする

「メディアをセットする」(☞ P.2-4)を参照してください。

3 テストプリントをする

「テストプリントをする」(☞ P.2-6)を参照してください。

4 ヘッドクリーニング

「ヘッドクリーニング」(☞ P.2-8)を参照してください。

5 データをプリントする

「データをプリントする」(☞ P.2-8)を参照してください。

6 電源を切る

「電源を切る」(☞ P.2-3)を参照してください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

本機には、2つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ：

本機の側面にあります。常時オンにしておいてください。

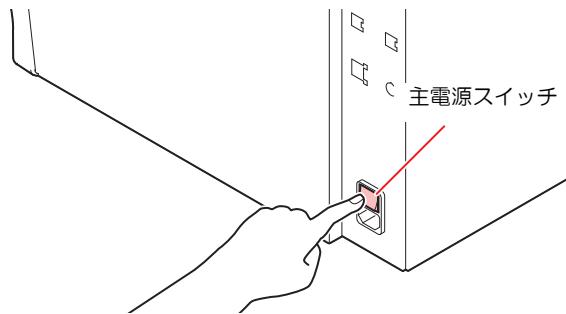
[END/POWER] キー：

通常、電源のオン / オフをするときはこのキーを使用します。

[END/POWER] キーがオフでも、主電源スイッチがオンになっていれば、定期的に電源が自動的に入り、インクの沈降を防止する機能が動作します。

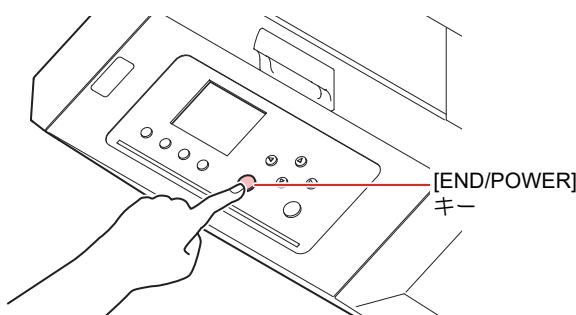
1 主電源スイッチを入れる

- 装置側面にある主電源スイッチを「！」側に倒します。



- 電源をオンになるとファームウェアのバージョンを表示し、初期動作を実行します。

2 [END/POWER] キーを押して、電源を入れる



3 接続しているコンピューターの電源をオンにする

- 重要!**
- 正面カバー / メンテナンスカバーを閉じてから電源を入れてください。
 - 主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

注意

UJF-3042MkII e / UJF-6042MkII e の場合、電源起動時やスリープ起動時に吸着ファンが一瞬動作します。これは故障ではありません。

電源を切る

プリンターの使用が終了したら、[END/POWER] キーを押して電源をオフにします。

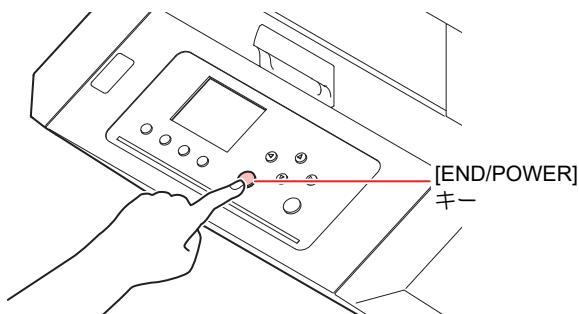
電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピューターからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。
(☞ P.5-8 エラーメッセージ)

1 接続してあるコンピューターの電源をオフにする

2 [END/POWER] キーを長押しして、電源を切る

- 装置側面にある主電源スイッチは、切らないでください。
- 次に、本機をご使用になるときは、[END/POWER] キーを押してからお使いください。



電源を切るときのご注意

● 主電源スイッチは切らないでください。

主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りインクの沈降を防止する機能が働きます。

主電源スイッチを切っていると、インクの沈降を防止する機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。

● 正面カバー / メンテナンスカバーは閉めた状態にしてください。

カバーが開いていると、インクの沈降を防止する機能が働かなくなります。

● ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。

このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

● プリント中は電源を切らないでください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。

● [END/POWER] キーで電源を切ってから、主電源スイッチを切ってください。

装置の移動や装置のエラー対処などで主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある [END/POWER] キーを長押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

メディアをセットする

重要! メディア外周部は、熱により反り返ることがあります。補助的に粘着テープなどを使って固定してください。

1 メディア厚みを設定する

- (1) ローカルで [FUNC1](MENU) ➔ [▼] (1回) ➔ [ENTER] を押す
- (2) “メディア厚み” を選び、[ENTER] キーを押す
- (3) [▲][▼] でメディアの厚みを設定し、[ENTER] キーを押す



- ・治具を使用する場合、治具の高さ + メディア厚みを入力します。
- ・集中荷重となるようなメディアの置き方は避けてください。

テーブルの高さを設定する

テーブルの高さを変更すると、メディア厚みも変更されます。

1 ローカルで、[FUNC1] (MENU) ➔ [▼] ➔ [ENTER] キーを押す

- ・ヘッド高さメニューが表示されます。

2 [▲][▼] を押して“テーブル高さ” を選び、[ENTER] キーを押す

3 [▲][▼] を押してテーブルの高さを設定し、[ENTER] キーを押す

設定値 : 0.0 ~ 153.0mm

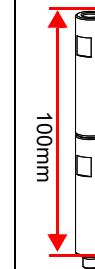
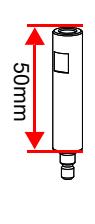


- ・テーブルスペーサーの数によって入力できる値が異なります。

4 終了するとき、[END/POWER] キーを数回押す

テーブルの高さを変更する

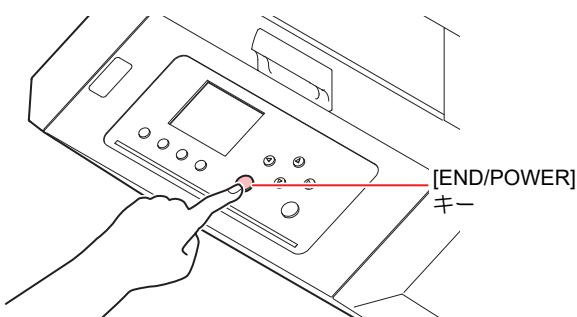
メディアの厚みに合わせて、テーブルの高さを変更してください。

ワーク高さ	53mm 以下	53 ~ 103mm	103 ~ 153mm
テーブルスペーサー	2 本 (100mm) 	1 本 (50mm) 	なし (0mm)

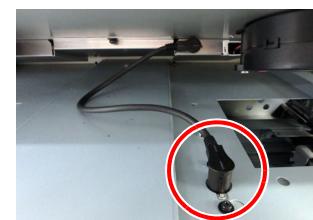
テーブルの高さは、テーブルを支えているテーブルスペーサーを交換することによって変更できます。

お買い上げ時、テーブルスペーサーは装着されておらず、「0mm」になっています。ここでは、テーブル高さを「50mm」に変更する方法を説明します。

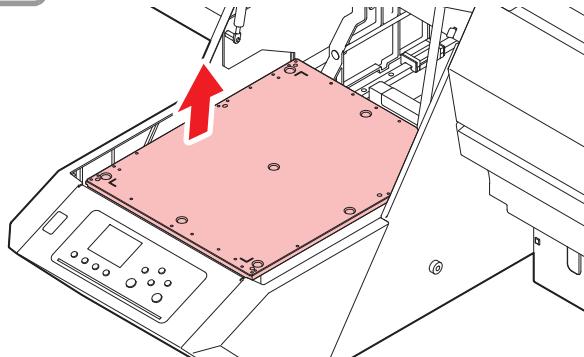
1 [END/POWER] キーを長押しして、電源を切る



2 テーブル下にある吸着ファン用コネクターを抜く (UJF-6042MkII または吸着テーブル使用時)

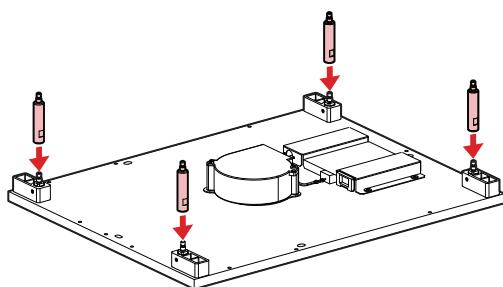


3 テーブルを上に持ち上げて取り外す



4

テーブルスペーサーを取り付ける



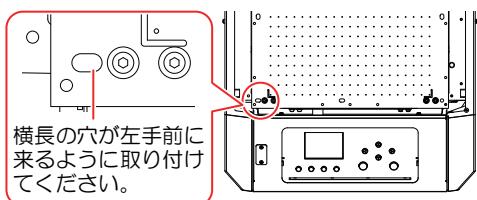
5

組み付けたテーブルを本体に取り付ける

- (1) テーブルを元の場所に取り付ける
- (2) 吸着ファン用コネクターを差し込む(UJF-6042MkII/UJF-6042MkII e または吸着テーブル使用時)
- (3) 電源を入れる

重要!

- ・テーブルを取り付ける際、向きが逆にならないように注意してください。



6

ローカルで、(FUNC1) (MENU) を押す

7

△ ▽ を押して “ヘッド高さ” を選び、
ENTER キーを押す

8

△ ▽ を押して “テーブルスペーサー” を
選び、ENTER キーを押す

9

△ ▽ を押して設定値を選び、
ENTER キーを押す

- ・設定値：0mm / 50mm / 100mm

10

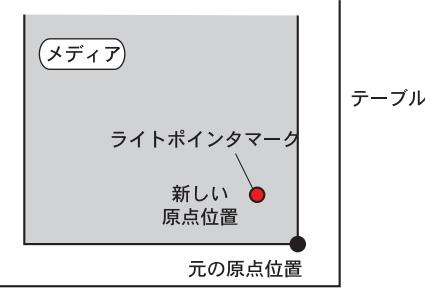
終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

原点を変更する

ジョグキー [▲][▼][◀][▶] を使って、お買い上げ時に設定されている原点の位置を変更することができます。



- ・原点は「原点設定メニュー」から変更することもできます。(P.3-5)

ジョグキー [▲][▼][◀][▶]
で変更する

ジョグキーによる原点位置

1

ローカルで、▲ ▼ ◀ ▶ を押す

- ・原点設定モードになります。
- ・テーブル、またはメディア上に赤いライトポインター「●」マークが映ります。

2

△ ▽ ◀ ▶ を押して、ライトポインターマークを移動させる



- ・新しく原点を設定する位置に、ライトポインターマークを移動します。

3

プリント原点を決定したら、ENTER キーを押す

- ・原点が変更されます。

重要!

- ・原点と同時にテーブルの高さも確定されますので、あらかじめ [FUNC1] キー(下降)、[FUNC3] キー(上昇)を押してテーブルの高さを調整してください。
- ・ジョグキーで設定した原点は、電源を切ると設定値がクリアされます。
- ・テーブルの高さは、電源を切ってもクリアされません。

2

別の方法でメディアをセットする

メディアをセットしやすいように、テーブルを下げることができます。

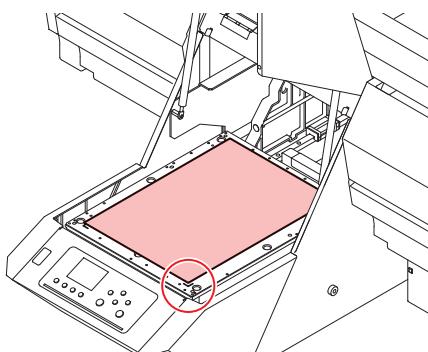
1

ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** → **[ENTER]** キーを押す

- ・“ワークセット”が表示されます。
- ・テーブルが下がります。

2

メディアを、テーブル右端の L 字のマーク(プリント原点)に合わせてセットする



- ・プリント原点を変更する場合は、以下のページを参照してください。
(☞ P.2-5 「原点を変更する」)
- ・治具を使用する場合は、テーブル端にあるタップ(深さ 8.0mm)を使用してください。

3

[ENTER] キーを押す

- ・テーブルがプリント時の高さまで上がります。

吸着ファンの切り替えについて

プリント時にメディアを固定するための吸着機能が自動的に起動します。(UJF-6042 MkII/UJF-6042MkII e または吸着テーブル使用時)



- ・吸着機能の動作を設定することができます。詳しくは、P.3-12 「ファンモードの設定」を参照してください。
- ・設定モードの「ファンモード」で設定を“マニュアル”にしている場合、[SEL] キーを押し、[FUNC1](VACCUM) キーを押して、吸着ファンの ON/OFF を切り替えてください。

テストプリントをする

指定方向にテストプリントを行い、ノズル詰まりなどのプリント不良(カスレや抜け)が無いか確認します。



- ・白インクやクリアインクを使用している場合、透明フィルムにプリントして確認してください。

テストプリントの前に確認してください

・メディアをセットしているか☞ P.2-4

・原点位置をセットしているか☞ P.2-5

・テーブル高さは適正か☞ P.2-4

1

ローカルで、**[FUNC2] (TEST PRINT/CLEANING)** を押し、**[ENTER]** キーを押す

- ・テストプリントメニューが表示されます。

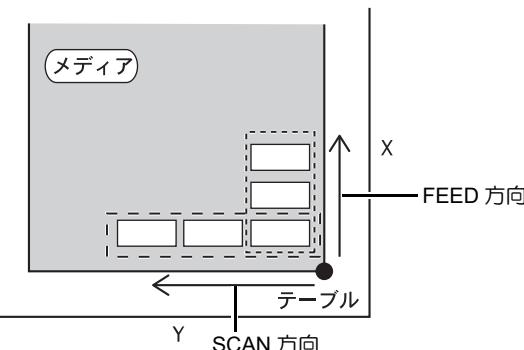
2

[▲][▼] を押してプリント方向を選択し、**[ENTER]** キーを押す

- ・ノズルリカバリーが設定されていない場合、指定方向にテストプリントを開始します。
- ・SCAN 方向：メディアのスキャン(横)方向に配置
FEED 方向：メディアのフィード(奥行き)方向に配置



- ・ノズルリカバリーが設定されている場合 **[▲][▼]** を押して ON/OFF を設定した後、**[ENTER]** キーを押します。
ON: ノズルリカバリー "ON" でプリントします
OFF: ノズルリカバリー "OFF" でプリントします

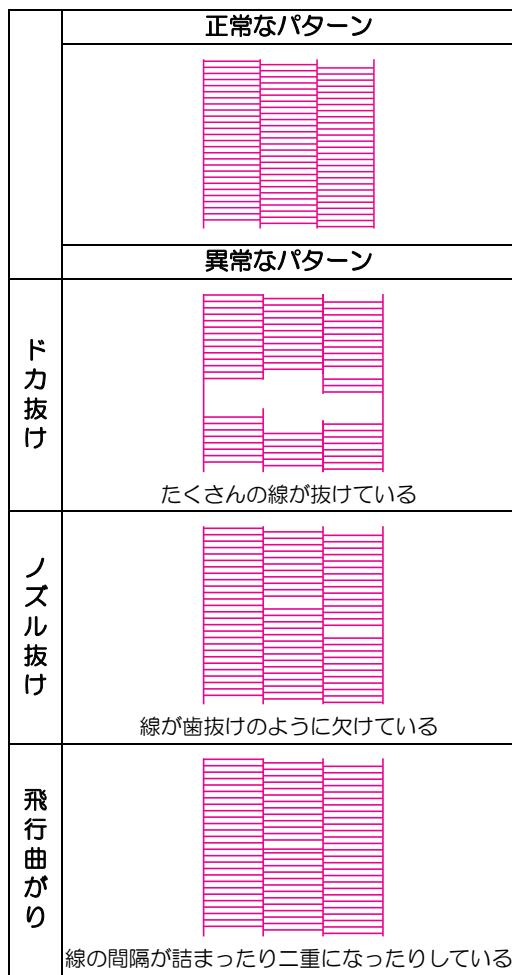


- ・ヘッドの温度が一定温度になっていない場合は、メッセージが表示されます。この場合は、プリントできません。表示が消えると、プリントができます。

3

プリント結果を確認する

- ・正常な場合は、データをプリントしてください。
(☞ P.2-8)
- ・異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。
(☞ P.2-8)

ホワイト確認用のテストパターンでテ
ストプリントを行う

パターン中のホワイトインク箇所に、下地をプリントすることで、確認しやすくします。

1

ローカルで、**(FUNC2)** (TEST PRINT/CLEANING) を押し、**(ENTER)** キーを押す

- ・テストプリントメニューが表示されます。

2

▲ **▼** を押して、“特色確認”を選ぶ

3

(ENTER) キーを押す

- ・次の順番で、テストパターンをプリントします。

- (1) 黒塗りつぶしパターンをプリントする
- (2) メディアを自動的に戻し、テストパターンをプリント

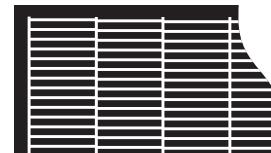
4

プリント結果を確認する

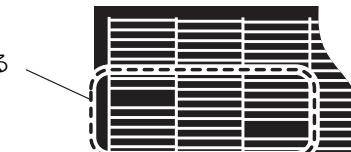
- ・正常な場合は、操作を終了します。

- ・異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。
(☞ P.2-8)

正常なパターン



異常なパターン



ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合わせたクリーニングを行います。次の4種類から選んでください。

- ノーマル：線の抜けがあるとき
- ソフト：ヘッドワイプのみ実行したいとき（飛行曲がありがある場合）
- ハード：ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しないとき
- ウルトラ：ハードクリーニングを実行しても画質不良が改善しないとき、または色味が改善しないとき

テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、4種類あります。パターンプリントの結果によって使い分けてください。

- 1 ローカルで、**[FUNC2] (TEST PRINT/CLEANING)** **[▼]** **[ENTER]** キーを押す
 - ・クリーニングメニューが表示されます。

- 2 **[▲] [▼]** を押して、クリーニングタイプを選択する

- 3 **[ENTER]** キーを押す

- 4 **[▲] [▼]** を押してクリーニングするヘッドを選択し、**[FUNC2] (▼)** を押す

- ・ヘッド選択後に **[FUNC2]** キーを押して、チェックボックスにチェックを入れてください。チェックが入っているヘッドのみクリーニングを行います。
- ・ヘッド 1, 2 を両方ともクリーニングしたい場合は、両方のチェックボックスにチェックを入れてください。

- 5 **[ENTER]** キーを押す

- 6 再度テストプリントを実行し、プリント結果を確認する

- ・プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。

- ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合**
- ・ワイパーとインクキャップのクリーニングをする（[P.4-6](#)）
 - ・ヘッドノズルの洗浄をする（[P.4-13](#)）
 - ・ノズルリカバリーパーを行なう（[P.4-16](#)）

データをプリントする

プリントを開始する



- ・ヘッドの温度が一定温度になっていない場合は、メッセージが表示されます。この場合は、プリントできません。表示が消えると、プリントができます。



- ・エラー表示がされていても、データは送信できます。プリントは表示が消えてから開始します。

1 メディアをセットする（[P.2-4](#)）

- ・ファンモードの設定（[P.3-12](#)）を「マニュアル」に設定している場合、用途に応じて [SEL] を押して [FUNC1](VACUUM) キーを押し、メディアを吸着させます。

2 ローカルで、**[FUNC3] (REMOTE)** を押す

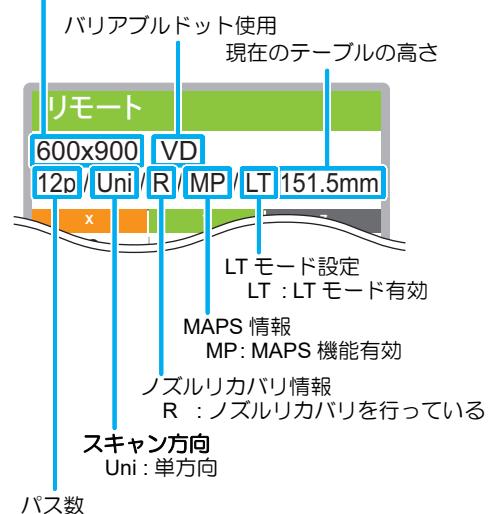
- ・リモートモードになり、コンピューターからのデータを受信できるようになります。
- ・テーブルの高さ（吸着テーブルとテーブルスペーサーを含む）が表示されます。

3 コンピューターからプリントするデータを送信する

- ・プリント条件が表示されます。
- ・データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

解像度

600 / 900 / 1200 DPI



- ・LT モードは、より柔軟性を必要とする場合にご使用ください。
- ・LT モードを有効にした場合、UV 光量が調整されます。事前にプリント状態を確認してください。

4 プリント開始

- ・プリント原点は、プリントが終了しても変更されません。

5

プリント終了後、メディアを取り外す

- (1) 吸着を "ON" している場合、[FUNC1] (VACUUM) を押して、吸着を "OFF" にする (UJF-6042 MkIII/UJF-6042MkII e または吸着テーブル使用時)



- 吸着テーブルの吸着機能を使用してプリントした場合、プリントが終了したら吸着を "OFF" してください。

- (2) メディアを取り除く

重要!

- プリント中に LED UV による熱で、メディアが浮き上がり、プリントが中断される場合があります。新しいメディアをセットしなおし、プリントを開始してください。

プリントを中止する

プリントを途中で中止する場合、プリント動作を止め、すでに受信したデータを本機から消去します。

1

プリント中に、[FUNC3] (LOCAL) を押す

- プリント動作を中止します。
- コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を止めます。



- [FUNC3] (REMOTE) キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

2

[SEL] キーを1回押す

- ディスプレイ下段に "DATA CLEAR" が表示されます。

3

[FUNC3] (DATA CLEAR) を押す

4

[ENTER] キーを押す

- 受信データを消去し、ローカルモードに戻ります。テーブルは、退避位置へ移動します。

プリントデータ受信中または受信済みの確認

プリントを中断した場合や、ローカル状態でプリントデータを受信した場合、ディスプレイにはワーニングメッセージ "! プリントデータあり" が表示されます。このとき [FUNC3] (REMOTE) を押してリモートに移行すると、プリントを再開または開始します。

"! ワーク 高い" を表示したら

プリント中、ディスプレイにワーニングメッセージ "! ワーク高い" を表示してプリントが中断した場合は、次のようにしてプリントを再開してください。

重要!

- プリント中は、常にセンサーでメディアの高さを監視しています。
- ギャップチェック機能 (P.3-3) の設定 / モードがそれぞれ "ON" / "停止" の場合
→センサーがメディアを検出すると、自動的にプリントを中断し、ディスプレイに "!" ワーク高い" が表示されます。

1

[ENTER] キーを押す

- ローカルに戻ります。

2

ヘッド高さを再設定する (P.3-2)

3

メディアのセット状態を確認し、[FUNC3] (REMOTE) を押す



- メディア上面がヘッド下部より低い位置にあることを確認してください。
- メディア外周部が熱により反り返ることがあり、反り返ったメディアがセンサーを遮光する可能性があります。補助的に粘着テープなどを使ってメディアを固定してください。
- プリントを再開します。
- プリントを再開しない場合は、P.2-9「プリントを中止する」を参照してプリントを中止してください。

2

プリント中にカバーを開けてしまった場合

プリント中にカバーを開けると、ディスプレイにワーニングメッセージ "カバーを開じてください" が表示されます。

1

カバーを開じて[ENTER] キーを押し、印刷を中断させる

- 初期化動作を開始します。
- プリントを行っていないときにカバーを開けるとディスプレイに "カバーを開じてください" が表示されます。この場合は、[ENTER] キーを押してください。

第3章 セットアップ



この章では ...

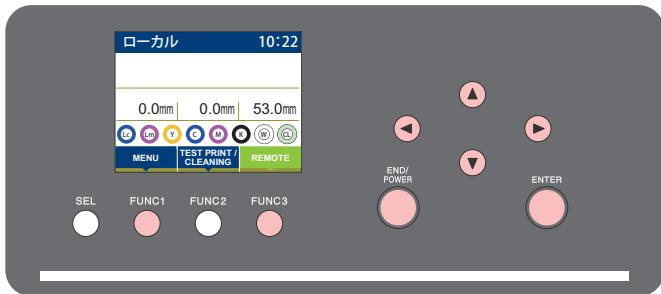
本機の各種設定方法について説明しています。

8 ヘッドの高さメニューについて	3-2	吸引ワイヤーの設定	3-15
ヘッド高さメニュー一覧表	3-2	スキャン速度の設定	3-15
メディアの厚みを設定する	3-3	マシン設定メニューについて	3-16
ヘッドギャップを設定する	3-3	マシン設定メニュー一覧表	3-17
ギャップチェック	3-3	オートパワーオフの設定	3-18
テーブルスペーサー	3-4	時刻の設定	3-18
原点設定メニューについて	3-5	単位(長さ)の設定	3-19
原点設定メニュー一覧表	3-5	キーブザーの設定	3-19
X オフセット (REM) の設定	3-6	ネットワークの設定	3-19
Y オフセット (REM) の設定	3-6	イベントメール機能の設定	3-20
X オフセット (LOC) の設定	3-6	リモートコントロールの設定	3-24
Y オフセット (LOC) の設定	3-6	言語の設定	3-24
Z 原点の設定	3-7	イオナイザーの設定(オプション)	3-24
ジョグキーを使って原点を変更する場合	3-7	接続オプションの認識を行う	3-25
設定メニューについて	3-8	受入/回収位置の設定(MDL コマンド)	3-25
設定メニュー一覧表	3-9	設定した内容を初期状態に戻す	3-25
フィード補正の設定	3-10	ヘッド温度スタンバイ時間の設定	3-26
ロジカルシーカーの設定	3-10	ノズルチェックメニューについて	3-27
重ね塗りの設定	3-11	ノズルチェックメニュー一覧表	3-27
リフレッシュレベルの設定	3-11	印刷中ノズルチェックの流れ	3-28
UV モードの設定	3-11	「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の プリント動作	3-28
UV 光量調整の設定	3-12	印刷中ノズルチェックの設定	3-29
ワークチェンジの設定	3-12	自動ノズルリカバリーの設定	3-29
ファンモードの設定	3-12	判定条件の設定	3-29
オートクリーニングの設定	3-12	情報メニューについて	3-30
作図前フラッシングレベルの設定	3-13	情報メニュー一覧表	3-30
MAPS4 の設定	3-13	情報を表示させる	3-31
版ずれ調整の設定	3-14		
LT モードの設定	3-15		

8 ヘッドの高さメニューについて

ヘッド高さメニューについて

設定メニューでは、普段使用するメディアに合わせてプリント条件を設定することができます。



- 〔FUNC1〕 : ヘッド高さメニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替えるときに押す
- 〔FUNC3〕 : 次の画面に切り替えるときに押す
- 〔△○〕 : 設定項目を選択するときに押す
- 〔ENTER〕 : 設定を確定するときに押す

◆ 設定メニュー一覧



ヘッド高さメニュー一覧表

機能名称	設定値	初期値	概要
メディア厚み (P.3-3)	0.0 ~ 53.0mm	0.0mm	メディアの厚みを設定します。
ヘッドギャップ (P.3-3)	1.5 ~ 4.0mm	1.5mm	ヘッドギャップを設定します。
テーブル高さ (P.2-4)	0.0 ~ 53.0mm	53.0mm	テーブルの高さを設定します。
ギャップチェック (P.3-3)	ON/ OFF	ON	プリント中に障害物を検出したときの動作を指定します。
テーブルスペーサー (P.3-4)	0, 50, 100mm	100mm	使用しているテーブルスペーサーの長さを設定します。

メディアの厚みを設定する

メディアの厚みを変更すると、テーブル高さも変更されます。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) ➔ ➔ ➔**
ENTERキーを押す

- ヘッド高さメニューが表示されます。

2 **▲ ▼**を押して“メディア厚み”を選び、
ENTERキーを押す

3 **▲ ▼**を押してメディアの厚みを設定し、
ENTERキーを押す

設定値：0.0 ~ 53mm

4 終了するとき、**(END/POWER)**キーを数回押す

ヘッドギャップを設定する

ヘッドギャップを変更すると、テーブル高さも変更されます。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) ➔ ➔ ➔**
ENTERキーを押す

- ヘッド高さメニューが表示されます。

2 **▲ ▼**を押して“ヘッドギャップ”を選び、
ENTERキーを押す

3 **▲ ▼**を押してヘッドギャップを設定し、
ENTERキーを押す

設定値：1.5 ~ 4.0mm

4 終了するとき、**(END/POWER)**キーを数回押す

ギャップチェック

プリント中に障害物を検出したときの動作を指定します。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) ➔ ➔ ➔**
ENTERキーを押す

- ヘッド高さメニューが表示されます。

2 **▲ ▼**を押して“ギャップチェック”を選び、
ENTERキーを押す

3

▲ ▼を押してモードを設定し、
ENTERキーを押す

- 設定値：ON, OFF

- “ON”の場合

動作の選択が可能です。

次の3種類から選んでください。

オート：プリント前、指定したテーブル高さ（メディア厚み）でワーク高さをチェックします。また、プリント前およびプリント中にワークセンサーが反応したら、反応しなくなるまでテーブルを下げて、テーブル高さの設定を変更します。

ただし、テーブルを一番下まで下げてもワークセンサーが反応しているときは[ワーク高い]を表示して停止します。

マニュアル：手動でワークの高さを設定できます。（ギャップ設定）

プリント前およびプリント中のワーク高さチェックは行いません。



- ワークとヘッドが衝突する可能性があるので、プリントの前に目視でワーク高さを確認してください。

停止：

プリント前、指定したテーブル高さ（メディア厚み）でワーク高さをチェックし、ワークセンサーが反応したら[ワーク高い]を表示して停止します。

- “OFF”的場合

ワーク高さのチェックを行わずにプリントします。



- ワークとヘッドが衝突する可能性があるので、プリントの前に目視でワーク高さを確認してください。

モード	障害物センサー		センサー反応時の動作
	プリント前	プリント中	
ON	オート	有効	有効
	マニュアル	無効	無効
	停止	有効	有効
OFF	無効	無効	なし

4

終了するとき、**(END/POWER)**キーを数回押す

重要！

- ギャップチェック機能は、障害物を検出してヘッドとの衝突を完全に防ぐ機能ではありません。

また、ワークの形状・材質により検出精度が悪化する可能性もあります。

ギャップチェックが“ON”的場合でも、目視でワーク高さを確認してからプリントを行ってください。

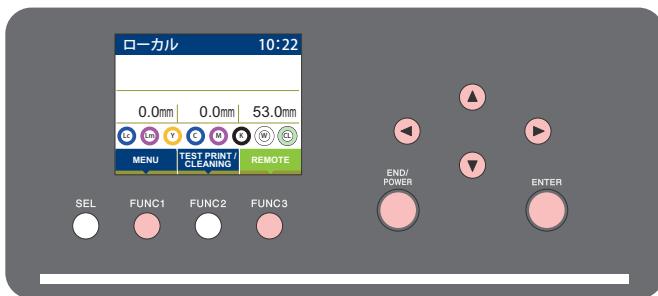
テーブルスペーサー

使用しているテーブルスペーサーの長さを設定します。

- 1** ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** ➔ ➔ ➔
キーを押す
• ヘッド高さメニューが表示されます。
- 2** ➔ ➔ を押して "テーブルスペーサー" を選
び、**ENTER** キーを押す
- 3** ➔ ➔ を押して "テーブルスペーサー" を設定
し、**ENTER** キーを押す
• 設定値 : 0 mm, 50 mm, 100 mm
- 4** 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

原点設定メニューについて

本機を快適に使用するための各種設定です。
原点設定で設定できる内容は、次の項目です。



- [FUNC1]** : 原点設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替えるときに押す
- [FUNC3]** : 次の画面に切り替えるときに押す
- [△]** : 設定項目を選択するときに押す
- [ENTER]** : 設定を確定するときに押す

◆設定メニュー一覧



原点設定メニュー一覧表

機能名称	設定値	初期値	概要
X オフセット (REM)(P.3-6)	0.0mm~420.0mm	0.0mm	オンラインプリントの X 軸原点位置 (オフセット値) を設定します。
Y オフセット (REM)(P.3-6)	0.0mm~300.0mm (3042MkII,3042MkII e) 0.0mm~610.0mm (6042MkII,6042MkII e)	0.0mm	オンラインプリントの Y 軸原点位置 (オフセット値) を設定します。
X オフセット (LOC)(P.3-6)	0.0mm~420.0mm	0.0mm	テストプリントなど内蔵パターンの X 軸原点位置 (オフセット値) を設定します。
Y オフセット (LOC)(P.3-6)	0.0mm~300.0mm (3042MkII,3042MkII e) 0.0mm~610.0mm (6042MkII,6042MkII e)	0.0mm	テストプリントなど内蔵パターンの Y 軸原点位置 (オフセット値) を設定します。
Z 原点 (P.3-7)	0.0mm~53.0mm	0.0mm	Z 原点 (テーブル高さ) を設定します。

X オフセット (REM) の設定

オンラインプリントの X 原点を正確に設定する場合、この設定を行います。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す
- 2 **▲** **▼** を押して “原点設定” を選び、**ENTER** キーを押す
- 3 **▲** **▼** を押して “X オフセット (REM)” を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して X 軸の原点位置を設定し、**ENTER** キーを押す
 - 1 行目の数値は、原点から最大有効範囲までの距離を表します。
- 5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

Y オフセット (REM) の設定

オンラインプリントの Y 原点を正確に設定する場合、この設定を行います。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す
- 2 **▲** **▼** を押して “原点設定” を選び、**ENTER** キーを押す
- 3 **▲** **▼** を押して “Y オフセット (REM)” を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して Y 軸の原点位置を設定し、**ENTER** キーを押す
 - 1 行目の数値は、原点から最大有効範囲までの距離を表します。
- 5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

X オフセット (LOC) の設定

テストプリントなど内蔵パターンの X 原点を正確に設定する場合、この設定を行います。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す
- 2 **▲** **▼** を押して “原点設定” を選び、**ENTER** キーを押す
- 3 **▲** **▼** を押して “X オフセット (LOC)” を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して X 軸の原点位置を設定し、**ENTER** キーを押す
 - 1 行目の数値は、原点から最大有効範囲までの距離を表します。
- 5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

Y オフセット (LOC) の設定

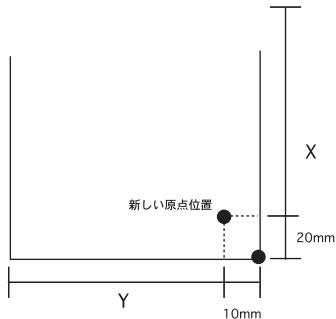
テストプリントなど内蔵パターンの Y 原点を正確に設定する場合、この設定を行います。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す
- 2 **▲** **▼** を押して “原点設定” を選び、**ENTER** キーを押す
- 3 **▲** **▼** を押して “Y オフセット (LOC)” を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して Y 軸の原点位置を設定し、**ENTER** キーを押す
 - 1 行目の数値は、原点から最大有効範囲までの距離を表します。
- 5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

Z原点の設定

- 1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** を押す
- 2 **[▲▼]**を押して“原点設定”を選び、**[ENTER]**キーを押す
- 3 **[▲▼]**を押して“Z原点”を選び、**[ENTER]**キーを押す
- 4 **[▲▼]**を押してZ原点位置を設定し、**[ENTER]**キーを押す
- 5 終了するとき、**[END/POWER]**キーを数回押す

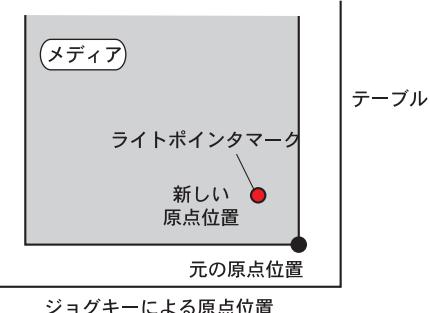
ファンクションメニューの
“原点設定”で変更する



ジョグキーを使って原点を変更する場合

原点の変更方法には、ジョグキーを使って変更する方法もあります。

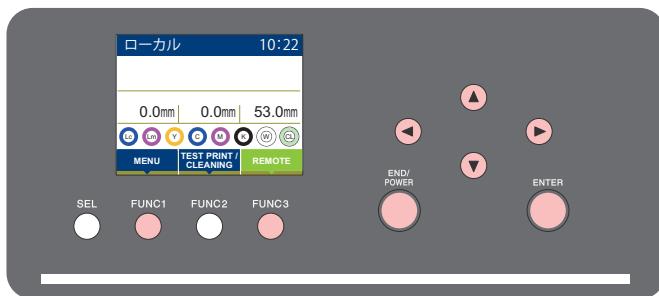
ジョグキー $\triangle\circlearrowleft\circlearrowright\circlearrowup\circlearrowdown$
で変更する



- 1 ローカルで、**[▲▼◀▶]**を押す
 - 原点設定モードになります。
 - テーブル、またはメディア上に赤いライトポインター「●」マークが映ります。
 - 2 **[▲▼◀▶]**を押して、ライトポインターマークを移動させる
 - 新しく原点を設定する位置に、ライトポインターマークを移動します。
 - 3 **[ENTER]**キーを押して、プリント原点を設定する
 - 原点が変更されます。
- (重要!)**
- 原点と一緒にテーブルの高さも確定されますので、あらかじめ [TABLE-UP][TABLE-DOWN] を押してテーブルの高さを調整しておいてください。
 - ジョグキーで設定した原点は、電源を切ると設定値がクリアされます。
 - テーブルの高さは、電源を切っても保持されます。

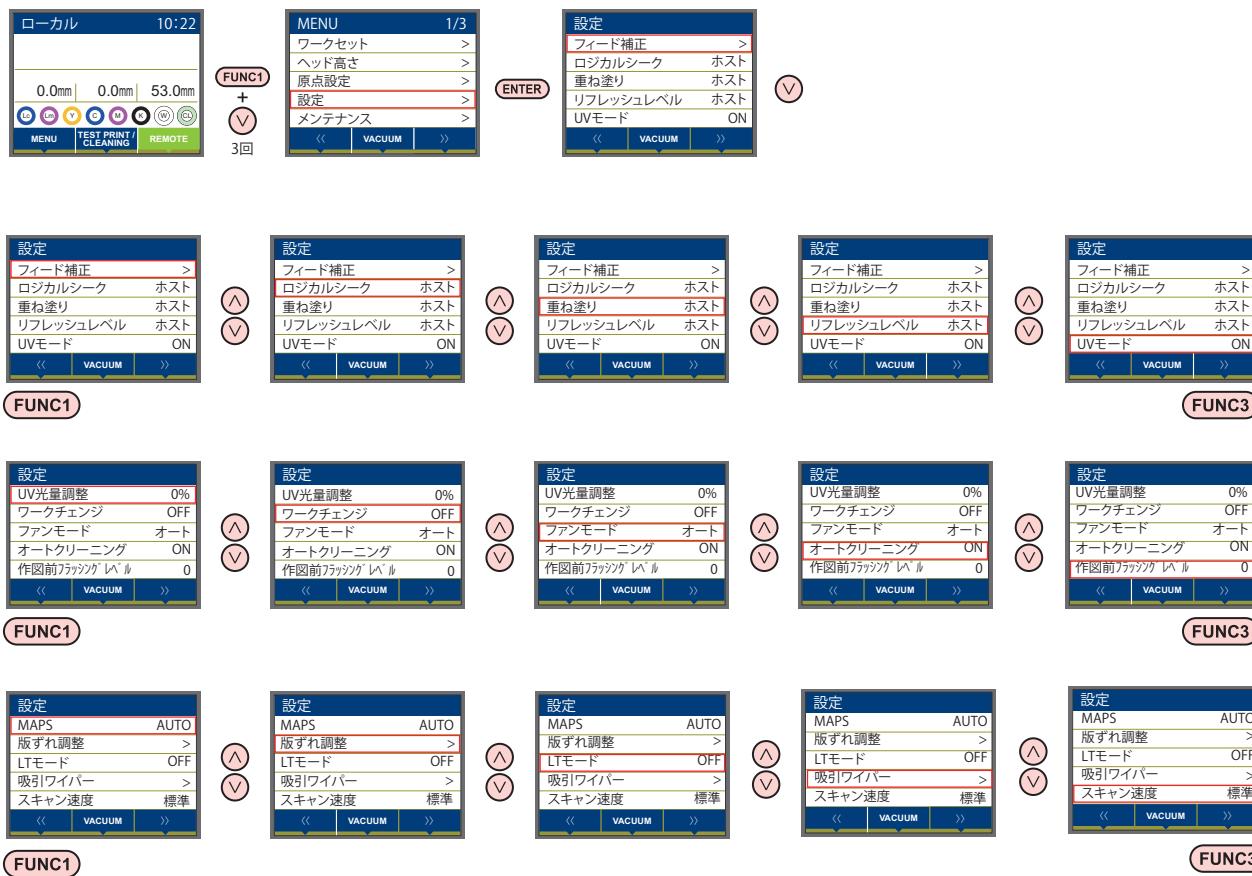
設定メニューについて

設定メニューでは、普段使用するメディアに合わせてプリント条件を設定することができます。



- 〔FUNC1〕 : 設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替えるときに押す
- 〔FUNC3〕 : 次の画面に切り替えるときに押す
- 〔△○〕 : 設定項目を選択するときに押す
- 〔ENTER〕 : 設定を確定するときに押す

◆ 設定メニュー一覧



設定メニュー一覧表

〔重要!〕

- 次の各設定項目については、接続しているホストPCでお使いのRIPソフトウェアからプリント時に指定した設定値に従って動作するように設定できます。
- 設定項目**：フィード補正 / 重ね塗り / ロジカルシーク / リフレッシュ
- 各項目を“ホスト”に設定すれば、RIPの設定内容に従って動作します。本機での設定を優先させたいときは、“ホスト”以外に設定してください。
- RIPソフトウェアでの指定方法については、RIPソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

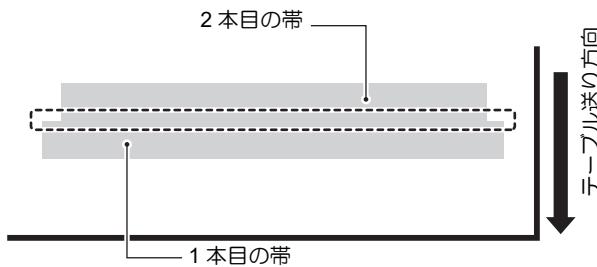
機能名称	設定値	初期値	概要
フィード補正 (☞ P.3-10)	-9999 ~ 0 ~ 9999	0	メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。
ロジカルシーク (☞ P.3-10)	ホスト / ON / OFF	ホスト	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。
重ね塗り (☞ P.3-11)	ホスト / 1 ~ 9	ホスト	インクの重ね塗りをするときの回数を設定します。
リフレッシュレベル (☞ P.3-11)	ホスト / 10 ~ 3	ホスト	プリント中に行うリフレッシュの間隔を設定します。
UVモード (☞ P.3-11)	ON / OFF / 印刷無し	ON	プリント中のUV照射の指定をします。
UV光量調整 (☞ P.3-12)	-50% ~ 0 ~ 50%	0%	あらかじめ設定されているUVランプの光量を変更することができます。 (FW: UJF-MkII Ver5.2以降、UJF-MkIIe Ver2.0以降より対応)
ワークチェンジ (☞ P.3-12)	ON / OFF	OFF	オンライン作図を終了したとき、ローカルに戻るカリモートのまとめるかを設定します。
ファンモード (☞ P.3-12)	オート / マニュアル	オート	バキューム(吸着)機能を設定します。
オートクリーニング (☞ P.3-12)	ON / OFF	ON	プリント開始前に自動的にヘッドのクリーニングを実行するかを設定します。
作図前フラッシングレベル (☞ P.3-13)	レベル 0 ~ 3	0	プリント前のフラッシングの量を設定します。
MAPS4 (☞ P.3-13)	MANUAL, AUTO	AUTO	バス間の縞を軽減する設定をします。
版ずれ調整 (☞ P.3-14)	スキャン方向	-8 ~ 0 ~ 8	カラー・特色版をプリントしたときの版ずれを補正します。
	フィード方向		
	リバース印刷		
LTモード (☞ P.3-15)	ON / OFF	OFF	デフォルトのUVモードの印刷物より柔軟性を必要とする場合に設定します。
吸引ワイヤー (☞ P.3-15)	作図後吸引 ワイピング	ヘッド選択	6042MkII, 6042MkII e : HEAD1 ~ 3 3042MkII, 3042MkII e : HEAD1 ~ 2
		実行間隔	ファイル / ワークチェンジ (ファイル : 1 ~ 5)
スキャン速度 (☞ P.3-15)	標準 / 低速	標準	プリント中のスキャン速度を設定します。

フィード補正の設定

補正パターンをプリントして、フィード送り量の補正を行います。



- 補正パターンでは2本の帯をプリントします。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



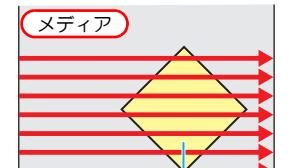
- 1 メディアをセットする (P.2-4)
- 2 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** キーを押す
- 3 **▲** **▼**を押して“設定”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 4 **▲** **▼**を押して“フィード補正”を選び、**ENTER**キーを押す
- 5 **ENTER**キーを押して、補正パターンをプリントする
- 6 補正パターンを確認し、補正值を入力する
 - ・補正值の入力画面が表示されます。
 - ・“+”に入力すると：
2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
 - ・“-”に入力すると：
2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
 - ・補正值を“1”変更するごとに、約 0.83μm 帯が移動します。
- 7 **ENTER**キーを押す
 - ・再度、補正パターンをプリントして確認します。
 - ・補正の必要がある場合は、手順 5 の操作をして補正してください。
- 8 終了するとき、**(END/POWER)**キーを数回押す

ロジカルシークの設定

ロジカルシークの設定により、下図のようにヘッドの動作が変わります。

ロジカルシーク "OFF" 時のヘッドの動き

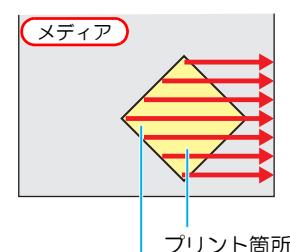
単方向プリント



赤矢印：
ヘッドの動き

ロジカルシーク "ON" 時のヘッドの動き

単方向プリント



赤矢印：
ヘッドの動き

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** キーを押す

- 2 **▲** **▼**を押して“設定”を選び、**ENTER**キーを押す

・設定メニューが表示されます。

- 3 **▲** **▼**を押して“ロジカルシーク”を選び、**ENTER**キーを押す

- 4 **▲** **▼**を押して設定値を選び、**ENTER**キーを押す

・設定値：ホスト / ON / OFF

- 5 終了するとき、**(END/POWER)**キーを数回押す

重ね塗りの設定

インクの重ね塗りをするときの回数を設定します。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** キーを押す

2  を押して “設定” を選び、
ENTER キーを押す

- ・設定メニューが表示されます。

3  を押して “重ね塗り” を選び、
ENTER キーを押す

4  を押して設定値を選び、
ENTER キーを押す

- ・設定値：1～9回

5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

リフレッシュレベルの設定

ホコリが多い場所などで、ヘッドのインク詰まりが起こらないよう、プリントヘッドのリフレッシュレベルを設定します。レベル数が大きいほど、リフレッシュ回数が多くなります。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** キーを押す

2  を押して “設定” を選び、
ENTER キーを押す

- ・設定メニューが表示されます。

3  を押して “リフレッシュレベル” を選び、
ENTER キーを押す

4  を押して設定値を選び、
ENTER キーを押す

- ・設定値：ホスト / レベル 0～3

5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

UV モードの設定

LED UV 装置のモードは 3 段階に設定できます。

熱に弱いメディアを使用するときや、クリーニング中のテストプリントなどで LED UV を点灯させたくないときなどに設定します。

ON	LED UV が点灯します。
OFF	プリント時、LED UV は点灯しません。
印刷無し	プリントは行わずに、LED UV だけ点灯させます。プリント時に LED UV を点灯させなかったときなどに、後から硬化させたいときに使用します。（通常は設定しません）

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** キーを押す

2  を押して “設定” を選び、
ENTER キーを押す

- ・設定メニューが表示されます。

3  を押して “UV モード” を選び、
ENTER キーを押す

4  を押して設定値を選び、
ENTER キーを押す

- ・設定値：ON/OFF/ 印刷無し

5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

UV 光量調整の設定

あらかじめ設定されているUVの光量を変更することができます。(F/W : UJF-MkII Ver5.2 以降、UJF-MkIII Ver2.0 以降より対応)

マイナス方向	硬化を弱くしたいとき
プラス方向	硬化を強くしたいとき

プリント後、硬化の状態(べたつき、臭気など)を確認してください。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** キーを押す
- 2 **▲** **▼** を押して “設定” を選び、
ENTER キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 3 **▲** **▼** を押して “UV 光量調整” を選び、
ENTER キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して設定値を選び、
ENTER キーを押す
 - ・設定値 : -50% ~ 50%
- 5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

ワークチェンジの設定

オンライン作図後、メディアをセットするためにローカルに戻すかリモートのままするかを設定します。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** キーを押す
- 2 **▲** **▼** を押して “設定” を選び、
ENTER キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 3 **(FUNC3) (»)** を押す
- 4 **▲** **▼** を押して “ワークチェンジ” を選び、
ENTER キーを押す
- 5 **▲** **▼** を押して設定値を選び、
ENTER キーを押す
 - ・設定値 : ON/OFF
- 6 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

ファンモードの設定

吸着機能を自動で行うか、マニュアルでセットするか設定できます。

お買い上げ時は “オート” に設定されています。
(UJF-6042 MkIII/UJF-6042MkII e または吸着テーブル使用時)

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** キーを押す
- 2 **▲** **▼** を押して “設定” を選び、
ENTER キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 3 **(FUNC3) (»)** を押す
- 4 **▲** **▼** を押して “ファンモード” を選び、
ENTER キーを押す
- 5 **▲** **▼** を押して設定値を選び、
ENTER キーを押す
 - ・設定値 : オート / マニュアル
- 6 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す
 - ・オート選択時はプリント開始時に自動でファンが動作します。

オートクリーニングの設定

プリント開始前に自動的にヘッドのクリーニングを実行するかを設定します。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** キーを押す
- 2 **▲** **▼** を押して “設定” を選び、
ENTER キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 3 **(FUNC3) (»)** を押す
- 4 **▲** **▼** を押して “オートクリーニング” を選び、
ENTER キーを押す
- 5 **▲** **▼** を押して以下のメニューを選び、
ENTER キーを押す
 - ・間隔 : OFF または 1file~99file
 - ・タイプ : ソフト, ノーマル, ハード
- 6 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

作図前フラッシングレベルの設定

透明アクリルなどの治具を使用した場合、迷光の影響によりノズル面のインクが増粘してしまい、プリント結果にしぶきなどが発生するケースがあります。このような場合、プリント前のフラッシングの量を増やすことで、しぶきなどの発生を防止します。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** キーを押す
- 2 **▲▼**を押して“設定”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 3 **(FUNC1) (<<)**を押す
- 4 **▲▼**を押して“作図前フラッシングレベル”を選び、**ENTER**キーを押す
- 5 **▲▼**を押して設定値を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・設定値：レベル 0～3
 - (重要！)**
 - ・迷光が発生しやすい環境で使用する場合は、レベル 2 を選択してください。レベル 2 はクリーニング時と同等のフラッシング量です。それでもしぶきなどの吐出不良が発生した場合はレベル 3 に変更してください。
 - レベル 2 で問題なくプリントでき、インク消費量が気になる場合、レベル 1 にしてください。
 - ・各レベルにおけるインク使用量は以下のようになります（目安）
 - レベル 0: 0.003 cc
 - レベル 1: 0.007 cc
 - レベル 2: 0.015 cc
 - レベル 3: 0.024 cc
- 6 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

MAPS4 の設定

MAPS(Mimaki Advanced PassSystem) 機能とは、メディア補正をしても送り縞が解消できない場合に、MAPS 機能を使いパスの境界を分散させることにより、送り縞が目立ちにくくさせる機能です。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** キーを押す
- 2 **▲▼**を押して“設定”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 3 **(FUNC3) (>>)**を 2 回押す
- 4 **▲▼**を押して“MAPS4”を選び、**ENTER**キーを押す
- 5 **▲▼**を押して設定値を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・設定値：Auto/ Manual
 - ・設定値を“Manual”にした場合は手順 6 へ、それ以外は手順 8 へ進んでください。
- 6 **▲▼**を押して“スムージングレベル”を選び、**ENTER**キーを押す
- 7 **▲▼**を押してスムージングレベルを変更し、**ENTER**キーを押す
 - ・設定値：0～100%（5% 単位で設定）
 - ・設定値を上げると、MAPS4 の効果が強くなり、設定値を下げる MAPS4 の効果が弱くなります。
- 8 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

版ずれ調整の設定

カラー・特色版を印刷したときに版ずれが生じた場合に使用します。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** キーを押す

2 **▲** **▼** を押して “設定” を選び、**ENTER** キーを押す

- ・設定メニューが表示されます。

3 **(FUNC3) (»)** を押す

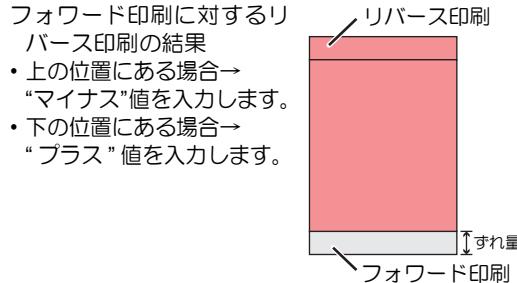
4 **▲** **▼** を押して “版ずれ調整” を選び、**ENTER** キーを押す

5 **▲** **▼** を押して “フィード方向” “スキャン方向” または “リバース印刷” を選ぶ

- フィード方向：フィード方向の版ずれを補正する
- スキャン方向：スキャン方向の版ずれを補正する
- リバース印刷：フォワード印刷（カラー > 特色）とリバース印刷（特色 > カラー）のフィード方向の版ずれを補正する

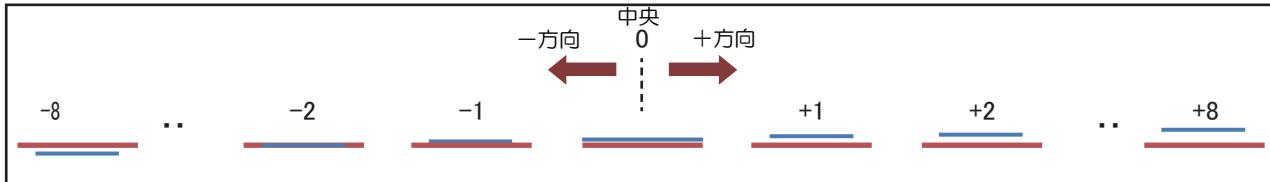
6 **ENTER** キーを押す

- 手順5でフィード方向またはスキャン方向を選択した場合、手順7へ進みます。
- 手順5でリバース印刷を選択した場合、フォワード印刷とリバース印刷のフィード方向のずれ量を0.01mm単位で入力します。（下図参照）

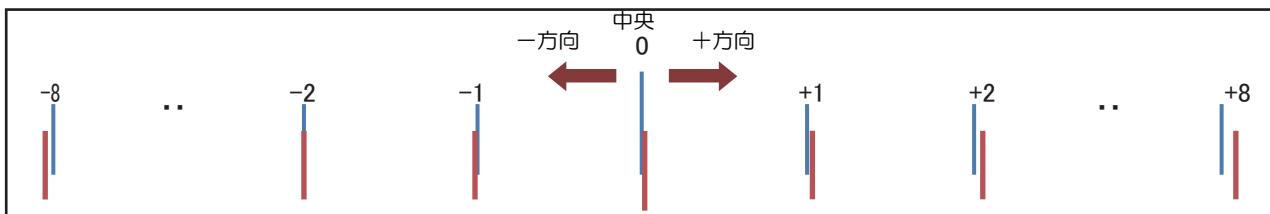


調整パターン

フィード方向調整パターン



スキャン方向調整パターン



（上記調整パターンの青線は、実際には白でプリントします。）

7

▲ **▼** を押して調整を行う解像度を選択し、**ENTER** キーを押す

- ・フィード方向：600dpi/900dpi/1200dpi
- ・スキャン方向：600dpi/1200dpi

8

▲ **▼** を押して “作図” または “補正值入力” を選び、**ENTER** キーを押す

- ・作図：調整パターンをプリントします。
＊Y方向がA4横サイズ以上の透明メディアを使用してください。
- ・補正值入力：手順7へ戻ります。

9

調整パターンをプリントする

- ・フィード方向、スキャン方向ともに、中央（補正值が0）のパターンは他と比べて直線が少し長くなります。

10

調整パターン（下図参照）を確認し、調整値を入力する

- ・補正值の入力画面が表示されます。
- ・調整パターンの中で2本の直線がきれいに重なっている番号を選んで補正值に入力します。
下の図の場合、最もよいパターンは “-2” のため、補正值に “-2” と入力します。

11

終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

LT モードの設定

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** キーを押す
- 2 **▲▼**を押して“設定”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 3 **FUNC3 (>>)**を押す
- 4 **▲▼**を押して“LT モード”を選び、**ENTER**キーを押す
- 5 **▲▼**を押して設定値を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・設定値：ON / OFF
- 6 終了するとき、**END/POWER**キーを数回押す

- 重要！**
- ・UV 光量の調整を行いますので、LT モード使用前に印刷物性能（ベタつき、臭気など）を確認してください。
 - ・有効条件

インク種	解像度	パス	メディア
LUS120	600 x 600	8 pass	UV ペット
ELS120			

吸引ワイパーの設定

プリント後吸引ワイピングを実施するヘッドと実行間隔を設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** キーを押す
- 2 **▲▼**を押して“設定”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 3 **FUNC3 (>>)**を押す
- 4 **▲▼**を押して“吸引ワイパー”を選び、**ENTER**キーを押す
- 5 **ENTER**キーを押す
 - ・プリント後吸引ワイピングメニューが表示されます。
- 6 **ENTER**キーを押す
 - ・ヘッド選択メニューが表示されます。
- 7 **▲▼**を押してプリント後吸引ワイピングをするヘッドを選び、**FUNC2 (▼)**を押す
 - ・チェックが入っているヘッドのみプリント後吸引ワイピングを行います。
 - ・ヘッド 4 (3042MKII の場合：ヘッド 3) のチェックは固定となります。
- 8 **ENTER**キーを押す

- 9 **▲▼**を押して“実行間隔”を選び、**ENTER**キーを押す

- 10 **ENTER**キーを押す
 - ・実行間隔の設定メニューが表示されます。

- 11 **▲▼**を押して設定値を選び、**ENTER**キーを押す

- ・設定値：ファイル / ワークチェンジ
- ・設定値を“ファイル”にした場合は、手順 12 へ、それ以外は手順 14 へ進んでください。

- 12 **▲▼**を押して“間隔”を選び、**ENTER**キーを押す

- 13 **▲▼**を押して間隔を変更し、**ENTER**キーを押す

- ・設定値：1 ~ 5

- 重要！**
- ・設定値を“ファイル”にした場合はワークチェンジと関係なく、設定した間隔で吸引ワイピングを行います。
 - ・設定値を“ワークチェンジ”にした場合はファイル数と関係なく、ワークチェンジしたタイミングに必ず吸引ワイピングを行います。

- 14 終了するとき、**END/POWER**キーを数回押す

スキャン速度の設定

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** キーを押す

- 2 **▲▼**を押して“設定”を選び、**ENTER**キーを押す

- ・設定メニューが表示されます。

- 3 **FUNC3 (>>)**を押す

- 4 **▲▼**を押して“スキャン速度”を選び、**ENTER**キーを押す

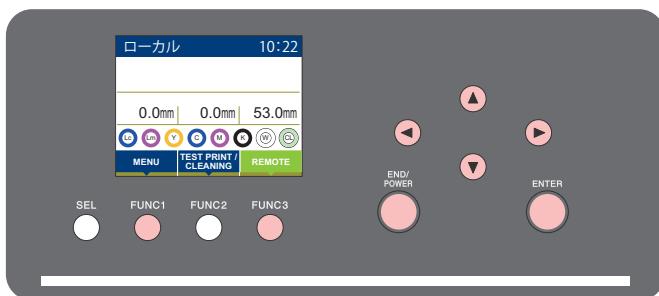
- 5 **▲▼**を押して設定値を選び、**ENTER**キーを押す

- ・設定値：標準 / 低速

- 6 終了するとき、**END/POWER**キーを数回押す

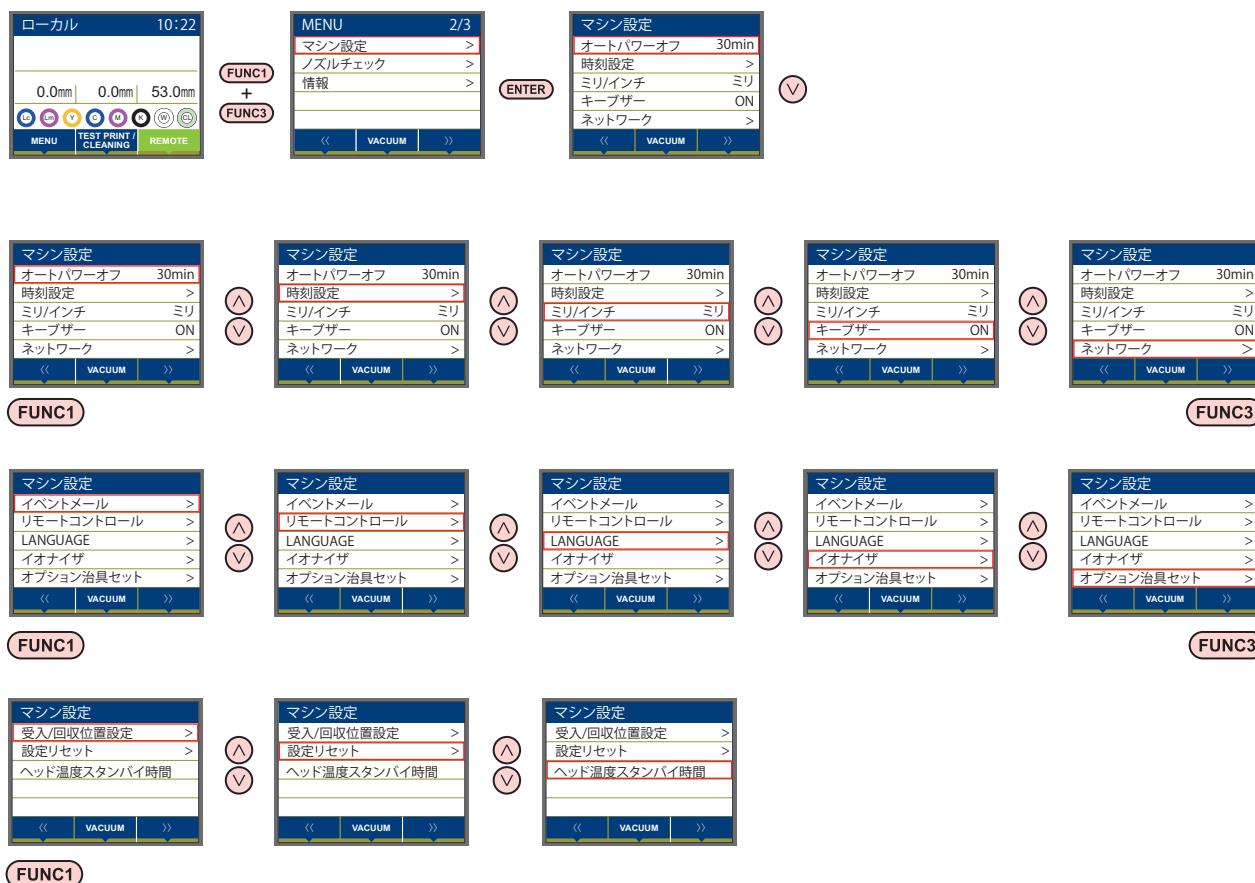
マシン設定メニューについて

本機を快適に使用するための各種設定です。
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。



- 〔FUNC1〕 : マシン設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替えるときに押す
- 〔FUNC3〕 : 次の画面に切り替えるときに押す
- 〔△○〕 : 設定項目を選択するときに押す
- 〔ENTER〕 : 設定を確定するときに押す

◆設定メニュー一覧



マシン設定メニュー一覧表

機能名称	設定値	初期値	内 容	
オートパワーオフ	OFF / 5min ~ 600min	5min	設定した時間操作が無い場合、自動で電源を "OFF" にします。	
時刻設定 (P.3-18)	+4h ~ -20h	日本時間	現在の日付と時刻を設定します。	
ミリ/インチ (P.3-19)	ミリ/インチ	ミリ	長さの表示単位を設定します。	
キーブザー (P.3-19)	ON / OFF	ON	キーを押したときのブザー音を設定します。	
ネットワーク (P.3-19)	ネットワークの設定をします。			
	IP アドレス確認	現在、本機が使用中の IP アドレスが表示されます。		
	MAC アドレス確認	現在、本機が使用中の MAC アドレスが表示されます。		
	DHCP	ON/ OFF	ON オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。	
	AutoIP	ON/ OFF	ON オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が "ON" の場合は DHCP を優先します。	
	IP アドレス ^{*1}	本機が使用する IP アドレスを設定します。		
	デフォルトゲートウェイ ^{*1}	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。		
	DNS アドレス ^{*1}	本機が使用する DNS サーバーのアドレスを設定します。		
	サブネットマスク ^{*1}	本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。		
	メール送信 (P.3-20)	ON / OFF	設定したイベントが起こった際に、メールを送信する機能を設定します。	
イベントメール	送信イベント選択 (P.3-20)	プリント開始	ON / OFF	OFF プリント開始時にメールを送信する / しないを設定します。
		プリント終了	ON / OFF	OFF プリント終了時にメールを送信する / しないを設定します。
		エラー	ON / OFF	OFF エラー発生時にメールを送信する / しないを設定します。
		ワーニング	ON / OFF	OFF ワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定します。
		その他	ON / OFF	OFF 上記以外のイベント発生時にメールを送信する / しないを設定します。
	メールアドレス (P.3-20)	イベントメールを送信するメールアドレスを設定します。	英数字、記号 (96 文字)	
	件名 (P.3-21)	イベントメールの件名に記載する文字を設定します。	英数字、記号 (8 文字)	
	サーバー設定 (P.3-21)	SMTP アドレス	SMTP サーバーを設定します。	
		SMTP ポート No.	SMTP のポート番号を設定します。	
		送信元メールアドレス	メールの送信元として使用するメールアドレスを設定します。	
		認証方式	OFF POP before SMTP SMTP 認証	
		ユーザー名 ^{*2}	SMTP サーバーの認証方式を設定します。	
		パスワード ^{*3}	認証に使用するユーザー名を設定します。	
		POP3 アドレス ^{*3}	認証に使用するパスワードを設定します。	
		APOP	POP サーバーを設定します。	
リモートコントロール ^{*4}	テ스트メール送信 (P.3-22)	テ스트メールの送信を実行します。	APOP の ON/OFF を設定します。	
	設定	DISABLE / ENABLE	ENABLE	ENABLE の場合、Mimaki Remote Access によるリモートコントロールを許可します。
	PIN コード	0000-9999	0000	Mimaki Remote Access の認証番号を設定します。
	キーライフタイム	5min-120min	30min	リモートコントロール中の Mimaki Remote Access が無操作の時に自動でリモートコントロールを終了する時間を設定します。

機能名称	設定値	初期値	内 容
LANGUAGE(P.3-24)	English / 日本語 / Deutsch / Español / Italiano/ 中文 / Turkish	English	表示言語を変更します。
イオナイザー ^{*5}	ON / OFF	OFF	イオナイザー(オプション)の動作を設定します。
受入 / 回収位置設定 ^{*6}	受入 ステージ	手前 / 奥	MDL コマンドを使用してプリンタを制御する場合に、ワークを受入れる際のテーブルの前後位置を設定します。
	受入 高さ	最下点 / 最上点 / 印刷時 ^{*7} 3042MkII, 6042MkII : 最上点 3042MkIIe, 6042MkIIe : 印刷時	MDL コマンドを使用してプリンタを制御する場合に、ワークを受入れる際のテーブルの高さを設定します。
	回収 ステージ	手前 / 奥	MDL コマンドを使用してプリンタを制御する場合に、ワークを回収する際のテーブルの前後の位置を設定します。
	回収 高さ	最下点 / 最上点 / 印刷時 ^{*7} 3042MkII, 6042MkII : 最上点 3042MkIIe, 6042MkIIe : 印刷時	MDL コマンドを使用してプリンタを制御する場合に、ワークを回収する際のテーブルの高さを設定します。
設定リセット(P.3-25)			すべての設定項目を初期値に戻します。
ヘッド温度スタンバイ時間	5min ~ 15min	5min	ヘッド温度のスタンバイ状態への移行時間を設定します。

*1. [DHCP]、[AutolP] が両方 OFF の場合のみ表示します。

*2. [認証方式] がオフでない場合のみ設定可能

*3. [認証方式] が POP before SMTP の場合のみ設定可能

*4. "リモートコントロール" は UJF-3042 MkII e/UJF-6042MkII e のみ対応している機能です。

*5. オプション設定しているときのみ表示します

*6. UJF-6042MK II、UJF-6042MK II e、UJF-3042MK II e のみ表示します。『MDL コマンド』を使用してプリンタを制御する場合のみ設定が有効。

*7. UJF-6042MK II e、UJF-3042MK II e のみ表示します。

オートパワーオフの設定

設定した時間操作が無い場合、自動で電源を "OFF" にします。

- 1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** を押す
- 2 **[▲][▼]** を押して "マシン設定" を選び、**[ENTER]** キーを押す
- 3 **[▲][▼]** を押して "オートパワーオフ" を選び、**[ENTER]** キーを押す
- 4 **[▲][▼]** を押して設定値を選び、**[ENTER]** キーを押す
・ 設定値 : OFF / 10 ~ 600 min
- 5 終了するとき、**[END/POWER]** キーを数回押す

重要! • オートパワーオフにした状態でパソコンからデータを受信すると電源がオンになりますが、プリンタは自動で開始されません。

時刻の設定

お使いの国に合わせた時刻(時差)に設定することができます。

- 1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** → **[FUNC3] (>>) → [ENTER]** キーを押す
・ マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **[▲][▼]** を押して "時刻" を選び、**[ENTER]** キーを押す
- 3 **[▲][▼][◀][▶]** を押して時刻を入力し、**[ENTER]** キーを押す
・ 時分秒の選択:[◀][▶] で選ぶ
・ 時分秒の入力:[▲][▼] で入力
- 4 終了するとき、**[END/POWER]** キーを数回押す
• -20 ~ +4 時間の間で、設定できます。



単位(長さ)の設定

本機で使用する単位を設定します。

1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** ➡ **[FUNC3] (>)** ➡ **[ENTER]**キーを押す

- マシン設定メニューが表示されます。

2 **[▲▼]**を押して設定値を選び、**[ENTER]**キーを押す

- 長さの設定値：ミリ/インチ

3 終了するとき、**[END/POWER]**キーを数回押す

キープザーの設定

キーを押したときのブザー音を消すことができます。

1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** ➡ **[FUNC3] (>)** ➡ **[ENTER]**キーを押す

- マシン設定メニューが表示されます。

2 **[▲▼]**を押して“キープザー”を選び、**[ENTER]**キーを押す

3 **[▲▼]**を押して設定値を選び、**[ENTER]**キーを押す

- 設定値：ON/ OFF

4 終了するとき、**[END/POWER]**キーを数回押す

 • 設定を"OFF"にしても、エラー/警告/動作完了などのブザー音を消すことはできません。

ネットワークの設定

1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** ➡ **[FUNC3] (>)** ➡ **[ENTER]**キーを押す

- マシン設定メニューが表示されます。

2 **[▲▼]**を押して“ネットワーク”を選び、**[ENTER]**キーを押す

3 **[▲▼]**を押して“IPアドレス確認”を選び、**[ENTER]**キーを押す

- 現在、本機で使用中のIPアドレスが表示されます。
- 確認が終わったら [ENTER] キーを押してください。

 • ネットワークに接続後、IPアドレスが確定するまで時間がかかります。IPアドレス未確定の場合、「0.0.0.0」と表示します。

4 **[▲▼]**を押して“MACアドレス確認”を選び、**[ENTER]**キーを押す

- 現在、本機で使用中のMACアドレスが表示されます。
- 確認が終わったら [ENTER] キーを押してください。

5 **[▲▼]**を押して“DHCP”を選び、**[ENTER]**キーを押す

6 **[▲▼]**を押して設定値を選び、**[ENTER]**キーを押す

- 設定値：ON/ OFF
- "ON"の場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスを使用します。

7 **[▲▼]**を押して“AutoIP”を選び、**[ENTER]**キーを押す

8 **[▲▼]**を押して設定値を選び、**[ENTER]**キーを押す

- 設定値：ON/ OFF
- "ON"の場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスを決定します。ただし、DHCPが"ON"の場合はDHCPを優先します。

9 **[▲▼]**を押して“IPアドレス”を選び、**[ENTER]**キーを押す

10 **[▲▼]**を押して設定値を選び、**[ENTER]**キーを押す

- DHCP、AutoIPが両方オフの場合、IPアドレスの設定ができます。それ以外の場合、手順13へ進みます。

11 **[FUNC3]**キーを押す

- デフォルトゲートウェイ/DNSアドレス/サブネットマスクの設定項目が表示されます。
- DHCP、AutoIPが両方オフの場合、デフォルトゲートウェイ/DNSアドレス/サブネットマスクの設定ができます。それ以外の場合、手順13へ進みます。

12 **[▼]**を数回押して設定項目を選び、**[ENTER]**キーを押す

13 **[▲▼]**を押して設定値を選び、**[ENTER]**キーを押す

14 終了するとき、**[END/POWER]**キーを数回押す

 • ネットワークの設定を反映するには、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。

イベントメール機能の設定

プリントの開始 / 終了や、エラーによる中断などのイベントが発生した際に、設定したメールアドレスにメールを送信する機能を設定します。

- ・免責事項
- ・メール通知その他、インターネットの通信が発生した場合の通信費用は、お客様負担となります。
- ・イベントメール機能による通知は、インターネット環境や機器の故障、電源の故障などの要因により、不達となることがあります。不達や遅延があった場合などにおいて発生した損害について、当社では責任を負いかねます。

- (重要!)**
- ・イベントメール機能は本機を LAN 接続することによって使用できます。あらかじめ LAN ケーブルの接続をしておいてください。
 - ・SSL 通信には対応していません。

イベントメール機能を有効にする

- 1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU) ➔ [FUNC3] (>>) ➔ [ENTER]** キーを押す
 - ・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **[▲][▼]を押して“イベントメール”を選び、[ENTER]** キーを押す
- 3 **[▲][▼]を押して“メール送信”を選び、[ENTER]** キーを押す
- 4 **[▲][▼]を押して“ON”を選び、[ENTER]** キーを押す
- 5 終了するとき、**[END/POWER]** キーを数回押す

イベントメールを送るイベントを設定する

- 1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU) ➔ [FUNC3] (>>) ➔ [ENTER]** キーを押す
 - ・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **[▲][▼]を押して“イベントメール”を選び、[ENTER]** キーを押す
- 3 **[▲][▼]を押して“送信イベント選択”を選び、[ENTER]** キーを押す
- 4 **[▲][▼]を押してイベントの“ON”または“OFF”を選択し、[ENTER]** キーを押す
 - ・下表の順にイベントの ON/OFF を選択します。ON/OFF 設定後、[ENTER] キーを押して次のイベント設定に進んでください。

・直前の設定に戻るときは [END/POWER] キーを押してください。

イベント名	概要
プリントスタート	プリント開始時にメールを送信する / しないを設定します。
プリントエンド	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定します。
エラー	エラー発生によるプリント中断時にメールを送信する / しないを設定します。
ワーニング	プリント中のワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定します。
その他	上記以外のイベント発生時にメールを送信する / しないを設定します。

- 5** 終了するとき、**[END/POWER]** キーを数回押す

メールアドレスを設定する

- 1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU) ➔ [FUNC3] (>>) ➔ [ENTER]** キーを押す
 - ・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **[▲][▼]を押して“イベントメール”を選び、[ENTER]** キーを押す
- 3 **[▲][▼]を押して“メールアドレス”を選び、[ENTER]** キーを押す
- 4 **[▲][▼][◀][▶]を押してアドレスを設定し、[ENTER]** キーを押す
 - ・イベントメールを送信するメールアドレスを設定します。
 - ・英数字、記号、96 文字以内で設定します。
- 5 終了するとき、**[END/POWER]** キーを数回押す

件名を設定する

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** ➡ **FUNC3 (>)** ➡ **ENTER**キーを押す
 - ・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **▲** **▼**を押して“イベントメール”を選び、**ENTER**キーを押す
- 3 **▲** **▼**を押して“件名”を選び、**ENTER**キーを押す
- 4 **▲** **▼** **◀** **▶**を押して件名を設定し、**ENTER**キーを押す
 - ・イベントメールの件名に記載する文字を設定します。
 - ・英数字、記号、8文字以内で設定します。
- 5 終了するとき、**END/POWER**キーを数回押す

サーバーを設定する

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** ➡ **FUNC3 (>)** ➡ **ENTER**キーを押す
 - ・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **▲** **▼**を押して“イベントメール”を選び、**ENTER**キーを押す
- 3 **▲** **▼**を押して“サーバー設定”を選び、**ENTER**キーを押す
- 4 **▲** **▼**を押して“SMTP アドレス”を選び、**ENTER**キーを押す
- 5 **▲** **▼** **◀** **▶**を押してSMTPアドレスを設定し、**ENTER**キーを押す
 - ・**[▲][▼][◀][▶]**を押して、SMTPアドレスを設定します。
 - ・SMTPアドレス名を入力してください。
 - ・英数字、記号、40字以内で設定します。
- 6 **▲** **▼**を押して“SMTP ポート No.”を選び、**ENTER**キーを押す
- 7 **▲** **▼**を押してSMTPポートNo.を設定し、**ENTER**キーを押す
 - ・SMTPのポート番号を設定します。

- 8 **▲** **▼**を押して“送信元メールアドレス”を選び、**ENTER**キーを押す
- 9 **▲** **▼** **◀** **▶**を押して送信元メールアドレスを設定し、**ENTER**キーを押す
 - ・**[▲][▼][◀][▶]**を押して、送信元メールアドレスとして使用するアドレスを設定します。
 - ・英数字、記号、64文字以内で設定します。

 使用するサーバーによっては、アカウントに対応したメールアドレスを設定しないとメールを送信できない場合があります。
- 10 **▲** **▼**を押して“認証方式”を選び、**ENTER**キーを押す
- 11 **▲** **▼**を押して認証方式を設定し、**ENTER**キーを押す
 - ・SMTPサーバーの認証方式を設定します。
 - ・[オフ]を選択した場合、手順20に進みます。
- 12 **▲** **▼**を押して“ユーザー名”を選び、**ENTER**キーを押す
- 13 **▲** **▼** **◀** **▶**を押してユーザー名を設定し、**ENTER**キーを押す
 - ・**[▲][▼][◀][▶]**を押して、認証に使用するユーザー名を設定します。
 - ・英数字、記号、30文字以内で設定します。
- 14 **▲** **▼**を押して“パスワード”を選び、**ENTER**キーを押す
- 15 **▲** **▼** **◀** **▶**を押してパスワードを設定し、**ENTER**キーを押す
 - ・**[▲][▼][◀][▶]**を押して、認証に使用するパスワードを設定します。
 - ・英数字、記号、15文字以内で設定します。

 パスワードの設定画面では、現在入力中の値のみ確認が可能です。

 - ・手順9で[POP before SMTP]を選択した場合、手順14～17を設定します。
- 16 **▲** **▼**を押して“POP3 アドレス”を選び、**ENTER**キーを押す
- 17 **▲** **▼** **◀** **▶**を押してPOP3アドレスを設定し、**ENTER**キーを押す
 - ・**[▲][▼][◀][▶]**を押して、POPサーバーを設定します。
 - ・POPサーバー名を入力してください。
 - ・英数字、記号、40字以内で設定します。
- 18 **▲** **▼**を押して“APOP”を選び、**ENTER**キーを押す

19 を押してON/OFFを設定し、
ENTERキーを押す

20 終了するとき、キーを数回押す

テストメールを送信する

1 ローカルで、 (MENU)  (>>)  (>>) キーを押す

- ・マシン設定メニューが表示されます。

2 を押して“イベントメール”を
選び、ENTERキーを押す

3  (>>) キーを押す

- ・“テストメール送信実行”が表示されます。

4 キーを押す

- ・送信結果が表示されます。
 - ・テストメールの送信に失敗した場合、エラーコードが表示されます。
- 次ページを参照し、対処してください。



5 終了するとき、キーを数回押す

重要!

- ・テストメールの送信結果は、本機がメールサーバーに対して行ったメール送信処理の結果です。メールが宛先に届いたことを示すものではありません。
- ・メールを受信する端末側で迷惑メールフィルターなどを設定している場合、「ソウシンカンリョウ」となってもメールが届かない場合があります。
- ・テストメールの送信に失敗した場合、以下のエラーコードが表示されます。
- ・エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してみてください。
- ・サーバーの設定などについては、ネットワーク管理者またはプロバイダーにご相談ください。

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワーク接続エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・装置がネットワークに接続されていることを確認してください。 ・装置の IP アドレスが正しいことを確認してください。 ・装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいメールアドレスを入力してください。
11003 11004	POP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません	<ul style="list-style-type: none"> ・POP サーバーのアドレスを確認してください。 ・装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
11021	POP サーバーに接続できません	<ul style="list-style-type: none"> ・POP サーバー設定を確認してください。 ・ファイアーウォールの設定を確認してください。
12010	POP サーバーからエラーが返答されました	<ul style="list-style-type: none"> ・POP サーバーの設定を確認してください。
13000	POP 認証に失敗しました	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー名とパスワードを確認してください。 ・APOP の設定を確認してください。 ・認証方式を確認してください。
10013 10014	SMTP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません。	<ul style="list-style-type: none"> ・SMTP サーバーのアドレスを確認してください。 ・装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
10021	SMTP サーバーに接続できません	<ul style="list-style-type: none"> ・SMTP サーバー設定を確認してください。 ・SMTP ポート番号を確認してください。 ・ファイアーウォールの設定を確認してください。
10*** 11*** 20*** 21***	SMTP サーバーからエラーが返答されました または応答がありません	<ul style="list-style-type: none"> ・SMTP サーバーの設定を確認してください。 ・SSL 通信が必須のサーバーとは通信できません。 ・プロトコルフィルターの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
13***	メールの宛先が見つかりません または、無効なメールアドレスです	<ul style="list-style-type: none"> ・メールアドレスを確認してください。 ・メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。 ・ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
22000 22008	SMTP 認証エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・認証方式を確認してください。
23*** 24*** 25***	SMTP 認証に失敗しました	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー名とパスワードを確認してください。

リモートコントロールの設定

Mimaki Remote Access でリモートコントロールする場合の設定方法です。Mimaki Remote Access のオンラインマニュアルをご覧ください。

Mimaki Remote Access 使用中はディスプレイに "During remote control. [ent]" と表示され、本機の操作パネルによるキー操作は無効になります。

ディスプレイに "During remote control. [ent]" が表示されている時に [ENTER] キーを押すと、リモートコントロール状態が解除され、本機の操作パネルによるキー操作が有効になります。

1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** ➡ **[FUNC3] (>)** ➡ **[ENTER]** キーを押す

- マシン設定メニューが表示されます。

2 **[▲] [▼]**を押して“リモートコントロール”を選び、**[ENTER]** キーを押す

3 [設定] 画面で **[ENTER]** キーを押す

4 **[▲] [▼]**を押して“ENABLE”または“DESABLE”を選び、**[ENTER]** キーを押す

- [ENABLE]: Mimaki Remote Access によるリモートコントロールを有効にします。
- [DESABLE]: Mimaki Remote Access によるリモートコントロールを無効にします。
- [DESABLE] を選択した場合、[END/POWER] キーを数回押して終了してください。

5 [PIN コード] 画面で **[ENTER]** キーを押す

6 **[▲] [▼]**で“PIN コード”を設定して **[ENTER]** キーを押す

- PIN コードは、Mimaki Remote Access の認証に使用する 4 衔の番号です。
初期値：0000
- 設定値：0000-9999 の間で任意の 4 衔を設定してください。

Mimaki Remote Access からの接続

PIN コード入力画面で、本体で設定している PIN コードの値に従って、4 衔の番号を入力して認証します。

- 設定値が "0000" の場合、任意の 4 衔の番号 ("0000" を除いたどの数値の組み合わせでも構いません)
- 設定値が "0000" 以外の場合、設定値と同じ 4 衔の番号

重要! PIN コードが "0000" の場合、任意の番号で認証可能となりますのでご注意ください。

7 [キーライフタイム] 画面で **[ENTER]** キーを押す

8 **[▲] [▼]**で“キーライフタイム”を設定して **[ENTER]** キーを押す

- キーライフタイムは、リモートコントロール中の Mimaki Remote Access が無操作だった場合に、リモートコントロールを自動で終了する時間の設定に使用します。

・設定値：5 ~ 120 (分)

終了するとき、**[END/POWER]** キーを数回押す

9

言語の設定

表示言語を変更します。

1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** ➡ **[FUNC3] (>)** ➡ **[ENTER]** キーを押す

- マシン設定メニューが表示されます。

2 **[FUNC1]** を押して“LANGUAGE”を選び、**[ENTER]** キーを押す

3 **[▲] [▼]**を押して言語を選び、**[ENTER]** キーを押す

- 設定値：日本語 / English / Deutsch / Español / Italiano / 中文 / Turkish

4 終了するとき、**[END/POWER]** キーを数回押す

イオナイザーの設定（オプション）

オプションのイオナイザーを接続しているとき、除電動作を行いたい場合に "ON" に設定します。

注意・安全に関し、UJF-3042MkII/6042MkII のイオナイザー取扱説明書をご覧ください。

重要! イオナイザーのオプション設定時のみ表示されます。

1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** ➡ **[FUNC3] (>)** を押す

2 **[▲] [▼]**を押して“マシン設定”を選び、**[ENTER]** キーを押す

- マシン設定メニューが表示されます。

3 **[▲] [▼]**を押して“イオナイザ”を選び、**[ENTER]** キーを押す

- “イオナイザ”的設定が選択されます。

4 **[▲] [▼]**を押して設定値を選び、**[ENTER]** キーを押す

- "ON" に設定すると、プリント前にプリントするデータに合わせてプリント面の全面を除電するようテーブルが移動するようになります。

5 終了するとき、**[END/POWER]** キーを数回押す

接続オプションの認識を行う

Kebab オプションの取り付けの際にオプションの認識を行います。

1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** ➡ **[FUNC3] (>>)** を押す

2 **[▲▼]** を押して “マシン設定” を選び、**[ENTER]** キーを押す

- マシン設定メニューが表示されます。

3 **[▲▼]** を押して “オプション治具セット” を選び、**[ENTER]** キーを押す

4 Kebab MkII オプションを接続し、**[ENTER]** キーを押す

- 認識したオプションを表示します。

5 終了するとき、**[END/POWER]** キーを数回押す

受入 / 回収位置の設定 (MDL コマンド)

「MDL コマンド」を使用してプリンタを制御する場合にワーク受入、回収を行う際のテーブル位置を設定します。

重要! • 本メニューの設定は、「MDL コマンド」を使用してプリンタを制御する場合のみ有効です。

• 「MDL コマンド」とは
ユーザーの生産システムや周辺機器を利用して、弊社のプリンタの制御を可能にするためのコマンドです。
ワークをセットするテーブルの位置や高さの制御、プリント開始のようなプリンタの動作の制御などが可能になります。
また、プリンタのインク残量やエラー情報等も取得できます。
「MDL コマンド」については、弊社から提供する技術情報 (SDK) を使用してソフトウェアを開発していただくことで、お客様に最適なシステムの構築が可能になります。

『MDL コマンド』の運用に必要な情報を「技術情報 (SDK)」として下記専用サイトで配布しています。

<https://japan.mimaki.com/download/sdk/>

SDK のダウンロードにはユーザー登録（無料）が必要です。

1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** ➡ **[FUNC3] (>>)** ➡ **[ENTER]** キーを押す

- マシン設定メニューが表示されます。

2 **[▲▼]** を押して “受入 / 回収位置設定” を選び、**[ENTER]** キーを押す

3 **[▲▼]** を押して “受入 ステージ” を選び、**[ENTER]** キーを押す

4 **[▲▼]** を押して設定値を選び、**[ENTER]** キーを押す

- 設定値：手前 / 奥
- 手前：ワークを受け入れる際のテーブルの前後位置を一番手前に設定します。
- 奥：ワークを受け入れる際のテーブルの前後位置を一番奥に設定します。

5 **[▲▼]** を押して “受入 高さ” を選び、**[ENTER]** キーを押す

6 **[▲▼]** を押して設定値を選び、**[ENTER]** キーを押す

- 設定値：最下点 / 最上点 / 印刷時 *
 - 最下点：ワークを受け入れる際のテーブル高さを最下点に設定します。
 - 最上点：ワークを受け入れる際のテーブル高さを最上点に設定します。
 - 印刷時：ワークを受け入れる際のテーブル高さを印刷時の高さに設定します。
- * : UJF-6042MK II e、UJF-3042MK II e のみ表示します。

7 **[▲▼]** を押して “回収 ステージ” を選び、**[ENTER]** キーを押す

8 **[▲▼]** を押して設定値を選び、**[ENTER]** キーを押す

- 設定値：手前 / 奥
- 手前：ワークを回収する際のテーブルの前後位置を一番手前に設定します。
- 奥：ワークを回収する際のテーブルの前後位置を一番奥に設定します。

9 **[▲▼]** を押して “回収 高さ” を選び、**[ENTER]** キーを押す

10 **[▲▼]** を押して設定値を選び、**[ENTER]** キーを押す

- 設定値：最下点 / 最上点 / 印刷時 *
 - 最下点：ワークを回収する際のテーブル高さを最下点に設定します。
 - 最上点：ワークを回収する際のテーブル高さを最上点に設定します。
 - 印刷時：ワークを回収する際のテーブル高さを印刷時の高さに設定します。
- * : UJF-6042MK II e、UJF-3042MK II e のみ表示します。

11 終了するとき、**[END/POWER]** キーを数回押す

設定した内容を初期状態に戻す

「設定」「メンテナンス」「マシン設定」で設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** ➡ **[FUNC3] (>>)** ➡ **[ENTER]** キーを押す

- マシン設定メニューが表示されます。

2 **[FUNC1] (<<)** キーを押す

3 を押して“設定リセット”を選び、
キーを押す

4 キーを押す
・設定を初期化します。

5 終了するとき、キーを数回押す

ヘッド温度スタンバイ時間の設定

ヘッド温度のスタンバイ状態への移行時間を変更します。

1 ローカルで、 (MENU)  (>>) キーを押す
・マシン設定メニューが表示されます。

2  (<<)キーを押して”ヘッド温度スタンバイ
時間”を選び、キーを押す

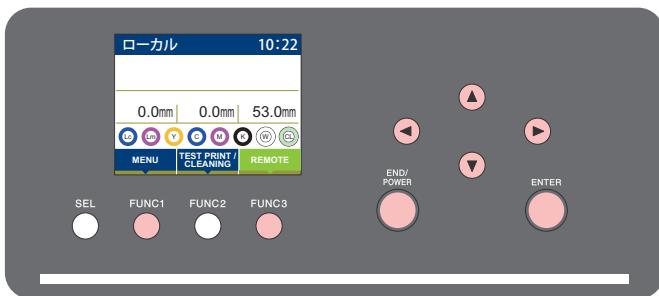
3 キーを押す

4 を押して設定値を選び、
キーを押す
・設定値：5min～15min

5 終了するとき、キーを数回押す

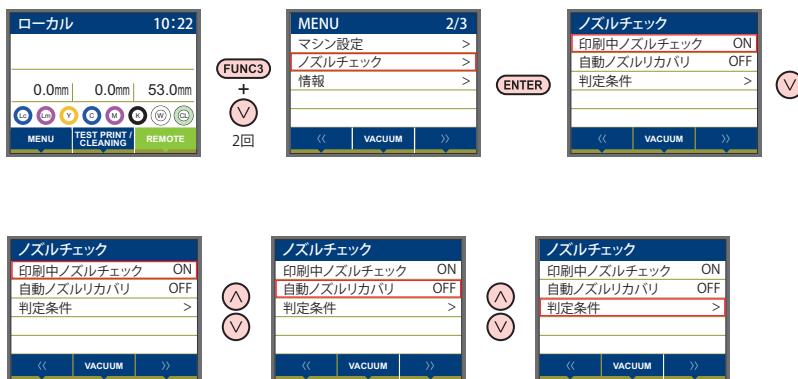
ノズルチェックメニューについて

ノズル抜け検出機能に関するオペレーションを設定します。
UJF-3042MkII は NCU オプション装着時のみ表示されます。



- 〔FUNC1〕 : ノズルチェックメニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替えるときに押す
- 〔FUNC3〕 : 次の画面に切り替えるときに押す
- 〔△○〕 : 設定項目を選択するときに押す
- 〔ENTER〕 : 設定を確定するときに押す

◆ NCU 設定メニュー一覧



ノズルチェックメニュー一覧表

機能名称		設定値	初期値	概要
印刷中ノズルチェック (P.3-29)		ON/OFF	ON	オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、設定します。
(ON)	チェック	設定	ジョブ	チェックをファイル単位で行うことを示します。
	間隔	間隔	1 ~ 100 ファイル	30 ファイル 設定したファイル数毎にノズルチェックを行います。 ¹
	復旧動作	クリーニング	ソフト / ノーマル / ハード	復旧動作時に行うクリーニングの種類を設定します。
自動ノズルリカバー (P.3-29)		ON/OFF	OFF	自動でノズルリカバーしたい場合に設定します。
判定条件 (P.3-29)		1 ~ 100 ノズル	1 ノズル	色ごとに何本のノズル抜けを検出したら「ノズル抜け」と判定するか設定します。(1 ノズル列最大 10 本) ²

*1. プリントの途中で設定した距離に達した場合は、次のプリント開始時にノズルチェックを行います。

*2. プリント条件により、ノズルリカバーが適用されない場合があります。

印刷中ノズルチェックの流れ

プリント開始時に以下の流れでノズルチェックを行います。

（重要！）

- ・「印刷中ノズルチェック」の設定を "ON" にすると、有効になります。
- ・リトライ、自動ノズルリカバリーの設定は、設定が有効な場合のみ行います。

1

ノズルチェック → 判定

ノズル抜けを検出します。

2

復旧動作 → ノズルチェック
→ 判定

ノズルチェック後「判定条件」以上のノズル抜け
があった場合、クリーニングを行ってから再度ノ
ズルチェックを行います。

3

リトライ → 判定

復旧動作後「判定条件」以上のノズル抜けがあ
った場合、再度復旧動作を行います。

- ・「リトライ回数」の設定を 1 回以上にすると、有効になります。

4

自動ノズルリカバリー → 判定

ノズルチェックならびに復旧動作後、自動でノズ
ルリカバリーを行います。

- ・「自動ノズルリカバリー」の設定を "ON" にすると、有効になります。

5

ノズル抜け判定

最終的に「判定条件」以上のノズル抜けがあ
った場合は、プリント継続不可能と判定して、プリ
ントを停止します。

「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時のプリント動作

- 「ノズル抜け」と判定された場合 → プリントを停止します。
- ノズルチェック実施中にエラーが発生した場合 → プリントを停止し、自動的に「印刷中ノズルチェック」を
"OFF" に設定します。エラーから復旧後は、再度「印刷中ノ
ズルチェック」の設定を行ってください。

印刷中ノズルチェックの設定

オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、ONに設定します。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す
- 2 **▲** **▼**を押して“ノズルチェック”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・ノズルチェックメニューが表示されます。
- 3 **▲** **▼**を押して“印刷中ノズルチェック”を選び、**ENTER**キーを押す
- 4 **▲** **▼**を押して“ON”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・“チェック間隔”的設定画面が表示されます。
 - ・“OFF”を選ぶと、ノズルチェックは設定されません。手順12へ進んでください。
- 5 **ENTER**キーを押す
- 6 **▲** **▼**を押して設定項目を選び、**ENTER**キーを押す

ジョブ：プリントしたジョブ数が設定した数に、ノズルチェックを行う
- 7 **▲** **▼**を押して設定値を選び、**ENTER**キーを押す

設定値：1～100 ジョブ
- 8 **END/POWER**キーを押す
 - ・“復旧動作”的設定画面が表示されます。
- 9 **ENTER**キーを押す
 - ・“クリーニング”が選択されます。
- 10 **▲** **▼**を押してクリーニングタイプを選び、**ENTER**キーを押す

設定値：ソフト / ノーマル / ハード
- 11 **▲** **▼**を押してリトライ回数を選び、**ENTER**キーを押す

設定値：0～3回
- 12 終了するとき、**END/POWER**キーを数回押す

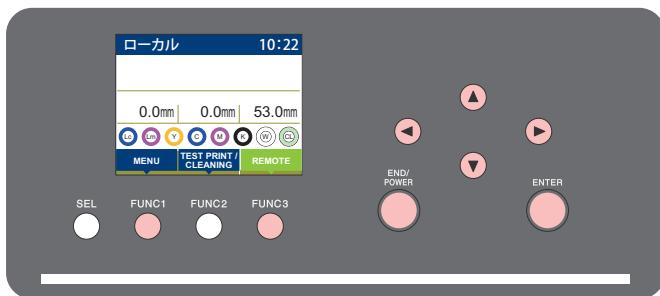
自動ノズルリカバリーの設定

ノズル抜け判定された場合に自動でノズルリカバリーしたい場合に設定します。

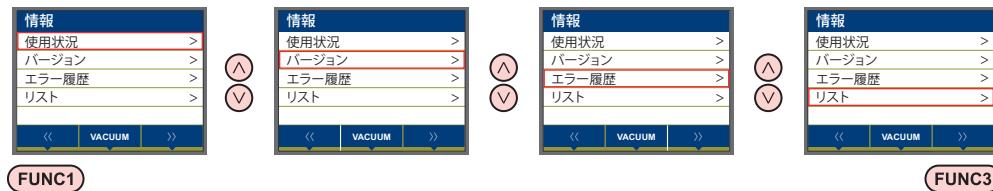
- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す
 - 2 **▲** **▼**を押して“ノズルチェック”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・ノズルチェックメニューが表示されます。
 - 3 **▲** **▼**を押して“自動ノズルリカバリ”を選び、**ENTER**キーを押す
 - 4 **▲** **▼**を押してON/OFFを選び、**ENTER**キーを押す
 - 5 終了するとき、**END/POWER**キーを数回押す
- 自動ノズルリカバリーの登録ノズル数は、ガイドで確認できます。
- ## 判定条件の設定
- ノズル抜けの判定条件を設定します。
- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す
 - 2 **▲** **▼**を押して“ノズルチェック”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・ノズルチェックメニューが表示されます。
 - 3 **▲** **▼**を押して“判定条件”を選び、**ENTER**キーを押す
 - 4 **▲** **▼**を押して色を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・インクセットにより、色の種類は変わります。
 - 5 **▲** **▼**を押して判定ノズル数を設定して、**ENTER**キーを押す
 - 6 終了するとき、**END/POWER**キーを数回押す

情報メニューについて

本機の装置情報を確認できます。
確認できる装置情報は、次の項目です。



- [FUNC1]** : 情報メニューを選ぶときに押す
- [FUNC3]** : 次の画面に切り替えるときに押す
- [△][▽]** : 設定項目を選択するときに押す
- [ENTER]** : 設定を確定するときに押す



情報メニュー一覧表

項目	内 容
使用状況	ワイピング ワイピングした回数が表示されます。
	廃インクタンク 廃インクタンクにたまっている廃インクが何%になっているか、目安が表示されます。
	プリント長 今までプリントした長さが表示されます。
	プリント面積 今までプリントした面積が表示されます。
	使用時間 今までの使用時間が表示されます。
バージョン	装置のバージョン情報が表示されます。
エラー履歴	今までに発生したエラー、ワーニング履歴が表示されます。 [▲][▽]を押して、発生順に発生日時(年月日時分)とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。
リスト	装置の設定内容をプリントします。

情報を表示させる

- 1** ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押し、
(FUNC3) キーを押す
- 2** **▲** **▼** を押して ”情報” を選び、
ENTER キーを押す
 - ・情報メニューが表示されます。
- 3** **▲** **▼** を押して参照したい情報を選ぶ
 - ・「情報メニュー一覧表」を参照して、表示する情報を選びます。
- 4** **ENTER** キーを押す
 - ・手順 3 で [リスト] を選んだ場合、装置の設定内容がプリントされます。
- 5** 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

第4章 お手入れ



この章では ...

日常行っていただくお手入れ方法やインクボトルのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ	4-2	リフレッシュ間隔を設定する	4-18
長期間使用しない場合は	4-2	クリーニング間隔とタイプを設定する	4-18
お手入れ上のご注意	4-2	消耗品の交換	4-19
外装のお手入れ	4-2	(ゴムワイパー使用時) ワイパー/ワイパー吸	
テーブルの清掃	4-2	収材を交換する	4-19
メンテナンスメニューについて	4-4	(吸引ワイパー使用時) ノズルキャップを交換	
メンテナンスメニュー一覧表	4-5	する	4-19
キャッピングステーションのメンテナンス	4-6	吸引かきとりワイパー用ノズルキャップを交換	
ワイパーとキャップの清掃	4-6	する	4-20
ミストフィルターの清掃	4-7	ミストフィルターを交換する	4-21
ノズル洗浄	4-8	ミストフィルター BOX を交換する	4-22
ノズル洗浄 (PR-200 インク使用時)	4-9	LED ガラスを交換する	4-22
インク排出路の洗浄	4-11	廃インクタンク確認メッセージが表示されたら	
長期間使用しない場合	4-11	4-23
サブタンクメンテナンス	4-13	廃インクタンク確認メッセージが表示される前	
ホワイトメンテナンス	4-13	に廃インクタンクを交換する場合	4-24
ヘッド周辺の清掃	4-13	吸引ワイパーの廃インクタンク確認ワーニング	
ヘッドノズル面のメンテナンス液 11 を使用し		が表示されたら (UJF-3042MkII/6042MkII のみ)	
た清掃	4-14	4-24
LED ランプ底面とミストフィルター底面の清		吸引ワイパーの廃インクタンク確認ワーニング	
掃	4-15	が表示される前に廃インクタンクを交換する場	
ノズルリカバリー機能	4-16	合	4-25
設定値をリセットする	4-17	インクボトルキャップの交換	4-25
UV ランプの使用状況を確認する	4-17	不凍液混合水を補充する	4-26
インクオーバーフローを解消する	4-17	不凍液混合水を補充する	4-27
オートメンテナンス機能	4-18		

日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れに使用する消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。

消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧になれます。

<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>

長期間使用しない場合は

1週間以上使用しない場合は、インクの排路をクリーニングしてください(☞ P.4-11)。その後、本機を保管してください。



- ・主電源は、常時オンでお使いください。
- ・セットしてあるメディアを取り除いてください。

お手入れ上のご注意

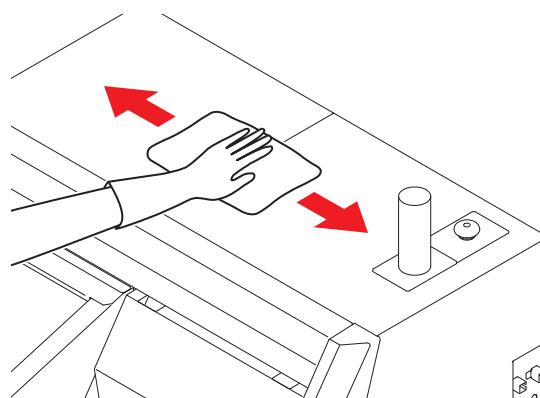
【重要】

- ・紫外線硬化インク（UVインク）は、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面はもちろん、ヘッド周辺へは、水またはアルコールを付着させないようご注意ください。
- ・本機は、絶対に分解しないでください。感電および破損の原因になります。
- ・本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損の原因になります。
- ・お手入れは、主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。これらは思ひぬ事故が発生する原因になります。
- ・ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形するおそれがあります。
- ・本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障するおそれがあります。
- ・本機は紫外線硬化インク（UVインク）を使用します。
- ・お手入れの際には、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、固く絞ってから拭き取ってください。



テーブルの清掃

- ・主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。

汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

● 吸着テーブル30または吸着テーブル30Pをご使用の場合



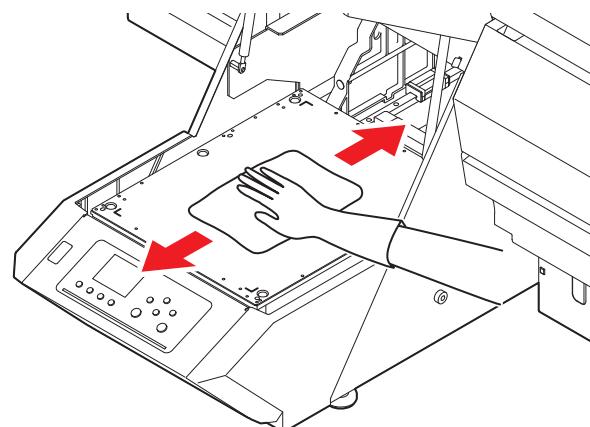
- ・テーブル清掃に、アセトンやIPA等の有機溶剤を使用しないでください。テーブルが破損する恐れがあります。



- ・本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- ・やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで、ゴミやインク固形物などをこまめに除去してください。
- ・汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。
- ・テーブル周囲の溝やネジ穴などは、特に汚れがたまりやすいため、こまめに清掃をしてください。
- ・板面に硬化してしまったインクを、ヘラ等を使って除去することも可能ですが、板面をキズ付けないよう十分注意してください。
- ・インクが付着している場合は、エタノールを浸み込ませた布等で拭き取ってください。この時、エタノールをテーブルに直接散布または噴霧しないでください。



● 上記以外のテーブルをご使用の場合



- ・テーブル清掃に、アセトンやIPA等の有機溶剤を使用しないでください。本機の故障につながる恐れがあります。



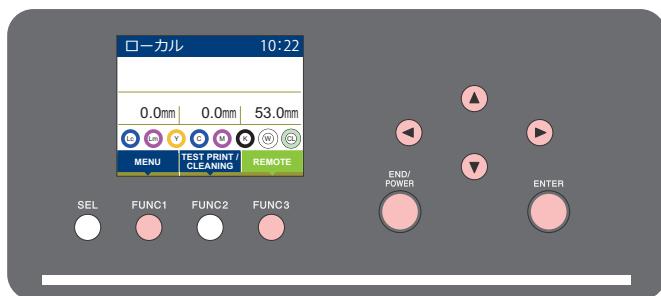
- ・本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- ・やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで、ゴミやインク固形物などをこまめに除去してください。
- ・汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。
- ・テーブル周囲の溝やネジ穴などは、特に汚れがたまりやすいため、こまめに清掃をしてください。
- ・板金面に硬化してしまったインクを、ヘラ等を使って除去することも可能ですが、板金面をキズ付けないよう十分注意してください。
- ・インクが付着している場合は、エタノールを浸み込ませた布等で拭き取ってください。この時、エタノールをテーブルに直接散布または噴霧しないでください。

メンテナンスメニューについて

本機のメンテナンスをするための各種設定です。
メンテナンス設定で設定できる内容は、次の項目です。



- FUNC1 : メンテナンスメニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替えるときに押す
- FUNC3 : 次の画面に切り替えるときに押す
- ⒶⒷ⓫⓫ : 設定項目を選択するときに押す
- ENTER : メンテナンス機能を使用するときに押す

メンテナンスメニュー一覧



メンテナンスメニュー一覧表

項目	設定値	内 容
ステーションメンテ	キャリッジやステーション周辺のメンテナンスを行います。	
	キャリッジアウト (☞ P.4-6)	キャリッジを移動し、キャップ周辺やヘッド、ワイパーなどの清掃を行います。
	廃インクタンク (☞ P.4-11)	廃インクタンクの使用カウントをリセットまたは補正します。
	排路洗浄 (☞ P.4-11)	インク排出路の洗浄を行います。
	ワイパー/吸収材 交換 (☞ P.4-19)	ゴムワイパーと吸収材の交換をするときに使用します。ゴムワイパー交換を行うと、本機で管理されていたワイパー使用回数がリセットされます（吸引ワイパーを使用する場合は表示されません）。
	ノズル洗浄 (☞ P.4-9)	ノズル面をメンテナンス液で浸し、ノズル抜けや曲がりなどの復旧を行います。
	保管洗浄 (☞ P.4-11)	本機を長期間使わないときに行います。あらかじめノズル洗浄と排路洗浄を行い、本機を快適な状態に保ちます。
	吸引ワイパー廃タンクを交換 (☞ P.4-24)	吸引ワイパーを使用する場合のみ表示します。吸引ワイパーの廃インクタンクを交換すると、本機で管理されていた吸引ワイパーの廃液カウントがリセットされます。
ノズルリカバリ (☞ P.4-16)	復旧しないノズルがある場合、他のノズルで補完してプリントする機能です。	
	作図	パターンをプリントし、ノズル詰まりを起こしているノズルを確認します。
	登録	“作図”で確認した不良ノズルを登録します。
	リセット	登録した不良ノズルをリセットします。
UVランプ (☞ P.4-17)	UV 照射時間	今までのUVランプの照射時間が表示されます。
オーバーフロー メンテ (☞ P.4-17)		サブタンク内の過剰なインクを排出し、インクオーバーフローを解消します。
オートメンテナンス (☞ P.4-18)		各種メンテナンス機能を自動的に行います。各々のメンテナンス実行間隔を設定してください。
	リフレッシュ	1h リフレッシュ動作の間隔を設定します。
	クリーニング間隔	12h ヘッドクリーニングの動作間隔を設定します。
不凍液混合水の充 填 (☞ P.4-26)		温水ユニットやヘッドの故障を防ぐため、不凍液混合水の充填を行います。
サブタンクメンテ ナンス (☞ P.4-13)	ノーマル	
	ハード	多量ノズル抜けが復旧しない場合に行います。
ホワイトメンテナ ンス (☞ P.4-13)		多量ホワイトノズル抜けが復旧しない場合に行います。 ホワイト搭載インクセットのみ表示します。

キャッシングステーションのメンテナンス

キャッシングステーションにあるインクキャップやワイパーなどのメンテナンスをします。(ステーションメンテナンス)

- 重要!** • ノズル状態を正常に保つため、ワイパーの清掃はこまめに実施してください。

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような動きをしています。

- **ワイパー** : ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- **インクキャップ** : ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本機を使用していると、インクやホコリなどでワイパー やキャップが汚れています。

ヘッドクリーニングを実行 (☞ P.2-8) しても、ノズル抜けが解消されない場合は、F-200 / LF-200 メンテナンス液と清掃棒を使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具	
• F-200 / LF-200 メンテナンス液 (SPC-0568) またはメンテナンス洗浄液 15 (ML015-Z-K2 / ML015-Z-B1) ^{*1}	
• UJ 清掃棒	• ポリスピット (161-22-25-02)
• 手袋	• 保護メガネ

*1. メンテナンス洗浄液 15 は F-200/LF-200 の代替可能です。



- キャッシングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。
- キャリッジを手でキャッシングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、[FUNC1] キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(☞ P.4-6 手順 1 ~ 2)

ワイパーとキャップの清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

- 重要!** • ワイパーを清掃してもノズル抜けやボタ落ちが解消しない場合、ワイパー交換をお試しください。
• ワイパーの汚れがひどい場合、または傷がある場合は、ワイパーを交換してください。(☞ P.4-19)

1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** を押す

2 **[▲▼]** を押して “メンテナンス” を選び、**[ENTER]** キーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

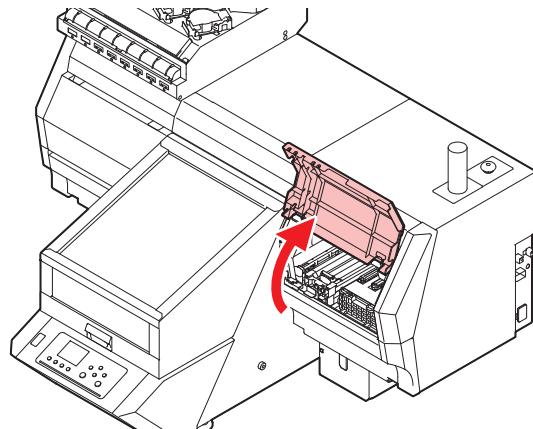
3 **[ENTER]** キーを押す

- “ステーションメンテ” が選択されます。

4 **[ENTER]** キーを押す

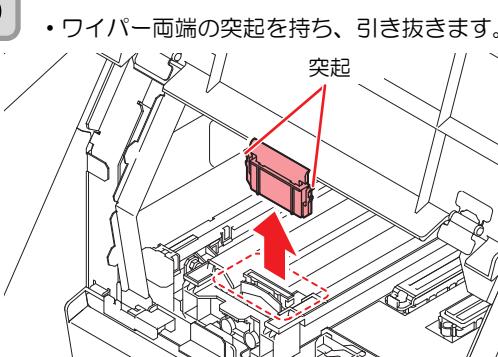
- “キャリッジアウト” が選択され、キャリッジが移動します。

5 右側のメンテナンスカバーを開ける



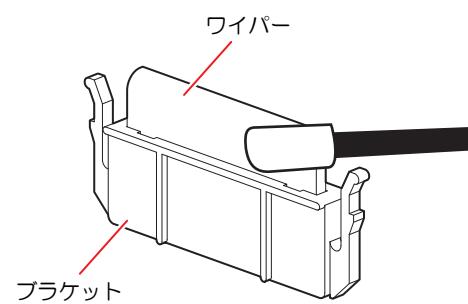
- ゴムワイパーを使用する場合は、手順 6 ~ 手順 8 を実施してください。

6 (ゴムワイパー使用時) ワイパーを取り出す



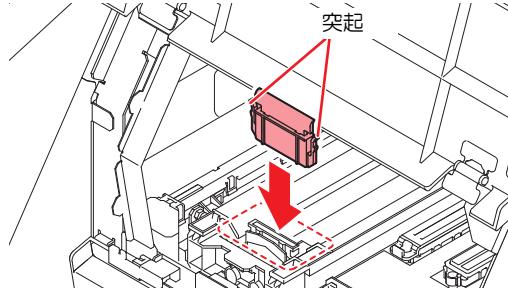
7 (ゴムワイパー使用時) ワイパーとブラケットを清掃する

- ワイパーとブラケットに付着したインクを、F-200 / LF-200 メンテナンス液を含ませた清掃棒で拭き取ります。メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。



8 (ゴムワイパー使用時) ワイパーを元の位置に戻す

- ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。



- 吸引ワイパーを使用する場合は、手順 9 を実施してください。

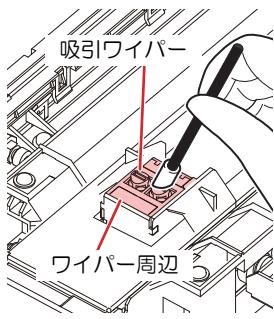
9

(吸引ワイパー使用時) 吸引ワイパーを清掃する

- ワイパーとワイパー周辺に付着したインクを、F-200 / LF-200 メンテナンス液を含ませた清掃棒で拭き取ります。
- メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。



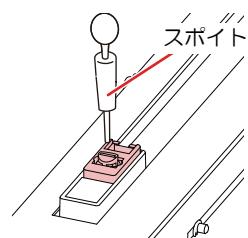
UJF-3042MkII/6042MkII の場合



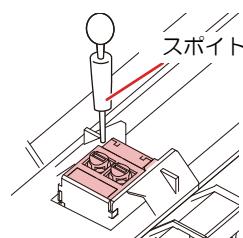
UJF-3042MkII e/6042MkII e の場合

● ワイパーチューブ詰まり予防のため、週1回 チューブを清掃してください。

- F-200 / LF-200 メンテナンス液をスポットに3cc 入れる。
 - 液量はスポットの目盛を参考にしてください。
- 吸引ワイパーの口にメンテナンス液を流し込む。
 - 流し込む速度の目安: 1cc/秒



UJF-3042MkII/6042MkII の場合

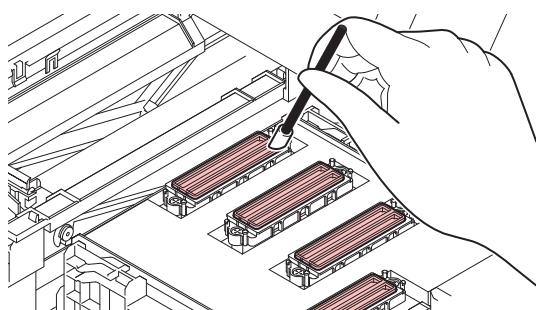


UJF-3042MkII e/6042MkII e の場合

10

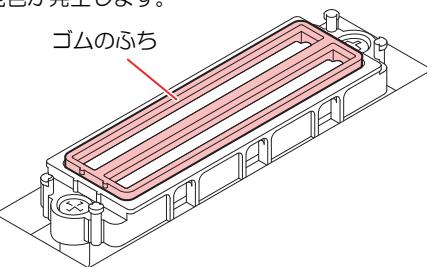
キャップゴムを清掃する

- キャップゴムに付着したインクを、F-200 / LF-200 メンテナンス液を含ませた清掃棒で拭き取ります。
- メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。



重要!

- ゴムのふちにインクや液が残らないように拭き取ってください。インクが残ると、ノズル抜けや混色が発生します。



11

清掃が終了したら、**ENTER**キーを押す

12

メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER**キーを押す

- 初期動作後、手順1の表示に戻ります。

ミストフィルターの清掃

1

ローカルで、**FUNC1 (MENU)** を押す

2

▲ **▼** を押して“メンテナンス”を選び、**ENTER**キーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

3

ENTERキーを押す

- “ステーションメンテ”が選択されます。

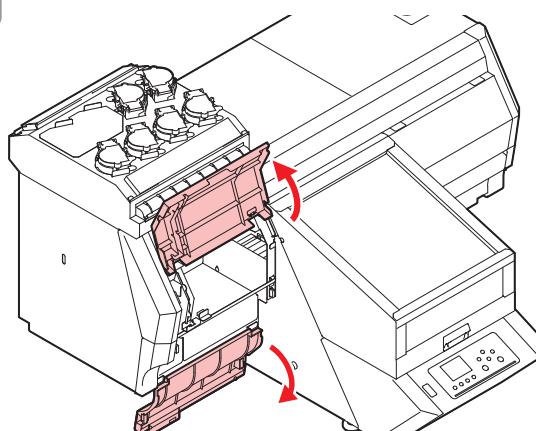
4

ENTERキーを押す

- “キャリッジアウト”が選択され、キャリッジが移動します。

5

左側のメンテナンスカバーを開ける

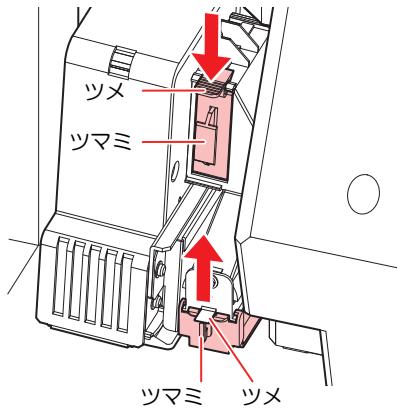


4

6

ミストフィルターを取り出す

- ミストフィルターは2ヶ所にあります。
- ツメを矢印の方向に押しながら、ツマミを手前に引いて取り出します。



7

フィルターを清掃する

- ・フィルターを取り出し、ペーパータオルなどで押さえて汚れを落とします。
- ・フィルターケースに付着した汚れを拭き取ります。

〔重要!〕

- ・フィルターについていたインクが液化するなど、汚れがひどい場合は、フィルターを交換してください。(☞ P.4-21)



8

ミストフィルターを元の位置に戻す

9

メンテナンスカバーを閉じ、ENTERキーを押す

- ・初期動作後、ローカルに戻ります。

ノズル洗浄

1

ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2

▲▼を押して“メンテナンス”を選び、ENTERキーを押す

- ・メンテナンスマニューが表示されます。

3

ENTERキーを押す

- ・“ステーションメンテ”が選択されます。

4

▼を押して、ENTERキーを押す

- ・“ノズル洗浄”が選択され、キャリッジが移動します。

5

メンテナンスカバーを開ける

6

(ゴムワイパー使用時) ワイパーとプラケットを清掃する

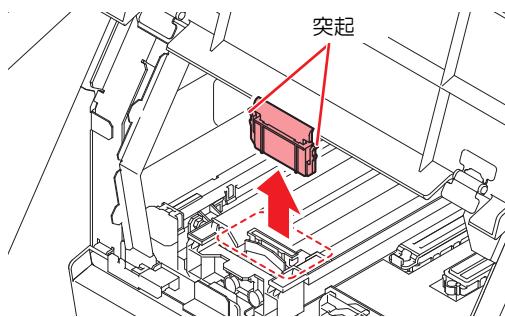
- ・吸引ワイパーを使用する場合は、手順7を実施してください。

(1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く

(2) クリーンスティックにF-200 / LF-200メンテナンス液を含ませて清掃する

- ・メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。

(3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



7

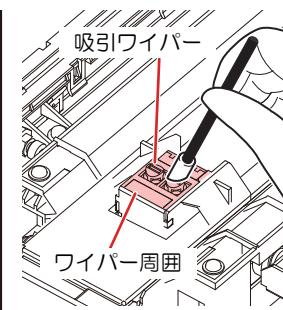
(吸引ワイパー使用時) 吸引ワイパーとワイパー周囲を清掃する

- ・クリーンスティックにF-200 / LF-200メンテナンス液を含ませて清掃します。

- ・メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。



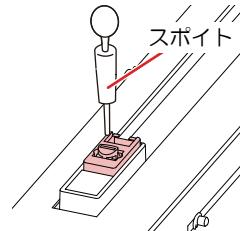
UJF-3042MkII/6042MkII の場合



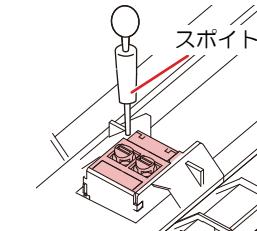
UJF-3042MkII e/6042MkII e の場合

● ワイパーチューブ詰まり予防のため、週1回
チューブを清掃してください。

- (1) F-200 / LF-200 メンテナンス液をスポットに3cc 入れる。
・液量はスポットの目盛を参考にしてください。
- (2) 吸引ワイパーの口にメンテナンス液を流し込む。
・流し込む速度の目安: 1cc/秒



UJF-3042MkII/6042MkII
の場合

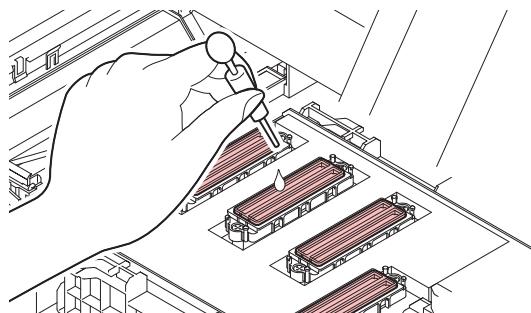


UJF-3042MkII e/6042MkII e
の場合

8

メンテナンス液を、キャップ一杯に満たす

- ・スポットに F-200 / LF-200 メンテナンス液を取り、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで液を満たしてください。



9

メンテナンスカバーを閉め、**ENTER**キーを押す

10

▲ **▼**を押して液の放置時間を設定し、
ENTERキーを押す

- ・設定値: 1 ~ 10分 (1分単位)
・キャップに満たした液を吸引します。
・設定した時間が経過するまで、ディスプレイには“しばらくお待ちください”が表示されます。

重要!

- ・ノズルリカバリー (P.4-16) やこの洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

ノズル洗浄 (PR-200 インク使用時)

重要!

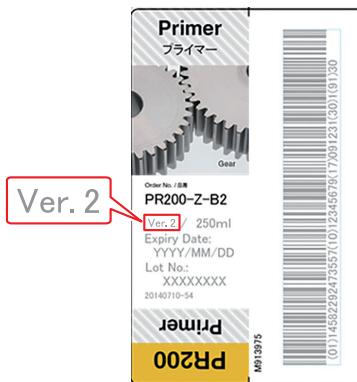
- ・PR-200 を搭載している機種は、ノズル詰まりが発生することがあります。インクのVer.に関わらず1週間に2回程度を目安にノズル洗浄してください。(使用頻度が高い場合は短期間のお手入れをお願いします。)

[ラベル Ver. 表記位置]

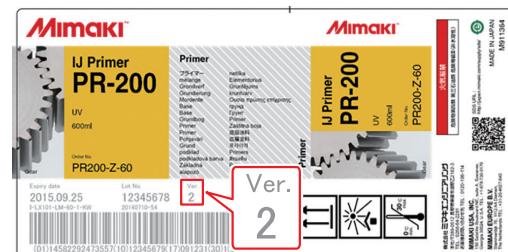
- ・220ml カートリッジ



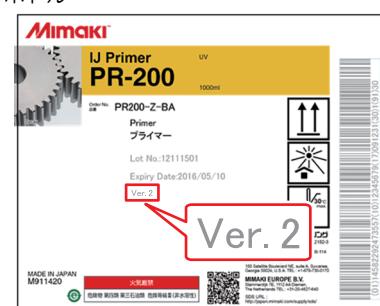
- ・250ml ボトル



- ・600ml パック



- ・1L ボトル



必要なメンテナンス液

- ・F-200/LF-200 メンテナンス液 (SPC-0568) または
メンテナンス洗浄液 15 (ML015-Z-K2 / ML015-Z-B1)*1
・PR-200 メンテナンス液 (ML013-Z-K2 / ML013-Z-B1)

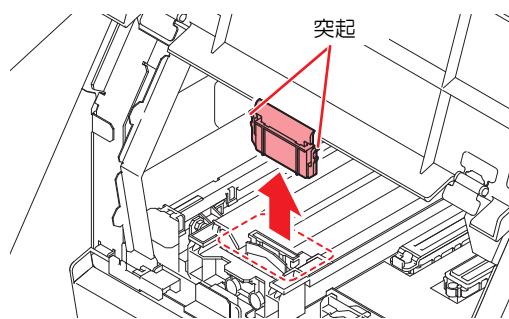
*1. メンテナンス洗浄液 15 は F-200/LF-200 の代替可能です。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す
- 2 **▲ ▼**を押して“メンテナンス”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 **ENTER**キーを押す
 - ・“ステーションメンテ”が選択されます。

- 4 **▼**を押して、**ENTER**キーを押す
 - ・“ノズル洗浄”が選択され、キャリッジが移動します。
- 5 ステーション側のメンテナンスカバーを開ける
- 6 (ゴムワイパー使用時) ワイパーとブラケットを清掃する

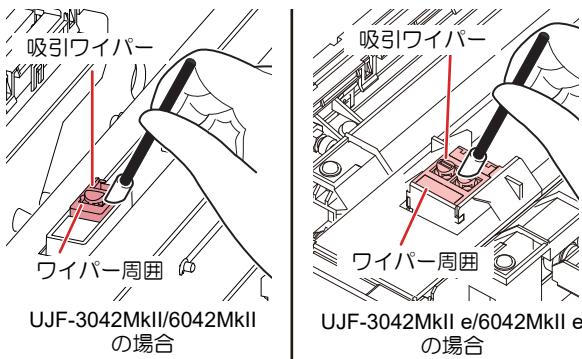
- ・吸引ワイパーを使用する場合は、手順7を実施してください。

- (1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにF-200/LF-200メンテナンス液を含ませて清掃する
 - ・F-200/LF-200メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



- 7 (吸引ワイパー使用時) 吸引ワイパーとワイパー周囲を清掃する

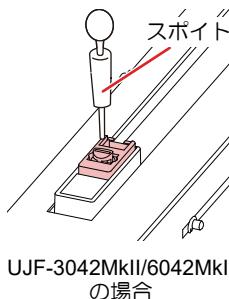
- ・クリーンスティックにF-200/LF-200メンテナンス液を含ませて清掃します。
- ・F-200/LF-200メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。



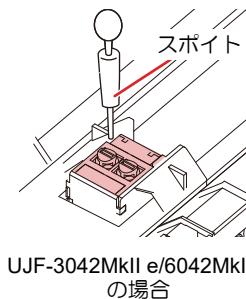
- ワイパーチューブ詰まり予防のため、週1回チューブを清掃してください。

- (1) F-200/LF-200メンテナンス液をスポットに3cc入れる。
 - ・液量はスポットの目盛を参考にしてください。

- (2) 吸引ワイパーの口にメンテナンス液を流し込む。
 - ・流し込む速度の目安：1cc/秒



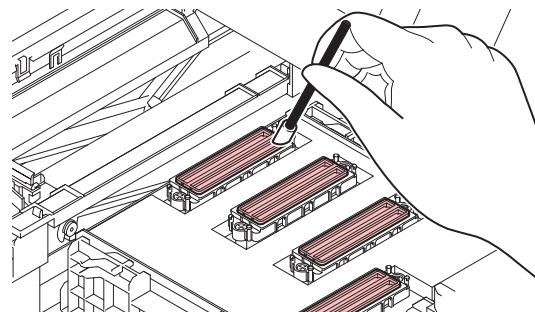
UJF-3042MkII/6042MkII の場合



UJF-3042MkII e/6042MkII e の場合

- 8 PR-200搭載ヘッドのキャップゴムを清掃する
 - ・キャップゴムに付着したインクを、F-200/LF-200メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
 - ・F-200/LF-200メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
 - ・このとき、自動的に排路が洗浄されます。

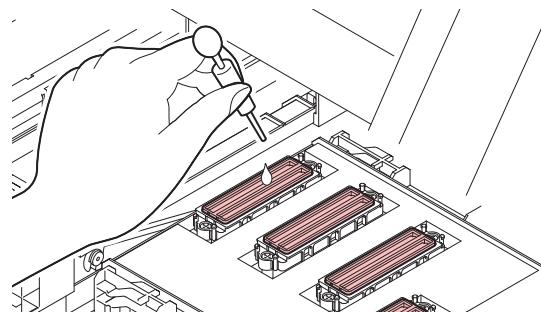
- 重要!** • ワイパー、ブラケット、キャップゴムの清掃には必ずF-200/LF-200メンテナンス液を使い、PR-200メンテナンス液(ML013-Z-K2 / ML013-Z-B1)は使用しないようにしてください。



- 9 PR-200メンテナンス液(C-ML013-Z-B2-1-KW)を、PR-200搭載ヘッドのキャップにのみ一杯に満たす

- ・スポットにPR-200メンテナンス液を取り、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで液を満たしてください。

- 重要!** • ノズル詰まりの原因となるため、PR-200搭載ヘッドのキャップ以外にPR-200メンテナンス液を使用しないでください。



- 10 メンテナンスカバーを閉め、**ENTER**キーを押す

- 11 **▲ ▼**を押して液の放置時間を設定し、**ENTER**キーを押す

- ・設定値：1分（1分単位）
- ・放置時間を変更しないでください。
- ・キャップに満たした液を吸引します。
- ・設定した時間が経過するまで、ディスプレイには“しばらくお待ちください”が表示されます。

12 PR-200 搭載ヘッドのヘッドクリーニング（ハード）を1回実施する

13 テストプリントをして、ノズルの状態を確認する

- ・ノズル抜けが見られる場合は、もう一度ヘッドクリーニング（ハード）を実行し、ノズルの状態を確認してください。

- 重要！**
 - ・ノズル抜けが解消されない場合は、この洗浄を3回まで繰り返してください。
 - 3回繰り返しても改善しない場合は、販売店、または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

インク排出路の洗浄

インク排出路内のインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的に（1週間に1回程度）インク排出路の洗浄をしてください。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** を押す

2 **▲** **▼** を押して“メンテナンス”を選び、**ENTER** キーを押す

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

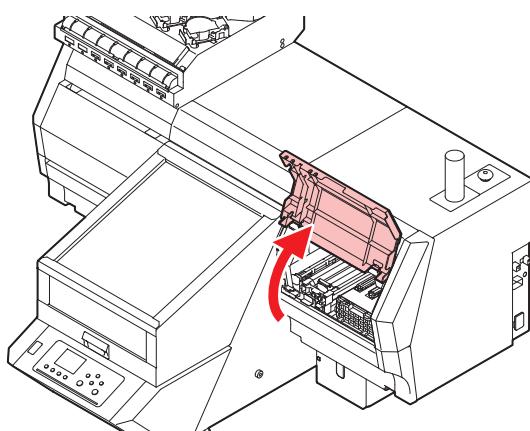
3 **ENTER** キーを押す

- ・“ステーションメンテ”が選択されます。

4 **▼** を2回押して、**ENTER** キーを押す

- ・“排路洗浄”が選択され、キャリッジがプラテン上に移動します。
- ・空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

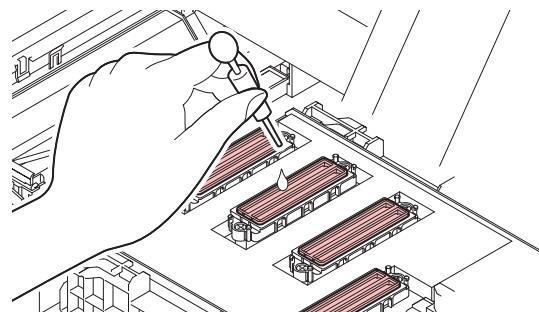
5 右側のメンテナンスカバーを開ける



6

F-200/LF-200 メンテナンス液を、キャップ一杯に満たす

- ・ス皮トに F-200 / LF-200 メンテナンス液を取り、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで液を満たしてください。



7

メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

長期間使用しない場合

1週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本機を保管してください。

重要！

- ・主電源は、常時オンでお使いください。ヘッドのノズル保護のため、ノズル詰まりを防ぐ機能が自動的に働きます。
- ・主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

事前に確認してください

[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか？

- ・洗浄動作の際に、液やインクの吸引を行います。このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。



- ・ワーニングメッセージ“廃インクタンク確認”が表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-23 「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

1

ローカルで、**FUNC1 (MENU)** を押す

2

▲ **▼** を押して“メンテナンス”を選び、**ENTER** キーを押す

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

3

ENTER キーを押す

- ・“ステーションメンテ”が選択されます。

4

▼ を3回押して、**ENTER** キーを押す

- ・“保管洗浄”が選択され、キャリッジがプラテン上に移動します。

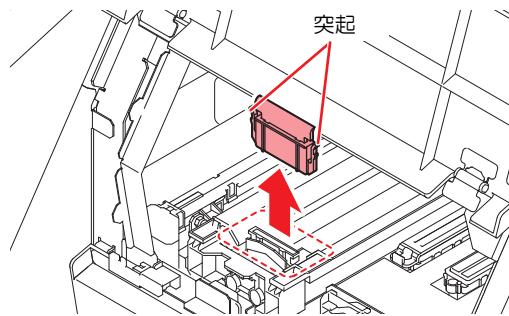
4

5

(ゴムワイパー使用時) ワイパーとブラケットを清掃する

- 吸引ワイパーを使用する場合は、手順6を実施してください。

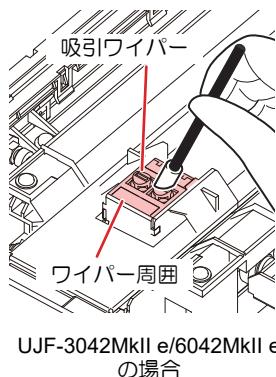
- メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- クリーンスティックにF-200/LF-200メンテナンス液を含ませて清掃する
 - メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
- ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



6

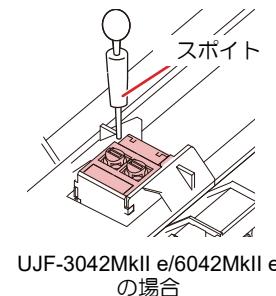
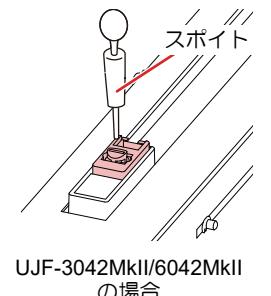
(吸引ワイパー使用時) 吸引ワイパーとワイパー周囲を清掃する

- クリーンスティックにF-200/LF-200メンテナンス液を含ませて清掃します。
- メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。



● ワイパーチューブ詰まり予防のため、週1回 チューブを清掃してください。

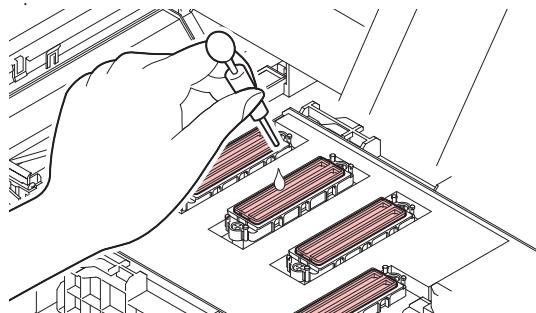
- F-200/LF-200メンテナンス液をスポットに3cc入れる。
 - 液量はスポットの目盛を参考にしてください。
- 吸引ワイパーの口にメンテナンス液を流し込む。
 - 流し込む速度の目安: 1cc/秒



7

F-200/LF-200メンテナンス液を、キャップ一杯に満たす

- スポットにメンテナンス液を取り、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで液を満たしてください。



8

ENTERキーを押す

重要!

- 液を満たすまで、ディスプレイには[シユウリヨウ(ツギヘ):ENT]が表示されます。手順7の作業が完了しメンテナンスカバーを閉じてから[ENTER]キーを押してください。液を満たす前に[ENTER]キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

9

メンテナンスカバーを閉め、ENTERキーを押す

10

▲▼を押して、液の放置時間を設定する

- 設定値: 1~10分(1分単位)

11

ENTERキーを押す

- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがメンテナンス位置に移動します。

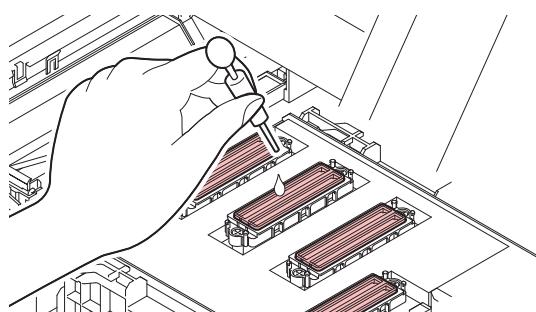
12

メンテナンスカバーを開ける

13

F-200/LF-200メンテナンス液を、キャップ一杯に満たす

- スポットにメンテナンス液を取り、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで液を満たしてください。



14

メンテナンスカバーを閉じ、ENTERキーを押す

- 初期動作後、手順2の表示に戻ります。

サブタンクメンテナンス

クリーニングを行っても多量ノズル抜けが復旧しない場合、または復旧してもすぐにノズル抜けが発生する場合に実行してください。

- 1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** を押す
- 2 **▲▼**を押して“メンテナンス”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 **▲▼**を押して“サブタンクメンテナンス”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・“サブタンクメンテナンス”が選択されます。
- 4 **▲▼**を押してモードを選び、**ENTER**キーを押す
 - ・ノーマル：サブタンク内のインクを半分ほど排出し、新しいインクに入れ替えます。
 - ・ハード：サブタンク内のインクをすべて排出し、新しいインクに入れ替えます。
 - ・特色：サブタンク内のインク排出を2回行ったあと充填します。
手順5では特色充填ヘッドのみ選択可能です。
- 5 **▲▼**を押してヘッドを選択し、**[FUNC2] (▼)**を押す
 - ・ヘッド選択後に [FUNC2] キーを押して、チェックボックスにチェックを入れてください。
チェックが入っているヘッドのみサブタンクメンテナンスを行います。
- 6 **ENTER**キーを押す
 - ・サブタンクメンテナンスを実行します。

ホワイトメンテナンス

クリーニングを行っても多量ホワイトノズル抜けが復旧しない場合、または復旧してもすぐにホワイトノズル抜けが発生する場合に実行してください。

- 1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** を押す
- 2 **▲▼**を押して“メンテナンス”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 **▲▼**を押して“ホワイトメンテナンス”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・“ホワイトメンテナンス”が選択されます。
- 4 **ENTER**キーを押す
 - ・ホワイトメンテナンスを実行します。

ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。スライダー下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、清掃棒などでこすり落してください。その際、ヘッドのノズル面に傷をつけないように注意してください。



- ・印字物の形状や素材の影響により、ヘッド周辺にはインクが固着しやすくなり作図結果に悪影響を与える事があります。
汚れ度合に応じてメンテナンス頻度を増やしてください。

清掃に必要な道具

・UJ 清掃棒	・手袋
・保護メガネ	・F-200/LF-200 メンテナンス液 (SPC-0568) またはメンテナンス液 15(ML015-Z-K2 / ML015-Z-B1) ¹
・粘着力の弱いテープ（ドラフティングテープ等）	
・クリーンスティック (SPC-0527)	
・メンテナンス液 11 (ML011-Z-K2 / ML011-Z-B1)	

¹ メンテナンス洗浄液 15 は F-200/LF-200 の代替可能です。



- ・清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。
- ・インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

- 1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** を押す

- 2 **▲▼**を押して“メンテナンス”を選び、**ENTER**キーを押す

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

- 3 **ENTER**キーを押す

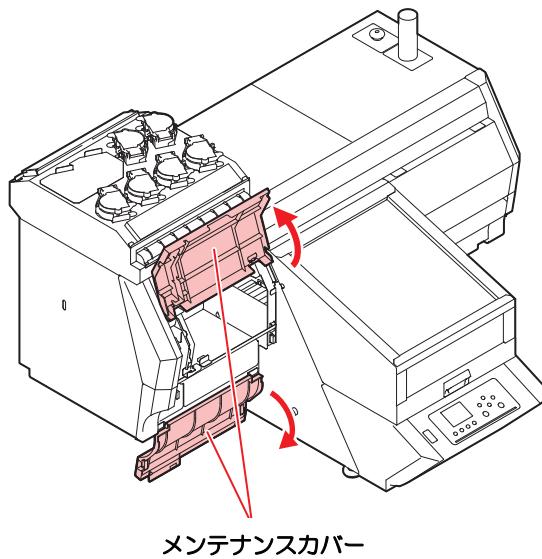
- ・“キャリッジアウト”が選択されます。

- 4 **▼**を押して、**ENTER**キーを押す

- ・キャリッジが、本機の左端まで移動します。

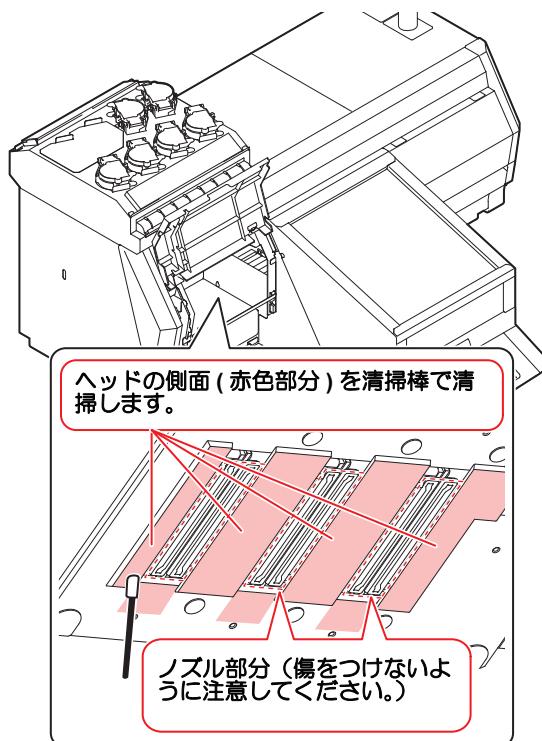
4

5 メンテナンスカバーを開ける



6 ヘッドの側面などを清掃する

- ヘッドの側面などに付着したインクを、F-200 / LF-200 メンテナンス液を含ませた清掃棒で拭き取ります。
- ノズル面に傷をつけないように注意してください。



7 清掃が終了したら、(ENTER)キーを押す

8 メンテナンスカバーを閉じ、(ENTER)キーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

ヘッドノズル面のメンテナンス液 11 を使用した清掃

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) を押す

2 ▲ ▼ を押して “メンテナンス” を選び、(ENTER) キーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 (ENTER) キーを押す

- “キャリッジアウト”が選択されます。

4 ▼ を押して、(ENTER) キーを押す

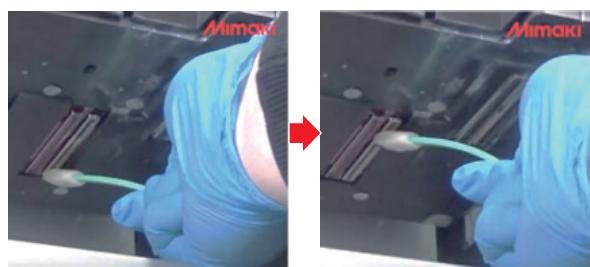
- キャリッジが、本機の左端まで移動します。

5 メンテナンスカバーを開ける

6 クリーンスティックにメンテナンス液11を染み込ませる

7 ヘッドの奥側から手前に向けてクリーンスティックで一列ずつノズル面全体を拭き、付着しているインクを取り除く

- 注意**
- インクカスやごみの付着、スポンジ部分の破れが発生したクリーンスティックでノズル面を清掃するとノズル詰まりの原因となります。適時交換してください。



方向：奥から手前

8 清掃が終了したら、(ENTER) キーを押す

9 メンテナンスカバーを閉じ、(ENTER) キーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

10 ヘッドクリーニングを行う

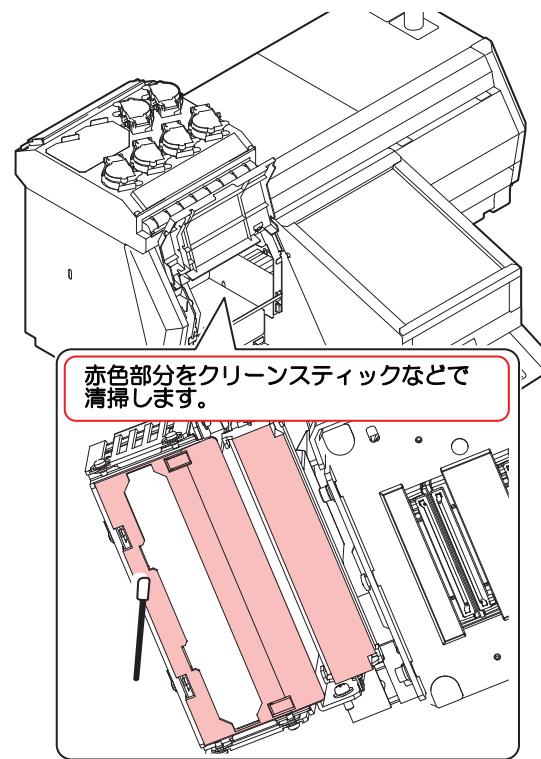
- P.2-8 「ヘッドクリーニング」手順 1 ~ 6 を参照して操作してください。

LED ランプ底面とミストフィルター底面の清掃

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** を押す
 - 2 **▲ ▼**を押して“メンテナンス”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・メンテナンスメニューが表示されます。
 - 3 **ENTER**キーを押す
 - ・“キャリッジアウト”が選択されます。
 - 4 **▼**を押して、**ENTER**キーを押す
 - ・キャリッジが、本機の左端まで移動します。
 - 5 左側のメンテナンスカバーを開ける
 - 6 LED ランプとミストフィルター底面を清掃する
- 汚れがひどい場合
- (1) クリーンスティックにアルコール系の溶液を含ませます。
 - (2) LED ランプ底面とミストフィルター底面に付着したインクを、「ポンポン」と叩くイメージで清掃してください。
- 重要!** • 擦る動きはしないでください。低反射処理が剥離する可能性があります。

● 埃が付着している場合

- (1) 粘着力の弱いテープ（ドラフティングテープ等）を該当部に置きます。
 - (2) 指で軽く押さえます。
 - (3) テープをはがします。
 - ・必要に応じて複数回行ってください。
- 重要!** • テープを抑える力は強すぎないように注意してください。低反射処理が剥離する可能性があります。



- 7 清掃が終了したら、**ENTER**キーを押す
- 8 メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER**キーを押す
 - ・初期動作後、ローカルに戻ります。

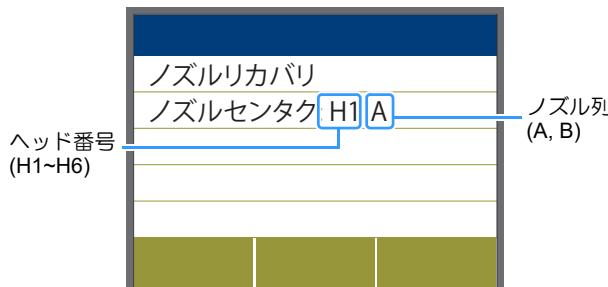
ノズルリカバリ機能

特定ノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルを代わりに使用（ノズルリカバリー）してプリントすることができます。

- 1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** を押す
- 2 **[▲▼]**を押して“メンテナンス”を選び、**[ENTER]**キーを押す
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 **[▲▼]**を押して“ノズルリカバリ”を選び、**[ENTER]**キーを押す
- 4 **[▲▼]**を押して“作図”を選び、**[ENTER]**キーを押す
 - ノズルパターンのプリントを開始します。
 - “登録”を選択すると、プリントをしないで、ノズル列選択手順（手順4）に移ります。
- ヘッドを上から見た図
- ノズルパターン
- ノズル列

- 5 **[▲▼]**を押して“登録”を選び、**[ENTER]**キーを押す

- 6 **[▲▼]**を押してノズルリカバリーをするノズル列を選び、**[ENTER]**キーを押す



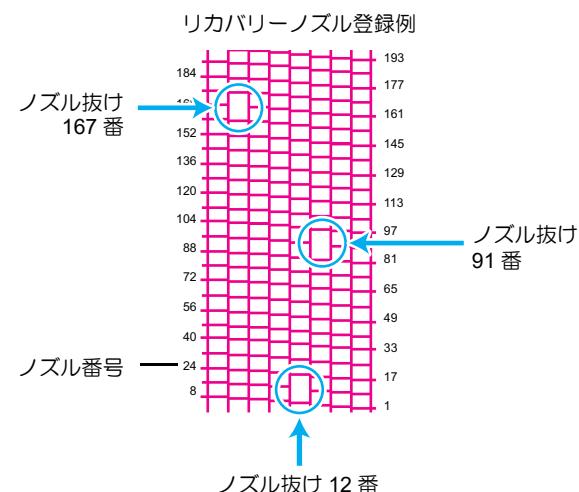
- 7 リカバリーが必要なノズル番号を登録し、**[ENTER]**キーを押す

- (1) **[▲▼]**を押して登録番号（1~10）を選択し、**[ENTER]**キーを押します。
- (2) **[▲▼]**を押してリカバリーするノズル番号を登録し **[ENTER]**キーを押します。



登録番号：1~10

リカバリーノズル番号：1~318, OFF



登録番号	リカバリーノズル番号	状態
1	12	ノズルリカバリーする
2	91	ノズルリカバリーする
3	167	ノズルリカバリーする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

- 8 終了するとき、**[END/POWER]**キーを数回押す

重要!

- 1 ノズル列あたり 10 個までノズルを登録できます。
- 本機能を使用しても、プリント時間は変わりません。
- 最低パスでプリントをした場合は、ノズルリカバリーが反映されません。
一度、試しプリントを行い確認してください。
- 特殊インクが見づらい場合、透明フィルムにプリントして確認してください。

- 9 ノズルが復旧した場合は、リカバリーをリセットする

設定値をリセットする

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す
- 2 **▲** **▼** を押して “メンテナンス” を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・メンテナンスマニューが表示されます。
- 3 **▲** **▼** を押して “ノズルリカバリ” を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して “リセット” を選び、**ENTER** キーを押す
- 5 **▲** **▼** と **(FUNC1) (">>** **(FUNC3) (<)** を押してリセットするノズル列選び、**ENTER** キーを押す
 - ・リセット確認のメッセージが表示されます。
- 6 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

UV ランプの使用状況を確認する

UV ランプの使用時間を確認したい場合

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す
- 2 **▲** **▼** を押して “メンテナンス” を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・メンテナンスマニューが表示されます。
- 3 “UV ランプ” を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・各 UV ランプユニットごとの使用時間が表示されます。
- 4 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

インクオーバーフローを解消する

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す
- 2 **▲** **▼** を押して “メンテナンス” を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・メンテナンスマニューが表示されます。
- 3 **(FUNC1) (<<)** を押す
- 4 **▲** **▼** を押して “オーバーフローメンテ” を選び、**ENTER** キーを押す
- 5 **▲** **▼** を押して、ヘッドを選択する
- 6 **ENTER** キーを押す
- 7 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

重要!

- ・1回の操作では解消しない場合、繰り返し行ってください。
- 3回繰り返しても解消しない場合、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。

ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。

定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。

(オートメンテナンス機能)

オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

- （重要！）**
- 手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。

機能名	説明
リフレッシュ	リフレッシュ間隔を設定します。
クリーニング	ヘッドクリーニング間隔を設定します。

- （重要！）**
- インクタンクエラーが発生している場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。廃インクタンクの交換を実施してください。（ P.4-23）
 - オートメンテナンス実行時には、廃インクタンクにインクが流れます。毎日、廃インクタンクの量を確認し、必要であれば廃棄してください。（ P.4-24）

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す

2 **▲** **▼** を押して“メンテナンス”を選び、**ENTER** キーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 **▲** **▼** を押して“オートメンテナンス”を選び、**ENTER** キーを押す

4 **ENTER** キーを押す

- “リフレッシュ”が選択されます。

5 **▲** **▼** を押してリフレッシュ間隔を設定し、**ENTER** キーを押す

- 設定値：OFF / 1 ~ 24h

6 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

クリーニング間隔とタイプを設定する

クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す

2 **▲** **▼** を押して“メンテナンス”を選び、**ENTER** キーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 **▲** **▼** を押して“オートメンテナンス”を選び、**ENTER** キーを押す

4 **▲** **▼** を押して“クリーニング”を選び、**ENTER** キーを押す

5 **▲** **▼** を押してクリーニング間隔を設定し、**ENTER** キーを押す

- 設定値：OFF / 1 ~ 168h

6 **▲** **▼** を押してクリーニングタイプを選び、**ENTER** キーを押す

- 設定値：ソフト / ノーマル / ハード

7 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。

消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧になれます。

<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>

(ゴムワイパー使用時) ワイパー / ワイパー吸収材を交換する

ワイパーおよびワイパー吸収材は消耗品です。ディスプレイにワーニングメッセージ “ワイパー / 吸収材交換” が表示されたら、ワイパー、ワイパー吸収材を確認・交換してください。

また、スライダー下面に付着したインクの清掃をしてください。

- 重要!**
- ・ワイパー / ワイパー吸収材交換のワーニングが表示された場合、ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ちなどが無いか確認してください。ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ちが無い場合は、そのままお使いになります。またワイパー吸収材にインクがたまっている場合はそのままお使いになれます。
 - ・クリーニングワイパーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** を押す

2 **▲** **▼** を押して “メンテナンス” を選び、**ENTER** キーを押す

- ・メンテナンスマニューが表示されます。

3 **ENTER** キーを押す

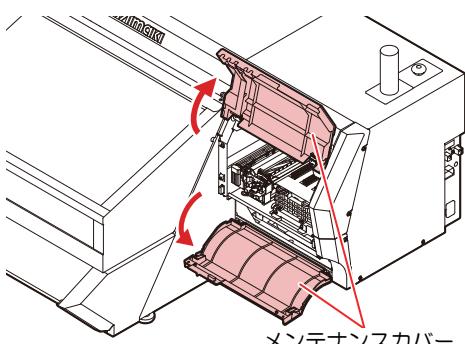
- ・“ステーションメンテ” が選択されます。

4 **▲** **▼** を押して “ワイパー交換” を選び、**ENTER** キーを押す

5 **ENTER** キーを押す

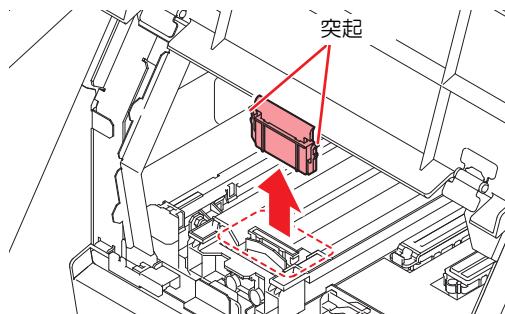
- ・キャリッジが左端に移動します。また、ワイパーが手前に移動します。

6 右側のメンテナンスカバーを開ける



7 ワイパーを取り出す

- ・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。

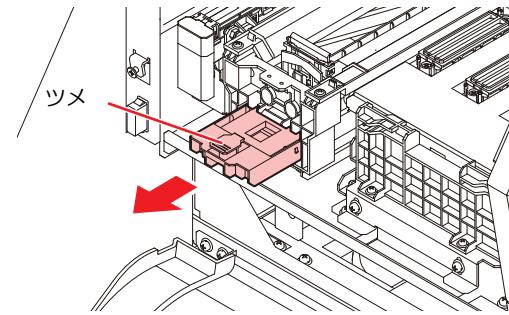


8 新しいワイパーを差し込む

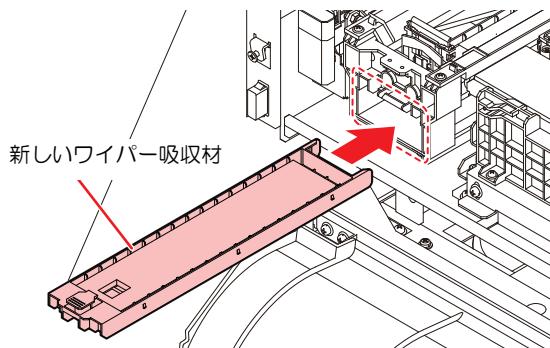
- ・ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。

9 ワイパー吸収材を取り出す

- ・ツメを下に押さえながら、引き抜きます。



10 新しいワイパー吸収材を取り付ける



11 メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

- ・初期動作後、ローカルに戻ります。

(吸引ワイパー使用時) ノズルキャップを交換する

傷や汚れがひどい場合に交換してください。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** を押す

2 **▲** **▼** を押して “メンテナンス” を選び、**ENTER** キーを押す

- ・メンテナンスマニューが表示されます。

3

ENTERキーを押す

- “ステーションメンテ”が選択されます。

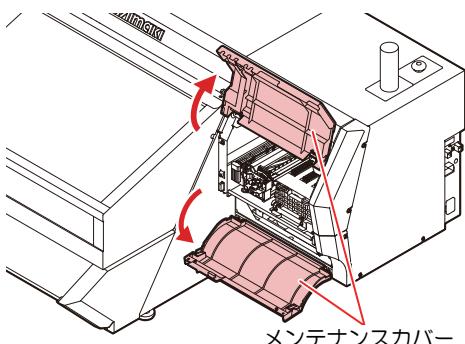
4

▼を押して、ENTERキーを押す

- キャリッジが移動します。

5

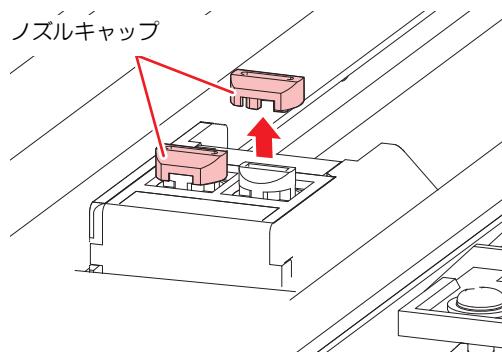
右側のメンテナンスカバーを開ける



6

ノズルキャップを取り出す

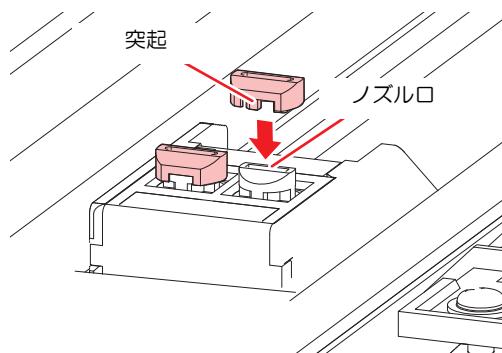
- ノズルキャップを持ち、引き抜きます。



7

新しいノズルキャップを挿し込む

- ノズルキャップの突起がノズル口に入るよう挿し込みます。

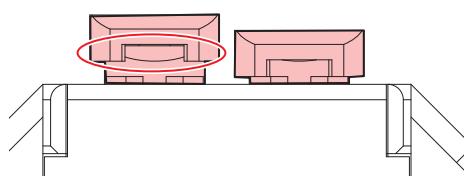


(重要!)

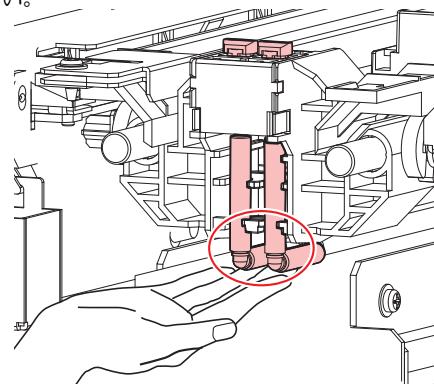
- 隙間がないように奥まで差し込んでください。

No Good

OK



- ノズル口が沈み込み、差し込みづらい場合は、チューブを下から手で支えて差し込んでください。



8

メンテナンスカバーを閉じ、ENTERキーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

吸引かきとりワイパー用ノズルキャップを交換する

傷や汚れがひどい場合に交換してください。

1

ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2

▲▼を押して“メンテナンス”を選び、ENTERキーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

3

ENTERキーを押す

- “ステーションメンテ”が選択されます。

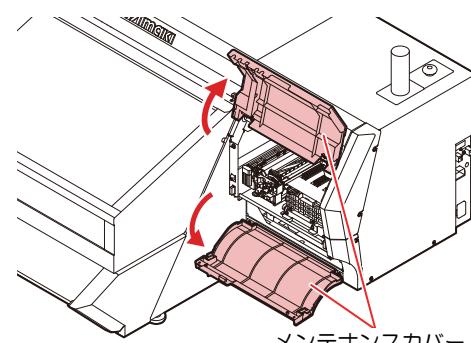
4

▼を押して、ENTERキーを押す

- キャリッジが移動します。

5

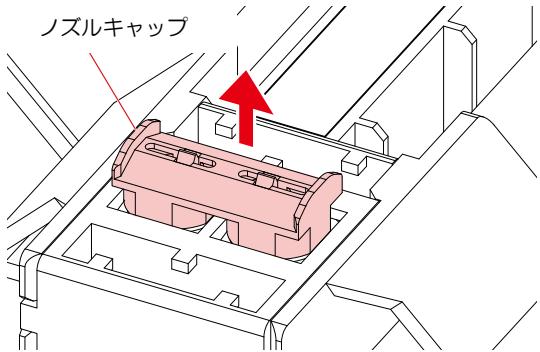
右側のメンテナンスカバーを開ける



6

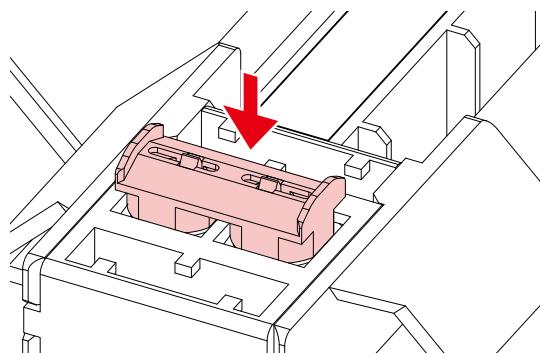
吸引かきとりワイパー用ノズルキャップを取り出す

- ノズルキャップを持ち、引き抜きます。



7

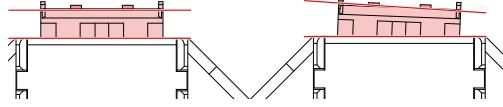
新しいノズルキャップを挿し込む



重要!

- 正面からみて、ノズルキャップが傾いていないか確認してください。

OK



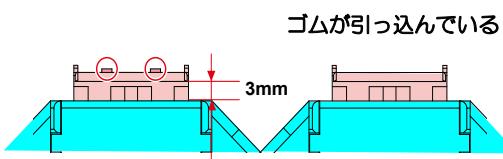
No Good

傾いている

重要!

- ゴムを押してゴムが引っ込まないことを確認してください。引っ込んでしまう場合は、ゴムが飛び出るまでノズルキャップを奥に押し込んでください。

OK



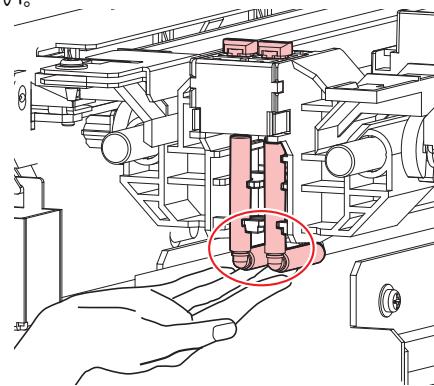
No Good

ゴムが引っ込んでいる

- 挿し込みの目安：吸引ノズルアタッチメント（水色）からノズルキャップ（ピンク色）のテーパー面まで 3 mm



- ノズル口が沈み込み、差し込みづらい場合は、チューブを下から手で支えて差し込んでください。



8

メンテナンスカバーを閉じ、ENTERキーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

ミストフィルターを交換する

1

ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2

▲▼を押して“メンテナンス”を選び、ENTERキーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

3

ENTERキーを押す

- “ステーションメンテ”が選択されます。

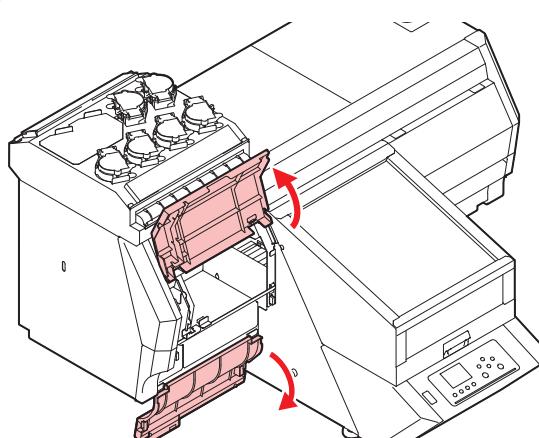
4

ENTERキーを押す

- “キャリッジアウト”が選択され、キャリッジが移動します。

5

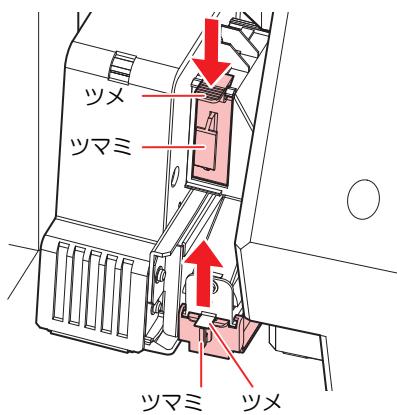
左側のメンテナンスカバーを開ける



4

6 ミストフィルターを取り出す

- ミストフィルターは2ヶ所にあります。
- ツメを矢印の方向に押しながら、ツマミを手前に引いて取り出します。



7 新しいフィルターに交換する

8 ミストフィルターを差し込む

9 メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER**キーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

ミストフィルター BOX を交換する

汚れがひどい場合は交換してください。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** を押す2 **▲** **▼** を押して“メンテナンス”を選び、**ENTER**キーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

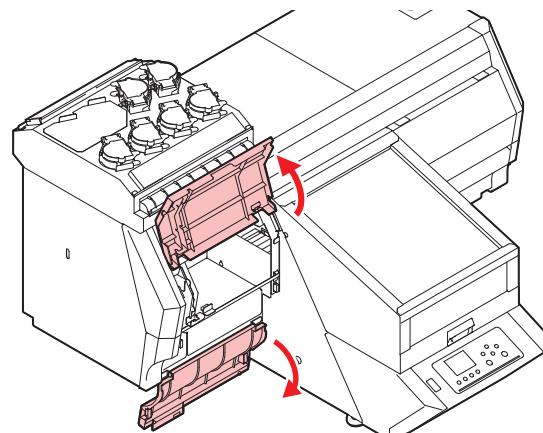
3 **ENTER**キーを押す

- “ステーションメンテ”が選択されます。

4 **ENTER**キーを押す

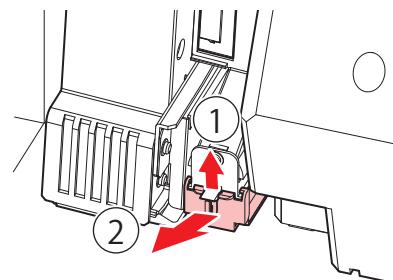
- “キャリッジアウト”が選択され、キャリッジが移動します。

5 左側のメンテナンスカバーを開ける



6 ミストフィルター BOX を外す。

- ツメを上方向に押しながら、ミストフィルター BOX のツマミを手前にスライドさせて外します。



7 ミストフィルターを外す。

- フィルターが汚れている場合は、ペーパータオルなどで押さえて汚れを落としてください。もしくは、新しいミストフィルター (SPC-0819) に交換してください。

8 新しいミストフィルター BOX にミストフィルターをセットする。

9 新しいミストフィルター BOX を元の位置にセットする。

- 力ちと音がするまで挿し込んで、ツメが固定されたことを確認してください。

10 交換が終わったらメンテナンスカバーを閉めて、**ENTER**キーを押す

LED ガラスを交換する

インクが硬化して汚れているとき、低反射材に汚れや剥がれがあるときは、新しいLEDガラスに交換してください。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** を押す

2  を押して“メンテナンス”を選び、
ENTERキーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

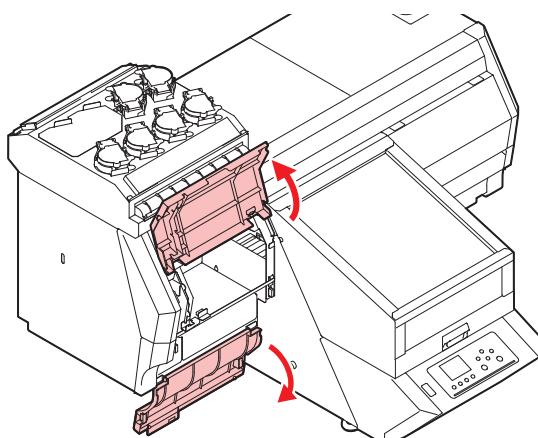
3 ENTERキーを押す

- “ステーションメンテ”が選択されます。

4 ENTERキーを押す

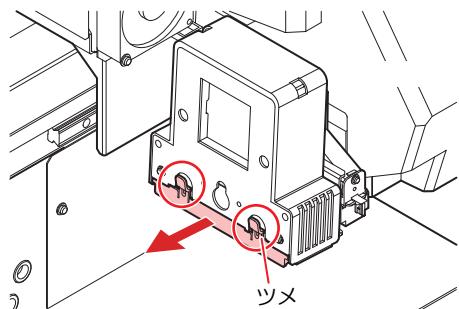
- “キャリッジアウト”が選択され、キャリッジが移動します。

5 左側のメンテナンスカバーを開ける



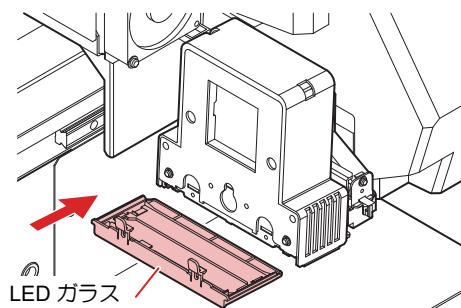
6 LED ガラスを外す。

- ツメを外してから、矢印の方向にスライドさせて外します。
- ツメを外すときに、力を入れすぎないようにご注意ください。ツメが折れてしまうおそれがあります。



7 新しい LED ガラスをセットする。

- カチッと音がするまで挿しこみ、ツメが固定されたことを確認してください。



8 メンテナンスカバーを閉じ、ENTERキーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

廃インクタンク確認メッセージが表示されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機の右下にある廃インクタンクにたまります。本機では、インクの排出量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すメッセージが表示されます。廃インクタンク交換の目安にしてください。



- 1.6L 廃インクタンクの80%(1.3L)でメッセージが表示されます。

ローカルでの確認メッセージ

1 ディスプレイにワーニングメッセージ
“廃インクタンク確認”が表示される

2 「廃インクを廃棄する」( P.4-23) の手順に従い、廃インクタンクを空にする

- 実際の量と誤差がある場合、[▲][▼]を押して補正します。

重要!

- 廃インクタンクの液量はこまめにご確認ください。廃インクを廃棄せずに本機を使用し続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。

廃インクを廃棄する

ディスプレイにワーニングメッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら、以下の手順で廃インクを廃棄してください。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2  を押して“メンテナンス”を選び、
ENTERキーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 ENTERキーを押す

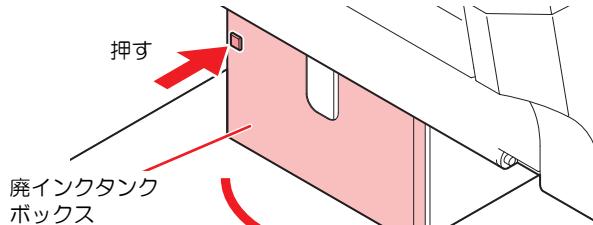
- “ステーションメンテ”が選択されます。

4 UJF-3042MkII / UJF-6042MkII の場合は
 を押して“廃インクタンク”を選び、
ENTERキーを押す

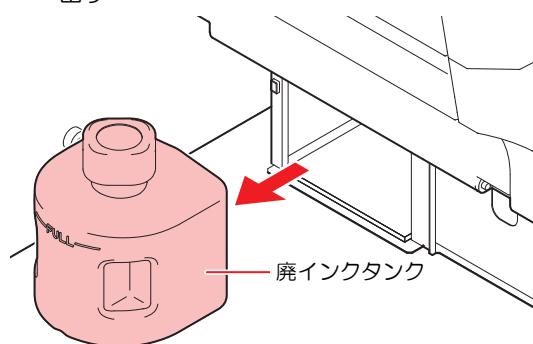
UJF-3042MkII e / UJF-6042MkII e の場合は
 を押して“廃インク量リセット”を選び、
ENTERキーを押す

5 廃インクタンクを取り外す

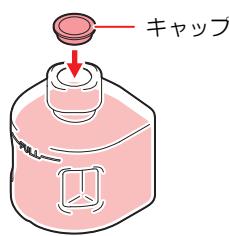
- (1) 廃インクタンクボックスの突起を押す
・磁石が外れ、扉が開きます



- (2) 廃インクタンクを持ち、手前に引いて取り出す

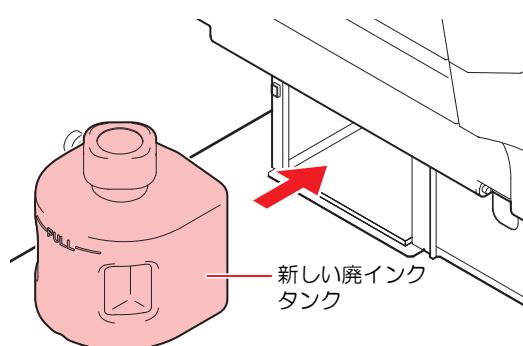


- ・取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。



6 廃インクタンクを交換する

- (1) 新しい廃インクタンクを用意する
(2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、廃インクタンクボックスの中にセットする



- ・廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

7 ENTERキーを押す

- ・本機で管理しているインク排出量のリセットを行い、メッセージを解除します。

廃インクタンク確認メッセージが表示される前に廃インクタンクを交換する場合

廃インクタンク確認メッセージが表示される前(1.6Lタンクの80%(1.3L)に達する前)に廃インクタンクを交換する場合も前項と同じ操作です。

1

- 「廃インクを廃棄する」(☞ P.4-23)の手順を実行し、廃インクタンクを空にする

吸引ワイパーの廃インクタンク確認ワーニングが表示されたら(UJF-3042MkII/6042MkIIのみ)

ヘッドクリーニングなどでワイピング時に吸引されたインクは、本機の右後ろにある吸引ワイパーの廃インクタンクにたまります。本機では、吸引ワイピングの廃液量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すワーニングが表示されます。廃インクタンク交換の目安にしてください。



- ・0.1L吸引ワイパーの廃インクタンクの60%(0.06L)でメッセージが表示されます。

ローカルでの確認メッセージ

1

- ディスプレイに、ワーニングメッセージ“吸引ワイパーの廃インクタンク確認”が表示される

2

- ENTERキーを押す

3

- 「吸引ワイパーの廃インクを廃棄する」(☞ P.4-24)の手順に従い、吸引ワイパーの廃インクタンクを空にする

重要!

- ・必ずワイパーの廃インクタンク内のインクを全て捨ててください。
- ・吸引ワイパーの廃インクを廃棄せずに本機を使用し続けると、吸引ワイパーのポンプが破損する恐れがあります。

吸引ワイパーの廃インクを廃棄する

ローカルにワーニング“吸引ワイパーの廃インクタンク確認”が表示されたら、以下の手順で廃インクを廃棄してください。

1

- ローカルで、FUNC1(MENU)を押す

2

- ▲▼を押して“メンテナンス”を選び、ENTERキーを押す

- ・メンテナンスマニューが表示されます。

3

- ENTERキーを押す

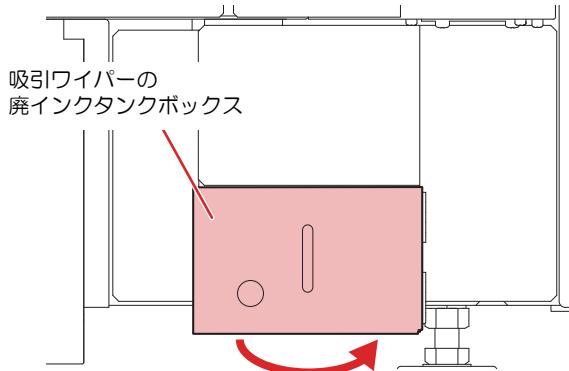
- ・“ステーションメンテ”が選択されます。

4 を押して “吸引ワイパ廃タンク交換” を選び、キーを押す

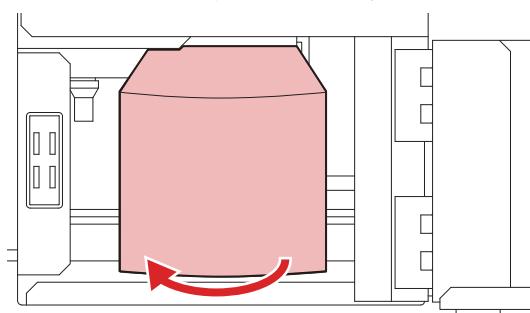
- ・ “吸引ワイパ廃タンク交換” が選択されます。

5 吸引ワイパーの廃インクタンクを取り外す

- (1) 吸引ワイパーの廃インクタンクボックスの扉を開いてください。



- (2) 廃インクタンクを持ち、中のインクがあふれないように、ゆっくり時計方向へ回し、ボトルを取り外してください。



6 吸引ワイパーの廃インクタンクを空にする

- ・ 廃インクは別容器に移して廃棄してください。
- ・ 廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

7 吸引ワイパーの廃インクタンクを廃インクタンクボックスの中にセットする

- (重要!)** • 吸引ワイパーの廃インクタンクを外した場合、ゴムパッキンも一緒に外れたとき、必ずゴムパッキンを戻してください。

8 キーを押す

- ・ 本機で管理している吸引ワイパーの廃インクタンクカウントのリセットを行い、ワーニングを解除します。

吸引ワイパーの廃インクタンク確認ワーニングが表示される前に廃インクタンクを交換する場合

吸引ワイパーの廃インクタンク確認ワーニングが表示される前 (0.1L タンクの 60%(0.06L) に達する前) に、吸引ワイパーの廃インクタンクを交換する場合も P.4-24 「吸引ワイパーの廃インクタンク確認ワーニングが表示されたら (UJF-3042MkII/6042MkII のみ)」と同じ操作です。

1

- 「吸引ワイパーの廃インクを廃棄する」
( P.4-24) の手順を実行し、吸引ワイパーの廃インクタンクを空にする

インクボトルキャップの交換

1年を目安に交換してください。交換方法は  P.1-18 「インクボトルを交換する」を参照してください。

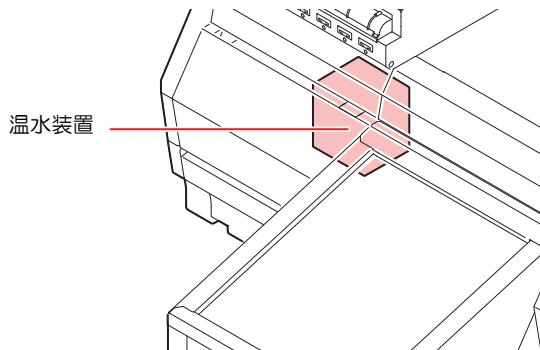


- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気には十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



不凍液混合水を補充する

ヘッドの温水循環タンクに、不凍液混合水を入れます。



● 交換に関する注意



- 不凍液を入れず、水だけを冷却水タンクに入れた場合は、凍結などにより温水ユニットやヘッドが故障する原因になります。
- 水を入れず、不凍液だけを冷却水タンクに入れた場合、正常に動作せず、エラーになることがあります。
- 冷却水タンクの水不足が頻繁に起きる場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
- 不凍液と混ぜた水は、使用している地域の条例に従って処分してください。



● 混合水に関する注意



- 混合水を作るときは、必ず下記のいずれかの条件を満たした飲料可能な水を使用してください。
- カルシウムの含有量：
1mg/100ml(10mg/L) 以下
 - 硬度 : 60mg/L 以下
 - 蒸留水 (精製水)
 - 水と不凍液の混合液は、水 2 に対して不凍液 1 の割合にしてください。
 - または、弊社専用の不凍液混合水をご使用ください。
 - 作成した混合水は、1週間以内に使用してください。作成してから1週間以上経った混合水は、使用/未使用に関わらず、本機に入れないのでください。
 - また、新しく作成した混合水への継ぎ足しもしないでください。

● 不凍液の取り扱い上の注意



- 不凍液を取り扱う場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



- 不凍液は、弊社専用の物をご使用ください。他の物を使用すると、温水装置が故障するおそれがあります。(交換用不凍液 : 1000cc X 2 本)



- 不凍液には直接触れないようしてください。
誤って不凍液が付いてしまったときは、石けんを使って、すぐに流水で洗い落してください。万一、不凍液が目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師に相談してください。

- 不凍液は冷暗所で保存してください。
- 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 不用となった不凍液は、産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託してください。
- 不凍液をご使用の前に、必ず安全データシート (SDS) をお読みください。

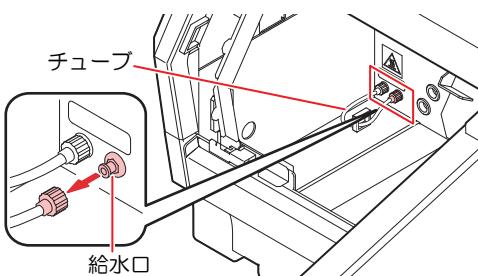


- 廃冷却水タンク水を移すための、キャップ付きタンクをご用意ください。
- 冷却水タンクの水が不足すると、ワーニングメッセージ“ミズフリク”が表示されます。この場合は、次ページの手順で冷却水を交換してください。

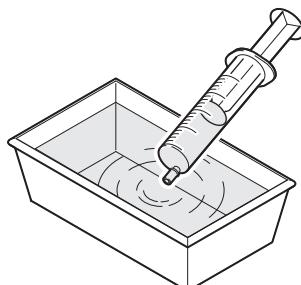
不凍液混合水を補充する

水不足のエラーが発生したら、不凍液混合水を補充してください。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** を押す
- 2 **▲ ▼**を押して“メンテナンス”を選び、**ENTER**キーを押す
 - ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 **▲ ▼**を押して“水充填”を選び、**ENTER**キーを押す
- 4 **ENTER**キーを押す
 - ・水流が止まります。
- 5 左側メンテナンスカバーを開ける
- 6 給水口につながっているチューブの右側を外す
 - ・INのラベルが貼ってあります。
 - (重要!)** ・水流が止まっていることを確認してください。
 - ・チューブの中を流れる不凍液は熱いので気を付けてください。

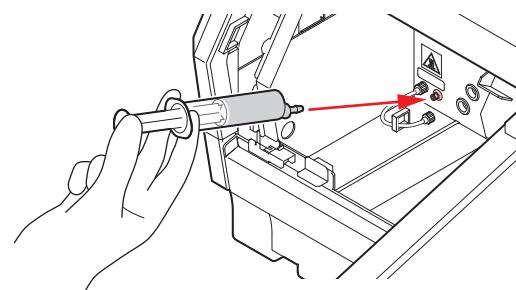


- 7 付属の容器で混合水(不凍液1、水2の割合)を作り、付属のシリンジに移す



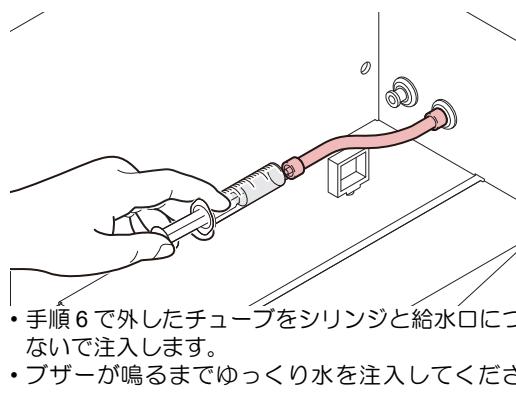
8 混合水を注入する

● 50 ccのシリンジを使う場合



- ・手順5で作った混合液を給水口から注入します。
- ・ブザーが鳴るまでゆっくり水を注入してください。

● 100 ccのシリンジを使う場合



- ・手順6で外したチューブをシリンジと給水口につないで注入します。
- ・ブザーが鳴るまでゆっくり水を注入してください。

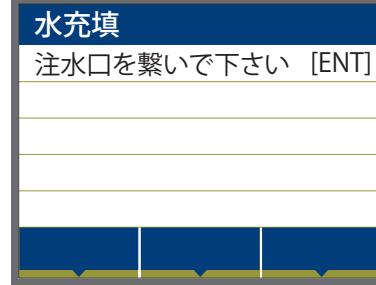
9 ブザーが鳴ったら給水を中断し、 **ENTER**キーを押す

- ・“200cc充填して下さい”が表示されます。



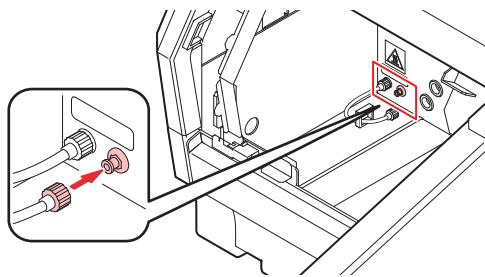
10 混合液を200cc注入する

- ・“注水口を繋いで下さい”が表示されます。



11

給水口にチューブをつなぐ



12

ENTERキーを押す



注意

- ・給水口にチューブをつながないで [ENTER] キーを押すと混合液があふれ出します。

第5章 困ったときは



この章では ...

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明しています。

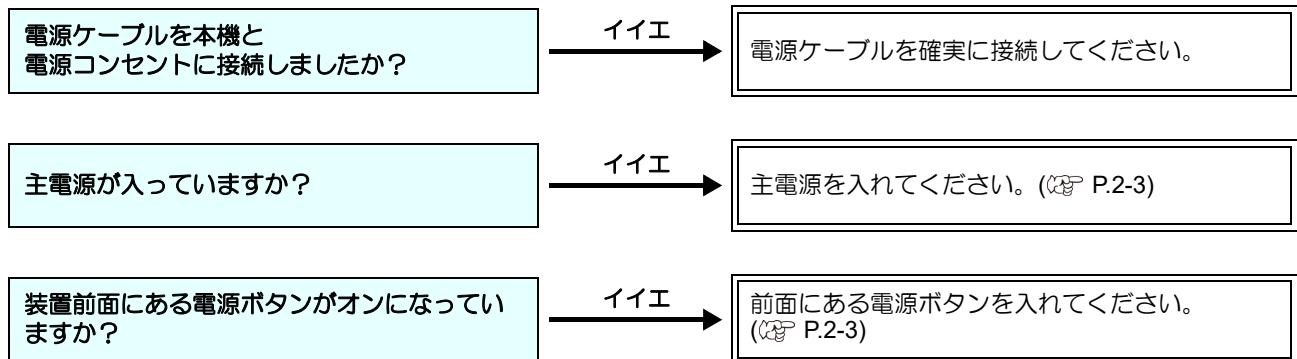
故障かなと思う前に.....	5-2	インク漏れが発生したら	5-3
電源が入らない	5-2	吐出不良が復旧しないとき	5-3
プリントできない	5-2	メッセージを表示するトラブル	5-5
画質不良が発生したときは	5-2	ワーニングメッセージ	5-5
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3	エラーメッセージ	5-8
インクボトルに異常が発生したら	5-3		

故障かなと思う前に

故障かなと思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

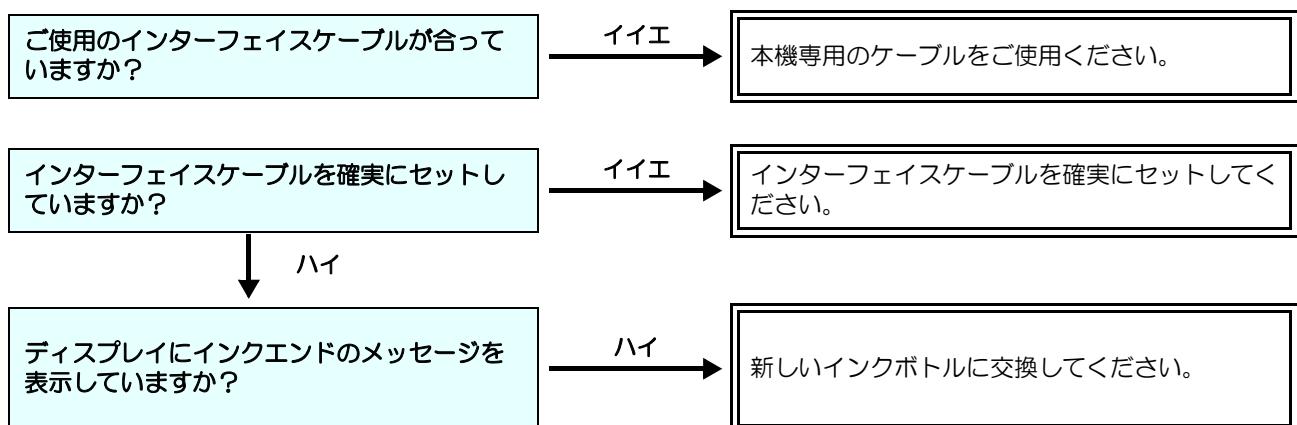
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピューターのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。



プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本機に送られていない場合があります。また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

現 象	対処方法
白スジ / カスレ / 色の濃いスジが発生する (ヘッド移動方向)	(1) ヘッドクリーニングを行ってください。 (☞ P.2-8) (2) ステーション内部のメンテナンスをしてください。 (☞ P.4-6) (3) 「フィード補正」機能を実行してください。 (☞ P.3-10) (4) ヘッドノズルの洗浄を行ってください。 (☞ P.4-9)
文字が用紙送り方向に 2 重、3 重にブレる	(1) 「フィード補正」機能を実行してください。 (☞ P.3-10)
プリント中にインク滴が落ちる	(1) ワイパーを清掃してください。 (☞ P.4-6) (2) インクキャップのクリーニングをしてください。 (☞ P.4-6) (3) ヘッドの周辺を清掃してください。 (☞ P.4-13) (4) ヘッドクリーニングの [ノーマル] を実行してください。 (☞ P.2-8) (5) オートクリーニングの動作間隔を、短く設定してください。 (☞ P.3-12) (6) オーバーフローメンテを実行してください。 (☞ P.4-17)

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-8 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の項目を確認してください。

- **P.4-9 の操作をして、ヘッドノズルの洗浄をしてください。**
- **P.4-16 の操作をして、ノズルリカバリーをしてください。**

インクボトルに異常が発生したら

インクボトルに異常が発生したら、ワーニングメッセージが表示されます。

プリント、クリーニングなど、インク吐出に関する動作はすべてできなくなります。

異常が発生したときは、次のようにしてください。

- ・インクボトル内のインク量を確認し、インク量が少なかつたら補充してください。

- (重要!)**
 - ・インクボトル異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
 - ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

インク漏れが発生したら

インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

吐出不良が復旧しないとき

日常のお手入れに使用するメンテナンス液を使用して解消できない場合、メンテナンス液 16 を使用してください。メンテナンス液 16 は、日常のお手入れで使用するメンテナンス液と比較して、ノズル表面の異物を効果的に除去することができます。

(重要!)

- ・すべての吐出不良を解消できるものではありません。ノズル表面の異物以外に起因する吐出不良は、解消できない場合があります。(ノズル表面の傷つき・ノズル表面やヘッド内部の硬化物・ヘッドの破損など)
- ・メンテナンス液 16 は他のメンテナンス液よりも強力で、ゴムやプラスチックなどを溶かします。ノズル洗浄以外の用途には使用しないでください。
- ・多数の吐出不良が発生している場合、完全には解消できない場合があります。発生後の経過時間が長くなるほど復旧しにくくなりますので、少量でも吐出不良の発生が確認できましたら、早めのご対応をお願い致します。

ご使用前の注意点

- ・メンテナンス液 16 を初めて使用する場合は、必ず事前に弊社のエンジニアにご連絡ください。
 - ・インク種・プリンター機種名・ファームウェアバージョンのすべてが本メンテナンス液に適合していることをご確認ください。
 - ・メンテナンス液 16 キットに付属の部品・手袋を使用してください。メンテナンス液 16 キットに付属の部品以外を使用する場合は、接液させて部品に異常が出ないことを事前にご確認ください。
- 他のメンテナンスキットに付属されているクリーンスティック (SPC-0527)・ノズルスワブ (SPC-0421) は使用しないでください。メンテナンス液 16 との接触で溶解します。



- ・本メンテナンス液の SDS を確認し、内容をご理解いただいた上で使用してください。
- ・保管時は、ボトル記載の保管温度内で、直射日光を避けて保管してください。

ご使用中・ご使用後の注意点

- ・適切な保護具（手袋・保護メガネ等）をご使用ください。メンテナンス液 16 キットの付属品以外を使用する場合は、メンテナンス液 16 に接液させて異常が出ないことを事前にご確認ください。
 - ・P.5-4 メンテナンス方法の手順に従って使用してください。メンテナンス方法の使用時間を厳守してください。使用方法が不適切な場合、プリンターに使用している部品を溶かす、もしくは変形させる可能性があります。
 - ・プリントヘッドの表面以外にメンテナンス液 16 を使用しないでください。
 - * ゴム製品 キャップゴム・ワイヤーゴム等に長時間付着させると変形するおそれがあります。
 - * 塗装面に付着すると、塗装が落ちる・変色する可能性があります。
 - ・ヘッド表面を擦ったり、傷つけたりしないようご注意ください。吐出不良を発生させる原因となります。
 - ・メンテナンス液 16 および液体付着物を廃棄する場合は、各自治体の区分に従って廃棄してください。
 - ・ご使用後のメンテナンス液を保管する際は、キャップの緩みにご注意ください。
- 直射日光を避け、ボトル記載の保管温度内で保管してください。

使用可能インク種・ファームウェアバージョン

- 重要!**
- ・インク種・機種・バージョンすべての条件を満たす場合でのみ、使用可能です。
 - ・LUS200 はインク成分が凝集し吐出不良が発生する可能性があるため、メンテナンス液 16 を使用できません。
 - ・バージョンが適合していない場合、事前に訪問によるバージョンアップ作業が必要となりますのでお問い合わせください。

使用可能インク種

LH100	ELH100	ELS120	LU125	LUS120	LUS150
LUS170	LUS175	LUS190	LUS210	LUS350	PR200*1

*1. PR200 は、ボトルに「Ver.3」と記載されているインクのみ使用可能です。

使用可能ファームウェアバージョン

機種	バージョン
UJF-3042MkII	5.4 以上
UJF-6042MkII	5.4 以上
UJF-3042MkII e	2.5 以上
UJF-6042MkII e	2.5 以上

メンテナンス方法



- ・メンテナンスの際は必ず保護具（手袋・眼鏡）を装着してください。手袋はメンテナンス液 16 キットに付属のものを使用してください。



1

通常のメンテナンス（クリーニング・ノズル洗浄）で吐出不良が復旧するかどうかを確認する。

- ・吐出不良がすべて復旧した場合は、次の手順に進まずに終了してください。
- ・日常メンテナンス用のメンテナンス液を使用してください。メンテナンス液 16 は使用しないでください。



2

日常メンテナンス用のメンテナンス液を使用して、P.4-8「ノズル洗浄」の手順 1～7 まで（PR200 インクをご使用の場合は、P.4-9「ノズル洗浄（PR-200 インク使用時）」の手順 1～8 まで）を実施する。

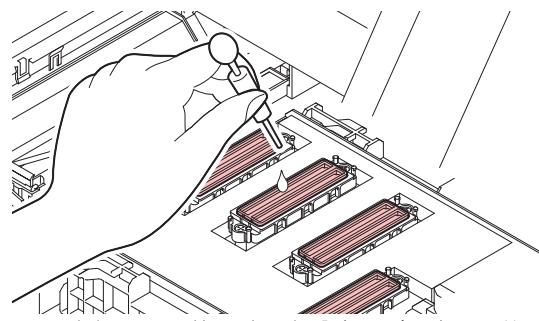
- ・日常メンテナンス用のメンテナンス液を使用してください。メンテナンス液 16 は使用しないでください。



3

メンテナンス液 16 を使用して、ノズル洗浄を実施する。

- (1) 不良が発生している箇所のキャップにメンテナンス液 16 を満たす。
- ・使用量：キャップに満たされるまで約 3cc, スポイト 1.5 回分
 - ・キャップからメンテナンス液 16 がこぼれないようご注意ください。



- (2) **[▲][▼]** を押して、放置時間を設定し（目安：10 分以内）、[ENTER] キーを押す。

- ・放置時間を選択できない場合は、訪問によるバージョンアップ作業が必要です。
- ・ノズル洗浄終了後、放置せすすぐに次の手順を実施してください。

4

すみやかにヘッドクリーニング（ハード）を実施する。

- ・P.2-8「ヘッドクリーニング」を参照して実施してください。

5

テストプリントを実施し、吐出不良が復旧したかどうか・プリント結果の色に異常がないかの 2 点を確認する。

<復旧しない場合>

手順 2 に戻り、再度ワイパーゴム清掃・キャップゴム清掃・ノズル洗浄を実施してください。

3 回実施しても改善傾向が見られない場合は、ヘッド交換が必要ですので、お問い合わせください。

<復旧したが色に異常がある場合>

手順 4 に戻り、色が正常になるまでクリーニングを繰り返してください。

<復旧し、色に問題ない場合>

作業は終了です。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

操作を実行したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
実行できません MOTOR POWER OFF	カバーがオープン後などの理由でモーターが "OFF" になっている。	・ローカルに戻り、初期化動作が完了してから機能を実行してください。
実行できません インクエラーあり	インクエラーが発生している。	・新しいインク IC チップに交換後、機能を実行してください。
実行できません カバーオープン	カバーが開いている。または非常停止スイッチが押されている。	・カバーを閉めてから、機能を実行してください。
実行できません プリントデータあり	データを受信している。	・データクリアを実行後、機能を実行してください。
自動オーバーフローメンテが実行されました	インク供給経路にスローリークの疑いがある。	・販売店または弊社営業所、センターにお問い合わせください。

インクエラー

表示	原因	対処方法
インク IC 異常	インクの IC チップが正常に読めない。	・IC チップが正しく挿入されているか確認してください。 ・IC チップを挿入しなおしてください。 ・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 ・再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、センターにお問い合わせください。
インク種類	装填したインク IC チップの種類が異なる。	・正しいインク種のICチップをセットしてください
インクカラー	装填したインク IC チップの色が、装填すべき色と異なる。	・正しいインク色のICチップをセットしてください。
インク IC 無し	インク IC チップなし (IC チップ未装填)	・インク IC チップをセットしてください。 ・インク IC チップが正しく挿入されているか確認してください。 ・一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 ・再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、センターにお問い合わせください。
インクエンド	インクエンド (インクなし)	・新しいインクに交換してください。
インクニアエンド	インクニアエンド (インク残量わずか)	・間もなくインクが無くなります。注意してください。
インク期限切れ	インクが期限切れになった。	・新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
期限切れ (1ヶ月)	インクが期限切れから、1か月経過した。	・新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
期限切れ (2ヶ月)	インクが期限切れから、2か月経過した。	・新しいインクに交換してください。プリントすることができません。

ローカルで表示されるメッセージ

表示	原因	対処方法
プリント不可 / インクボトル	複数のインクエラー（使用不可インク）が起き、インクが供給（プリントやクリーニングなど）できない。	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクボトルおよびICチップに交換してください。
廃インクタンク確認	廃インクタンクのカウントが規定量を超えた。	<ul style="list-style-type: none"> 廃インクタンクの排液量を確認してください。 （UJF-3042MkII / UJF-6042MKII の場合）メンテナンス・ステーションメンテ・廃インクタンク交換を実行し、廃液量をリセットしてください。 （UJF-3042MkII e / UJF-6042MKII e の場合）メンテナンス・ステーションメンテ・廃インクタンク交換・廃インク量リセットを実行し、廃液量をリセットしてください。
ワイパー / 吸収材交換	ワイパー使用カウントが規定数を超えた。	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス・ステーションメンテ・ワイパー / 吸収材交換を実行し、ワイパーと吸収材を交換してください。
ワイパー交換	ワイパー使用カウントが規定数を超えた。	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス・ステーションメンテ・ワイパー交換を実行し、ワイパーを交換してください。
プリントデータあり	ローカルでプリントデータを受信した。	<ul style="list-style-type: none"> REMOTEモードに移行し、プリントを実行します。 またはデータクリアを実行し、プリントを中止します。
NCU接続異常	NCUのユニットが接続されていない。ノズルチェック機能が使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU交換	NCUのセンサー感度が低く、正常にノズル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> NCUの交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCUケンショウラー (HW) ノズルチェック OFF		<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲がりが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。
NCUケンショウラー (マク) ノズルチェック OFF		<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲がりが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。
NCUセタ-イケンショウラー ノズルチェック OFF		<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲がりが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。
NCUトショウイケンショウラー ノズルチェック OFF	ノズルチェック実行中にNCU関連のエラーが発生したため、プリントを停止してノズルチェック機能をオフにした。	<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲がりが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。
NCU SN チョウセイラー ノズルチェック OFF		<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲がりが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。 ノズル状態を回復しても、再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCUインク吸収材交換	NCUのインク吸収材が満杯になった。	<ul style="list-style-type: none"> NCUのインク吸収材交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCUセンサー感度低下	センサーの感度が低下してきている。	<ul style="list-style-type: none"> NCUの交換をお勧めします。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCUカド ^ト チョウセイラー H NCUカド ^ト チョウセイラー L	センサーの感度を調整できない。	
ノズル抜け検出 印刷停止しました	ノズルチェックでノズル抜けと判定されたため、プリントを停止した。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドクリーニング (P.2-8) ならびにノズル詰まりの対処 (P.4-6) を行ってください。

表示	原因	対処方法
NCU エラー ノズルチェック OFF	ノズルチェック実行中にNCU関連のエラーが発生したため、プリントを停止してノズルチェック機能をオフにした。	・販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
!Can't PRINT/HEAD ERROR	プリントヘッドに異常が発生した。	
!LED UV 光量確認	LED UV ランプの照射時間が規定時間を超えた。	
吸引ワイパーの廃インクタンク確認 (UJF-3042MkII/6042MkII のみ表示されます)	0.1L 吸引ワイパーの廃インクタンクに溜まった廃インクが、0.06L (廃インクタンクの 60%) 以上になった。	・吸引ワイパーの廃インクタンク確認ワーニングが表示されたら (UJF-3042MkII/6042MkII のみ)(P.4-24) に従って、作業を行ってください。
キャップセイソウ	前回キャップを清掃してから一定回数以上フラッシングを実施した。 (デフォルトでは、3200 回以上フラッシングを実施するとワーニングを表示する。)	・ワイパーとキャップの清掃 (P.4-6) のキャップ清掃を行ってください。 ・[メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウトの実行] でメッセージを消去することができます。
カバーを閉じてください	プリント中にカバーを開けた。	・メンテナンスカバーと正面カバーを閉じてください。
!ワーク 高い	プリント中に、メディアが障害物センサーのレーザー光を遮った。	・“! ワーク 高い” を表示したら (P.2-9) に従って、作業を行ってください。
自動オーバーフローメンテ履歴あり	インク供給経路にスローリークの疑いがある	・販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

表示	原因	対処方法
ERROR 108 HD CONNECT [12345678]	プリントヘッドの接続異常	
ERROR 108 HD THERMIS [12345678]	プリントヘッドの温度異常	
ERROR 122 CHECK :SDRAM	メイン基板に異常が発生した。	
ERROR 128 HDC FIFO OVER	ヘッド制御に異常が発生した。	
ERROR 128 HDC FIFO UNDER	ヘッド制御に異常が発生した。	
ERROR 129 バッテリ コウカン	メイン基板の電池切れを検出した。	
ERROR 12a HDC SPEED	ヘッド制御に異常が発生した。	
ERROR 12e P-HEAD INIT [12345678]	プリントヘッドの接続異常	
ERROR 130 HD DATA SEQ	ヘッド制御に異常が発生した。	
ERROR 148 E-LOG SEQ	ログの制御に異常が発生した。	
ERROR 151 Main PCB V1R2	メイン基板の電源系統に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 152 Main PCB V2R5		
ERROR 153 Main PCB V3R3		
ERROR 154 Main PCB V05		
ERROR 157 Main PCB VTT		
ERROR 16e Main PCB V3R3B		
ERROR 18a Main PCB V_CORE		
ERROR 18c Main PCB V12		
ERROR 1ce SLIDER PCB V24		
ERROR 1cf SLIDER PCB V1R8		
ERROR 1d9 Main PCB V48-1	メイン基板の電源に異常が発生した。	
ERROR 1db Station4 PCB V48	ステーションIV基板の電源に異常が発生した。	
ERROR 1dc Station4 PCB V24		
ERROR 1dd Station4 PCB V24-A		

表示	原因	対処方法
ERROR 1de SLIDER PCB V1R2		
ERROR 1e0 SLIDER PCB V3R3	スライダーT 基板の電源に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 1e2 SLIDER PCB V48		
ERROR 1e6 PRAM サイズ フリ	メモリーサイズが不足している。	
ERROR 201 コマンド エラー	プリントデータ以外のデータを受信した。または送信したプリントデータに異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> データクリアを実行し、再度データを送信してください。 一度電源を再投入し、データを送信してください。 USB ケーブルの接続を確認してください。 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。
ERROR 202 パラメータ エラー	送信したプリントデータに異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> データクリアを実行し、再度データを送信してください。 一度電源を再投入し、データを送信してください。 USB ケーブルの接続を確認してください。 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。
ERROR 206 プリント モード エラー	プリント不可能な条件のプリントデータを受信した。	<ul style="list-style-type: none"> RIP ソフトのプリントデータ出力条件を確認する。 プロファイルを確認してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 304 USB INIT ERR		
ERROR 305 USB TIME OUT	USB の通信に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> USB ケーブルの接続を確認してください。 USB ケーブルを接続しなおしてください。 一度電源を再投入し、データを送信してください。 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。
ERROR 401 モーターアラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 402 モーターアラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 403 X オーバー カレント	X モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 404 Y オーバー カレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。	<ul style="list-style-type: none"> メディアを正しくセットしているか確認してください。(搬送が問題なく行えるか) カバーを開け、キャリッジの移動に障害のあるものが無いか確認してください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 50a Y 原点検出	Y 原点が正しく検出できなかった。	
ERROR 50f L-SCALE BLACK	リニアスケール異常が発生した。	
ERROR 511 Z 原点検出	Z 原点が正しく検出できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR519 ファッセンサーイジョウ	負圧センサーの値が異常。	
ERROR51a セイアッセンサーイジョウ	正圧センサーの値が異常。	
ERROR 525 付け付け - イヤ ジョウ	イオナイザーの内部回路が破損したか、異常放電が発生している。	
ERROR 526 付け付け - 付け付け	電極針の汚れや摩耗によりイオン発生量が低下している。	<ul style="list-style-type: none"> イオナイザー取扱説明書を見て、電極針を清掃してください。 症状が改善しない場合、該当の除電針を交換してください。
ERROR 527 付け付け - コンテ ジョウ	周囲の金属によってイオンが吸収されてしまうとき、設置環境(温度、湿度、周囲金属など)の不安定さから除電能力に影響が出ていている	<ul style="list-style-type: none"> イオナイザーの近くに導体や別の除電器が無いか確認してください。 ある場合、近くの導体や別の除電器から遠ざけてください。

表示	原因	対処方法
ERROR 533 X 原点検出	X 原点が正しく検出できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 541 吸引ポンプ原点検出エラー	ポンプセンサー検出エラー	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 602 インクボトル エンド	インクエンド（使用不可、4色セットでクリーニング時のみ使用可）	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクに交換してください。 このとき、インク IC もボトル付属の新品に交換してください。
ERROR 608 イク IC イジョウ	インクボトル IC チップが正常に読めない	<ul style="list-style-type: none"> IC チップが正しく挿入されているか確認してください。 IC チップを挿入しなおしてください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 61A イクオーバー-70- :cmYCMKWW	サブタンクのフロートセンサーがLimitを検出した	<ul style="list-style-type: none"> 「メンテナンス」「オーバーフローメンテ」を実施してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 61B イク キガキョウ :cmYCMKWW	サブタンクへのインク供給に失敗した	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 61D ファツ イジ フソク	適正範囲の負圧を維持できなくなった(プラス側)	
ERROR 61E ファツ イジ オーバー	適正範囲の負圧を維持できなくなった(マイナス側)	
ERROR 620 セイアツ イジ フソク	適正範囲の正圧を維持できなくなった(マイナス側)	
ERROR 621 セイアツ イジ オーバー	適正範囲の正圧を維持できなくなった(プラス側)	
ERROR 650 NCU セツゾク イジョウ	NCU のユニットが接続されていない。 ノズルチェック機能が使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> NCU の交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 651 NCU コウカン	NCU のセンサー感度が低く、正常にノズル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲がりが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。
ERROR 652 NCU ケンシュツエラー (HW)	ノズル抜け、飛行曲がりが多発していて、NCU がインクの吐出を正常に認識できない。	
ERROR 653 NCU ケンシュツエラー (マーク)	NCU の吐出パターンを解析したが、パターン判定基準に満たない異常な吐出を認識した。	
ERROR 654 NCU センターイチケンシュツエラー	NCU への吐出位置の調整に失敗した。	<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲がりが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。
ERROR 655 NCU トシュツイチケンシュツエラー		
ERROR 656 NCU SN チョウセイエラー	センサーの感度調整に失敗した。	<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲がりが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。 ノズル状態を回復しても、再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 657 NCU イクキョウシヨガ イコカシ	NCU のインク吸収材が満杯になった。	<ul style="list-style-type: none"> NCU のインク吸収材交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

表示	原因	対処方法
ERROR 658 NCU センサー カド ^ア テイカ	NCU のセンサー感度が低下してきている。	
ERROR 65b NCU カンド ^ア チョウセイ エラー H	センサーの感度を調整できない。	<ul style="list-style-type: none"> NCU の交換をお勧めします。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 65c NCU カンド ^ア チョウセイ エラー L		
ERROR 71F ヘッド サーミスタ タダ ^ア ソセイ	ヘッドサーミスタの温度が正常に読めない	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 706 UV ユニットオーバーヒート	UV ユニットが高温閾値を超えた。	<ul style="list-style-type: none"> 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 722 温水タンク経路 1	温水ポンプの故障、もしくは温水がリークした	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 723 温水タンク経路 2		
ERROR 726 温水ヒーター故障	温水ヒーターが故障した	<ul style="list-style-type: none"> 装置側面の電圧切り替え SW が正しいか確認してください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 728 !ヒーター サーミ ^ア タダ ^ア ソセイ	温水ヒーター サーミスタの温度が正常に読めない	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 729 温水ヒーター高温	ヒーター温度が高温しきい値を超えた	
ERROR 72B 温水 水不足	温水タンク内の水が不足している	<ul style="list-style-type: none"> [メンテナンス]-[水充填]を実施してください。
ERROR 72C 温水ポンプ異常	温水ポンプの故障、もしくは温水がリークした	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 901 ジッコウ ^ア テキマセン	何らかのエラーにより機能が実行できない	<ul style="list-style-type: none"> カバーを閉めてから実行してください。 メディアを検出してから実行してください。 インクエラーを解消してから実行してください。
ERROR 902 ミサクズ データ アリ	プリントデータを受信した状態では実行することができない操作を行った。	<ul style="list-style-type: none"> データクリアを行ってから、実行してください。
ERROR 90d ヘッド センタク ^ア ナシ	搭載ヘッドに異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 04 PARAM ROM	メイン基板に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

SYSTEM HALT

表示	対処方法
SYSTEM HALT (*) 000 : メッセージ	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 番号を確認の上、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。 ("000" はエラー No.)

第6章 付録



この章では ...

本機の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載しています。

仕様.....	6-2	インクボトルのセット順.....	6-4
本体仕様.....	6-2	お問い合わせシート.....	6-5
インク仕様.....	6-3		

仕様

本体仕様

項目	UJF-3042MkII	UJF-3042MkII e	UJF-6042MkII	UJF-6042MkII e
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド		
	仕様	3 ヘッド (6 ノズル列)	4 ヘッド (8 ノズル列)	
作図分解能	x-dpi: 600, 900, 1200 y-dpi: 600, 1200			
作図モード	600 x 600	8, 10 pass		
	600 x 900	12, 16 pass		
	1200x1200	12, 16 pass		
使用可能インク	専用 UV 硬化インク (弊社純正インク)			
インク供給	6 ボトル供給	8 ボトル供給		
使用可能メディア	サイズ	300 x 420mm	610 x 420mm	
	厚さ	(1)+(2)=153mm 以下 (6inch) (1) 可動 53mm (2)50mm スペーサー ×2 段階 =100mm		
	重量	5kg 以下	8kg 以下	
最大プリント範囲	300 x 420mm	610 x 420mm		
距離精度	絶対精度	± 0.3 mm または指定距離の ± 0.3 % の大きい方		
	再現性	± 0.2 mm または指定距離の ± 0.1 % の大きい方		
直角度	± 0.3 mm/400mm			
プリントギャップ調整	キー操作によるテーブル上下機構搭載			
ヘッド衝突防止装置	障害物センサーによるヘッド衝突防止			
UV 装置	空冷 LED UV 照射装置 1 基 (ヘッドスライダーに搭載)			
廃インクタンク	ボトル式 (1600 cc)			
インターフェイス	USB 2.0 (Ethernet 10 BASE / 100 BASE / 1000 BASE メール機能、ただしプリントは「1000BASE」のみ)			
コマンド	MRL- V			
騒音	待機時	55 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)		
	動作連続音	70 dB 以下		
適合規格	VCCI-classA、FCC-classA、IEC62368-1 準拠 ETL、CE マーキング (EMC 指令、低電圧指令、機械指令)、CB 認証、RoHS、REACH、EnergyStar、EAC マーク、RCM マーク			
電源仕様	単相 AC100 ~ 240 V ±10% 50 / 60 Hz ± 1 Hz			
消費電力	1000 W 以下			
設置環境	使用可能温度	20 °C ~ 30 °C		
	相対湿度	35 ~ 65% Rh (結露無きこと)		
	精度保証温度	20 °C ~ 25 °C		
	温度勾配	±10 °C / h 以下		
	粉塵	オフィス相当		
	最高動作高度	2000 m		
重量*1	150 kg(185kg)	165 kg(200kg)		
外形寸法	幅	1355 mm	1665 mm	
	奥行き	1290 mm		
	高さ	856 mm(インクボトル、専用台は含まない)		

*1. () 内は専用台込み

インク仕様

項目	仕様
形態	インクボトル
インク種類	LH100, ELH100, LUS120, ELS120, LUS150, LUS200, LUS210(CLのみ), PR200
色	ブラックインク シアンインク マゼンタインク イエローインク ホワイトインク クリアインク プライマーインク (PR-200) ライトシアン (UJF-6042MkIIのみ) ライトマゼンタ (UJF-6042MkIIのみ)
インク容量	1L / 250ml
有効期限	有効期限は、インクボトルに記載されている通り。 ただし、開封後は有効期限内であっても3ヶ月以内。
保存温度	保存時 5～30℃(30℃の場合、1ヶ月以内) ・容器は密閉した状態で保管すること。 ・換気の良い乾燥した冷暗所に保管すること。
	輸送時 1～60℃(60℃の場合120時間以内、40℃の場合1ヶ月以内) ・0℃より低温になる場所、40℃より高温になる場所は避けること。

〔重要!〕

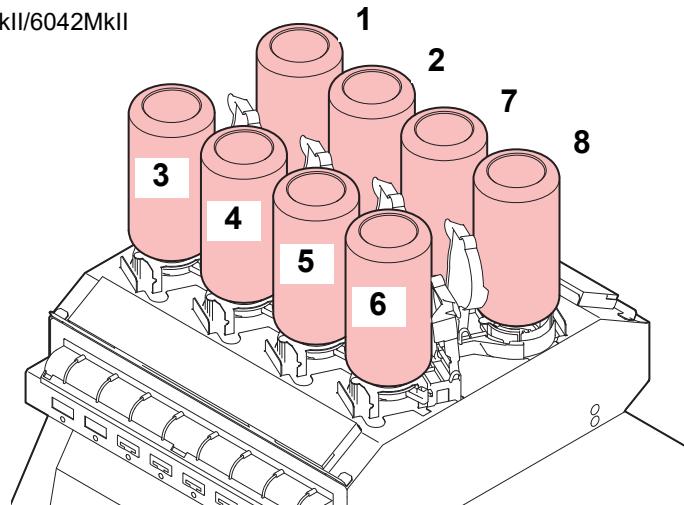
- ・インクボトルを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。
- ・インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。
万一インクが凍結したときは、室温(25℃)で3時間以上かけて解凍してから使用してください。
ただし、解凍したインクを使用すると、インクの変質によりプリント品質が劣化します。インクが凍結しない環境で保管してください。

インクボトルのセット順

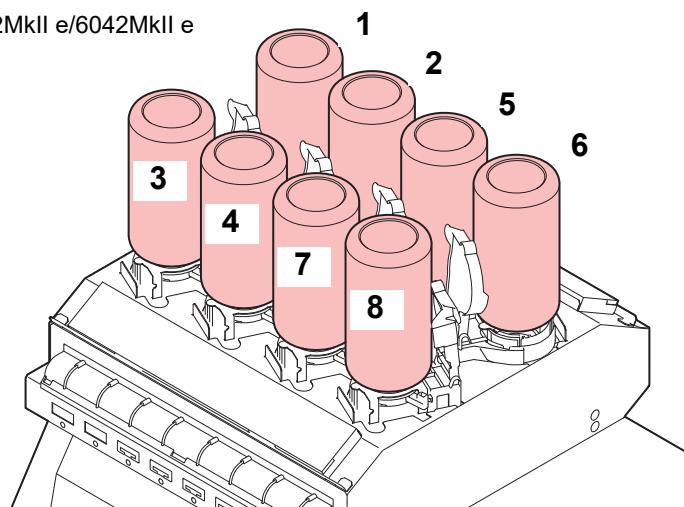


- お使いになるインクセットによって、セットするインクボトルの順番が異なります。

UJF-3042MkII/6042MkII



UJF-3042MkII e/6042MkII e



- UJF-6042MkII/6042MkIIe

インクセット	インク配置							
	1	2	3	4	5	6	7	8
6色+白+白	LC	LM	Y	C	M	K	W	W
6色+白+プライマー	LC	LM	Y	C	M	K	W	Pr
6色+白+クリア	LC	LM	Y	C	M	K	W	CL
6色+クリア+プライマー	LC	LM	Y	C	M	K	CL	Pr
4色+プライマー+クリア+白+白	Pr	CL	Y	C	M	K	W	W

- UJF-3042MkII/3042MkIIe

インクセット	インク配置							
	1	2	3	4	5	6	7	8
4色+白+白	-	-	Y	C	M	K	W	W
4色+白+プライマー	-	-	Y	C	M	K	W	Pr
4色+白+クリア	-	-	Y	C	M	K	W	CL
4色+クリア+プライマー	-	-	Y	C	M	K	CL	Pr

お問い合わせシート

プリンターの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所までFAXでお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンター機種名	
お使いのOS	
マシン情報 ^{*1}	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

*1. 「第3章 便利な使い方」の、「情報を表示させる」をご覧いただき、必要な情報を記入ください。(P.3-31)

LICENSE Library

Mimaki printer Firmware

Copyright @2020 MIMAKI ENGINEERING CO.,LTD. All rights reserved.

This product contain open source software listed in the tables below.

Component	License
StarterWare for ARM® based TI Sitara Processors	BSD-TI

The following license terms and conditions shall apply to the open source software listed in the table above:

BSD-TI

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - <http://www.ti.com/>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

E

END/POWER キー 2-3

I

IC チップ 1-17
カラー情報 1-17

L

LANGUAGE 3-24

LED ランプ底面とミストフィルター底面の清掃 4-15

LT モードの設定 3-15

M

MAPS 3-13

U

USB2.0 1-11

USB 2.0 インターフェイスについての注意事項 1-11

UV インク 1-13

UV 光量調整 3-12

UV モード 3-11, 3-12

UV ランプ 4-5

Z

受入 / 回収位置の設定 (MDL コマンド) 3-25

あ

安全にお使いいただくために vi

い

イオナイザー 3-24

イベントメール機能 3-20

イベントメール機能を有効にする 3-20

イベントを設定する 3-20

インクボトル 1-13

インクボトル取り扱い上のご注意 1-13

う

受入 / 回収位置の設定 (MDL コマンド) 3-25

え

エラーメッセージ 5-8

エラー履歴 3-30

お

オートクリーニングの設定 3-12

オートパワーオフの設定 3-6, 3-7, 3-18

オートメンテナンス機能

クリーニングレベル 4-18

リフレッシュレベル 4-18

オーバーフロー メンテ 4-5

お手入れ 4-2

お手入れ上のご注意 4-2

お問い合わせシート 6-5

か

外装のお手入れ 4-2

各部の名称とはたらきについて 1-3

キャリッジ 1-4, 1-5

操作パネル 1-6

装置前面 1-3

装置背面 1-4

重ね塗り 3-11

重ね塗りの設定 3-11

画質不良が発生したときは 5-2

乾燥時間の設定 3-11

き

キーブザーの設定 3-19

キャッピングステーションのメンテナンス 4-6

インク排出路の洗浄 4-11

長期間使用しない場合 4-11, 4-13, 4-25

ヘッドノズルの洗浄 4-8, 4-9

ワイパーとキャップの清掃 4-6

ギャップチェック 3-3, 3-4

キャリッジアウト 4-5

吸着テーブル 1-9

吸着テーブルに関するご注意 1-11

く

クリーニング 2-8

け

警告ラベル x

言語の設定 3-24

原点設定 2-5

原点を変更する 2-5

件名を設定する 3-21

こ

故障?と思う前に

インクボトルに異常が発生したら 5-3

画質不良が発生したときは 5-2

電源が入らない 5-2

ノズル詰まりを解消したいとき 5-3

プリントできない 5-2

ご注意 v

さ

サーバーを設定する 3-21
作図前フラッシングレベル 3-13

し

時刻の設定 3-18
受信障害 v
主電源スイッチ 2-3
仕様 6-2
 インク仕様 6-3
 本体仕様 6-2
使用可能メディアサイズ 1-20
照射時間 4-5
使用状況 3-30
 使用時間 3-30
 廃インクタンク情報 3-30
 プリント長情報 3-30
 プリント面積情報 3-30
 ワイピング情報 3-30
情報メニュー 3-30
情報メニュー一覧表 3-30
情報を表示させる 3-31
消耗品の交換 4-19
初期状態に戻す 3-25

す

スキャン速度の設定 3-15
ステーションメンテ 4-5

せ

接続オプション 3-25
設置する 1-2
設置場所について 1-2
設定メニュー 3-8
設定メニュー一覧表 3-2, 3-9
設定リセット 3-25, 3-26

た

タップ位置 1-9
単位(温度/長さ)の設定 3-19

ち

長期間使用しない場合 4-2

て

テーブルの清掃 4-2
テーブルの高さ 2-4
テスト作図 2-6
テストプリント
 ホワイト確認 2-7

テストメールを送信する 3-22

電源ケーブル 1-12
電源を入れる 2-3
電源を切る 2-3
 電源を切るときのご注意 2-3
電波障害自主規制 v

と

ドットの位置がずれたら 3-10

ね

ネットワークの設定 3-19

の

ノズルチェック
 印刷中ノズルチェックの設定 3-29
 「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作 3-28
 自動ノズルリカバリーの設定 3-29
 判定条件の設定 3-29
ノズルチェックメニュー 3-27
ノズルリカバリー機能 4-16
 設定値をリセットする 4-17

は

バージョン 3-30
廃インクタンク 4-5, 4-23
廃インクタンク確認メッセージ 4-7, 4-19, 4-20, 4-21, 4-22, 4-23, 4-24
排路洗浄 4-5
版ずれ調整 3-14
版ずれ調整の設定 3-14

ふ

ファンクションモード 1-23
ファンモード 3-12
ファンモードの設定 3-12
フィード補正の設定 3-10
プリント結果 2-7
プリントを開始する 2-8
プリントを中止する 2-9

へ

ヘッド温度スタンバイ時間 3-26
ヘッドギャップ 3-3
ヘッドクリーニング 2-8
 テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う 2-8
 ヘッドクリーニングについて 2-8
ヘッド周辺の清掃 4-13

ほ

- 補正パターン 3-10
本機の移動 1-2

ま

- マシン設定メニュー 3-5, 3-16
マシン設定メニュー一覧表 3-5, 3-17

み

- 水充填 4-27
ミリ/インチ 3-19

め

- メールアドレスを設定する 3-20
メディア取り扱い上の注意 1-20
メディアの厚み 3-3
メディアをセットする 2-4
メニュー モード 1-23
メンテナンスメニュー 4-4
メンテナンスメニュー一覧表 4-5

り

- リスト 3-30
リフレッシュレベル 3-11
リモートコントロールの設定 3-24
リモートモード 1-23

れ

- 冷却水を補充する 4-27

ろ

- ローカルモード 1-23

わ

- ワークセット 2-6
ワークチェンジ 3-12
ワーニングメッセージ 5-5
ワイパーを交換する 4-19

**UJF-3042MkII/UJF-6042MkII
UJF-3042MkII e/UJF-6042MkII e 取扱説明書**

2026年2月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3



KM

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2016